

**宇和島市総合計画後期基本計画策定のための
住民アンケート調査**

結果報告書

平成24年10月

宇和島市

目 次

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査対象及び調査方法	1
(3) 配布数及び回収結果	1
(4) 本調査結果報告書の留意点	2
2 回答者の属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 就業形態	3
(4) 産業分類	3
(5) 居住歴	4
(6) 居住地区	4

II 調 査 結 果

1 愛着度と定住意向などについて	5
(1) まちへの愛着度について	5
(2) 市の暮らしやすさについて	7
(3) 今後の定住意向について	9
2 これからのまちづくりについて	12
(1) これからのまちづくりで重視すべき政策目標	12
(2) まちづくりで力を入れるべき施策	15
3 日頃の行動や考えについて	19
(1) 農林業	19
① 農林業基盤の整備状況について	19
(2) 水産業	21
① 水産業基盤の整備状況について	21
(3) 商業	23
① 商業環境について	23
② 市内での買い物について	25
(4) 工業	27
① 地場産業の振興や企業誘致について	27
(5) 観光	29
① 観光基盤の整備状況について	29
(6) 雇用・就労対策	31
① 雇用・就労対策への取り組みについて	31

(7)健康づくり	33
① 保健サービスについて.....	33
② 健康増進のための取り組みについて.....	35
(8)医療	37
① 医療体制について.....	37
② かかりつけ医について.....	39
(9)地域福祉	41
① バリアフリー化への取り組みについて.....	41
② 地域福祉活動への参加について.....	43
(10)子育て支援	45
① 保育・子育てサービスについて.....	45
(11)高齢者福祉・介護.....	47
① 高齢者福祉・介護サービスについて.....	47
(12)障害者福祉	49
① 障害者福祉サービスについて.....	49
(13)環境対策	51
① 自然環境の豊かさについて.....	51
② 環境保全について.....	53
③ 環境に配慮した生活について.....	55
(14)水道	57
① 水道の整備状況について.....	57
② 節水について.....	59
(15)下水道	61
① 下水道の整備状況について.....	61
(16)ごみ処理・リサイクル.....	63
① ごみ処理・リサイクルの状況について.....	63
② ごみ減量化の3 R運動について.....	65
(17)墓地・斎場	67
① 墓地・斎場の整備状況について.....	67
(18)公園・緑地	69
① 公園・緑地の整備状況について.....	69
② 緑化の推進状況について.....	71
③ 緑化運動や花づくり運動について.....	73
(19)消防・防災	75
① 消防・防災体制について.....	75
② 避難路・避難場所について.....	77
③ 防火・防災訓練について.....	79
④ 災害対策について.....	81

(20)交通安全・防犯.....	83
① 交通安全・防犯体制について.....	83
② 地域の防犯活動について.....	85
(21)市街地整備	87
① 中心市街地の整備状況について.....	87
(22)景観形成	89
① 街並み景観について.....	89
(23)住宅・宅地	91
① 公営住宅の整備状況について.....	91
(24)道路・交通網	93
① 道路の整備状況について.....	93
② 公共交通機関について.....	95
(25)情報通信網	97
① 情報通信網の整備状況について.....	97
② 市のホームページを利用した行政手続について.....	99
(26)就学前教育・学校教育.....	101
① 学校教育環境について.....	101
(27)生涯学習	103
① 生涯学習活動への取り組みについて.....	103
② 生涯学習活動について.....	105
(28)スポーツ	107
① スポーツ振興への取り組みについて.....	107
② 定期的なスポーツ活動について.....	109
(29)芸術・文化	111
① 芸術・文化振興への取り組みについて.....	111
② 芸術・文化活動への参加について.....	113
(30)青少年の健全育成.....	115
① 青少年の健全育成への取り組みについて.....	115
(31)国際交流・地域間交流.....	117
① 国内外との交流活動について.....	117
② 国内外地域や居住外国人との交流活動について.....	119
(32)人権教育・啓発.....	121
① 人権教育・啓発への取り組みについて.....	121
② 地域・職場での人権教育・啓発活動の参加について.....	123
(33)男女共同参画	125
① 男女共同参画推進への取り組みについて.....	125
(34)コミュニティ	127
① 地域のコミュニティ活動について.....	127

② コミュニティ活動への参加について.....	129
(35)住民参画	131
① 住民参画への取り組みについて.....	131
② 広報・広聴活動への取り組みについて.....	133
(36)行財政	135
① 行政改革に関する進捗状況について.....	135
② 市職員の対応について.....	137
 4 市の満足度評価.....	 139
(1)市の満足度評価について.....	139
 資 料 : 調 査 票.....	 149

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、まちづくりを進めるための指針として平成 19 年に策定された「第 1 次宇和島市総合計画前期基本計画」(平成 19 年度～平成 24 年度)の計画期間が終了するため、本市のさらなる発展を見据えた「後期基本計画」(平成 25 年度～平成 29 年度)の策定にあたって、市民の愛着度や定住意向、期待する重点分野・重点施策を調査し、今後のまちづくりの方向性や重点施策を設定するための資料を得るとともに、ベンチマーク(成果指標)を導入した計画づくりを引き続き行うにあたって、現状の数値を把握することを目的に実施したものである。

(2) 調査対象及び調査方法

項 目	内 容
調査対象	市内に居住する 20 歳以上の男女
配布数	3, 0 0 0
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法
調査時期	平成 24 年 6 月～7 月

(3) 配布数及び回収結果

配布数	3, 0 0 0
有効回収数	1, 4 4 8
有効回収率	4 8. 3 %

(4) 本調査結果報告書の留意点

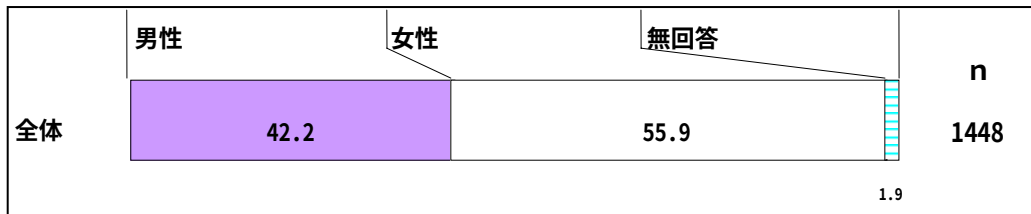
本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要がある。

- 基数となるべき実数は、“ $n = \bigcirc\bigcirc\bigcirc$ ”として掲載し、各比率は n を100%として算出した。
- 比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。
- 問の中には「～に○をつけた方にうかがいます。」など、回答者の制限があり、回答者の数が少ない問が含まれる。またクロス分析(属性別)においても項目によっては回答者数(n 数)が少なく、有意性が低いものもある。

2 回答者の属性

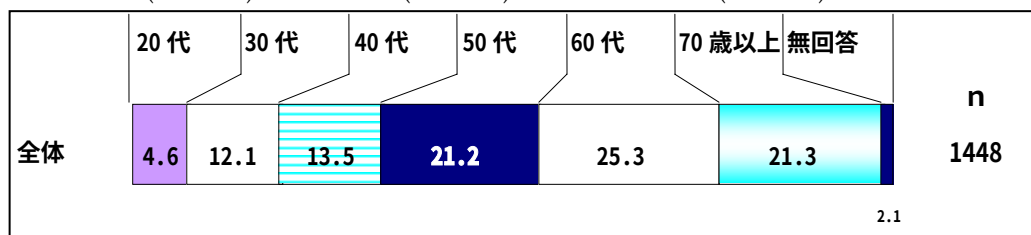
(1) 性別

回答者の性別構成は、「男性」が42.2%、「女性」が55.9%となっている。



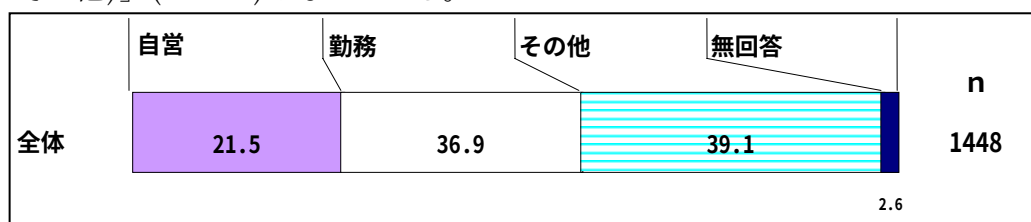
(2) 年齢

回答者の年齢構成は、「20代」(4.6%)、「30代」(12.1%)、「40代」(13.5%)、「50代」(21.2%)、「60代」(25.3%)、「70歳以上」(21.3%)となっている。



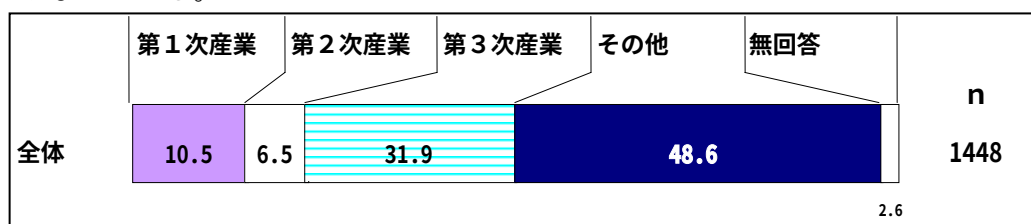
(3) 就業形態

就業形態は、「自営」(21.5%)、「勤務」(36.9%)、「その他(主婦・無職・学生、その他)」(39.1%)となっている。



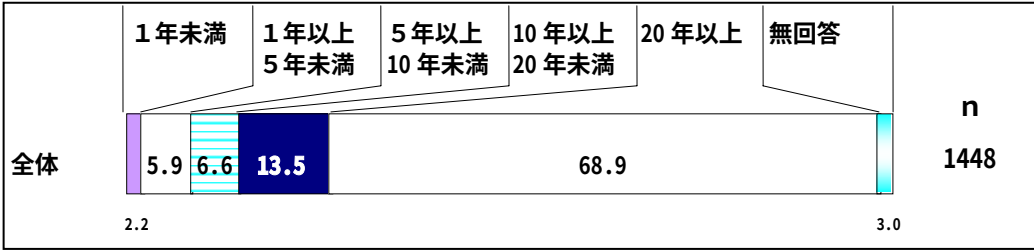
(4) 産業分類

産業分類は、「第1次産業」(10.5%)、「第2次産業」(6.5%)、「第3次産業」(31.9%)、「その他(パートタイム・アルバイト・主婦・無職・学生、その他)」(48.6%)となっている。



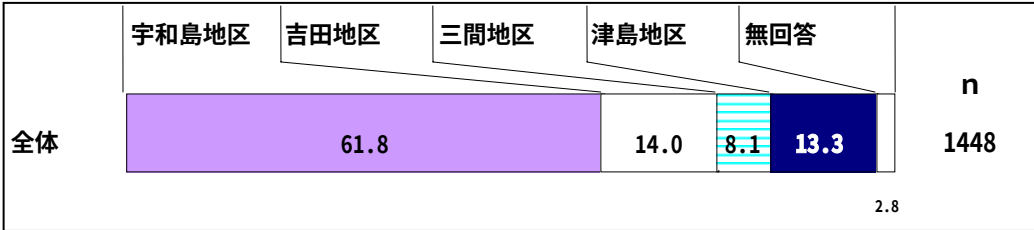
(5) 居住歴

居住歴は、「20年以上」が68.9%で最も多く、次いで「10年以上20年未満」(13.5%)、「5年以上10年未満」(6.6%)、「1年以上5年未満」(5.9%)、「1年未満」(2.2%)の順となっている。



(6) 居住地区

居住地区は、「宇和島地区」が61.8%で最も多く、次いで「吉田地区」(14.0%)、「津島地区」(13.3%)、「三間地区」(8.1%)の順となっている。



II 調 査 結 果

1 愛着度と定住意向などについて

(1) まちへの愛着度について

問2 あなたは、宇和島市に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

● “愛着を感じている”が77.2%、“愛着を感じていない”が5.3%。

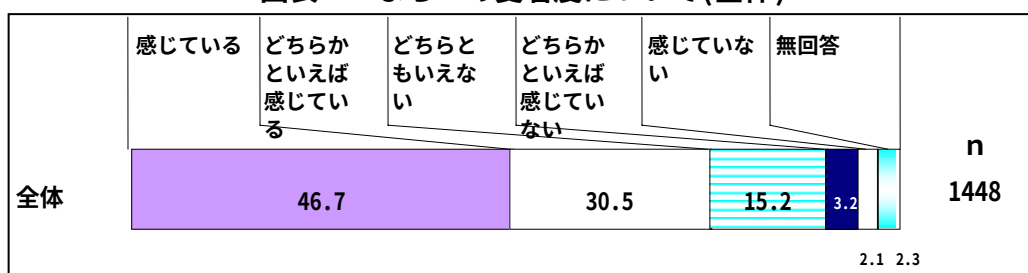
市民のまちに対する愛着度を把握するため、「感じている」、「どちらかといえば感じている」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらった。

その結果、「感じている」(46.7%)と「どちらかといえば感じている」(30.5%)をあわせた“感じている”という人が77.2%と4人中3人にのぼる。これに対して、“愛着を感じていない”(「どちらかといえば感じていない」3.2%及び「感じていない」2.1%の合計)は5.3%にとどまり、総じてまちへの愛着度は高いといえる。“愛着を感じていない”は、前回調査時(8.5%)からも低下している。なお、「どちらともいえない」は15.2%であった。[【図表1参照】](#)

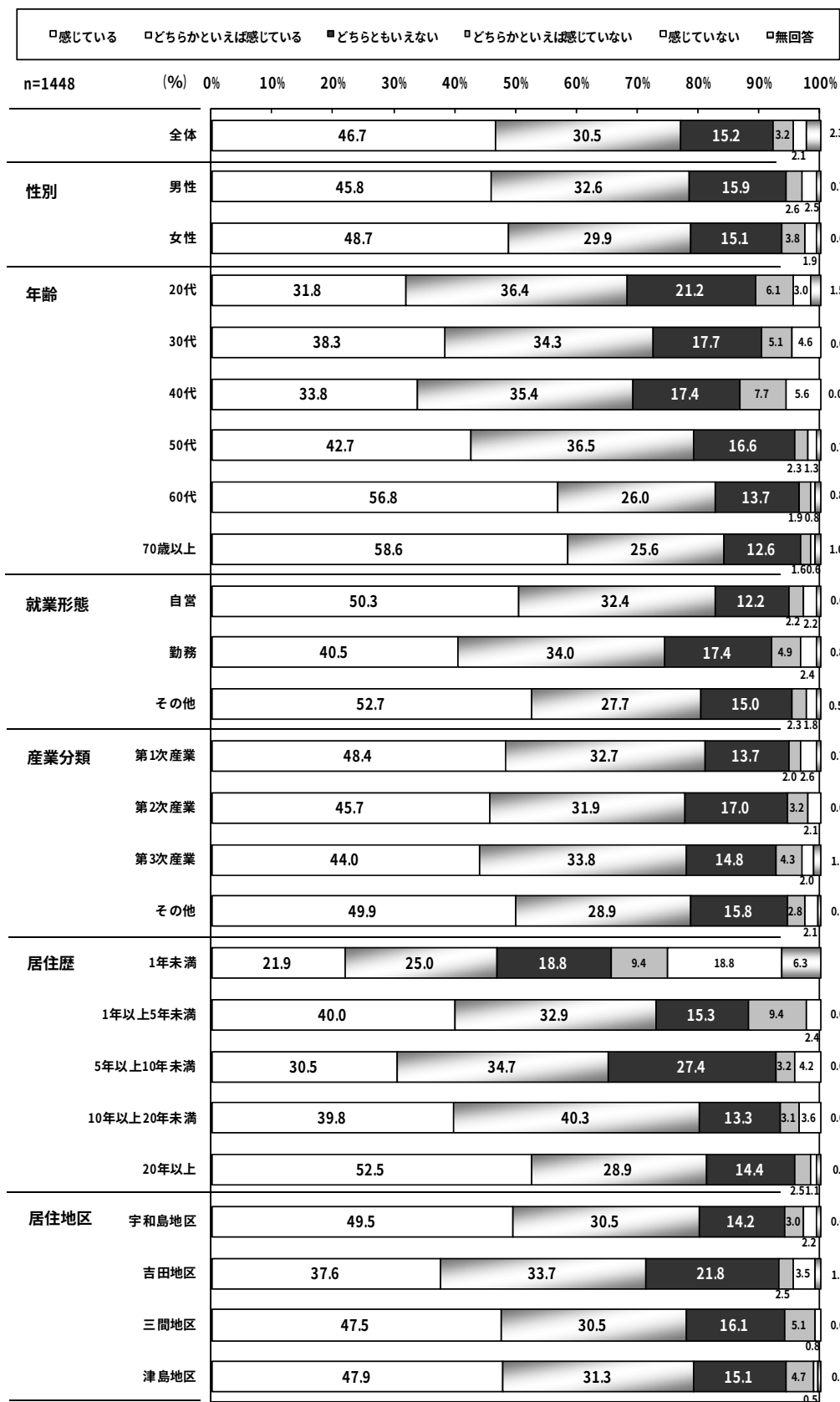
属性別に“愛着を感じている”割合をみていくと、年齢別の20代(68.2%)、40代(69.2%)、居住歴別の1年未満(46.9%)、5年以上10年未満(65.2%)で低く、居住歴1年未満では全体(77.2%)と30ポイント以上の差がみられる。

また、「感じている」と明確に回答した割合を属性別にみると、年齢別ではほぼ加齢とともに割合が高くなる傾向にあり、最も低い20代(31.8%)と最も高い70歳以上(58.6%)では約27ポイントの差がみられる。ただし、40代(69.2%)よりも30代(72.6%)が高くなっており、30代は前回(64.0%)から8ポイント以上、上昇した。また、居住歴でも5年以上10年未満(30.5%)より1年以上5年未満(40.0%)が高くなっている。居住地区別では、宇和島地区が49.5%、吉田地区が37.6%、三間地区が47.5%、津島地区が47.9%となっており、宇和島地区と吉田地区では11ポイント以上の差がみられる。[【図表2参照】](#)

図表1 まちへの愛着度について(全体)



図表2 まちへの愛着度について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(2)市の暮らしやすさについて

問3 あなたは、全体的にみた宇和島市の暮らしやすさについて満足していますか。



● “満足している”が47.8%、“不満である”が21.7%。

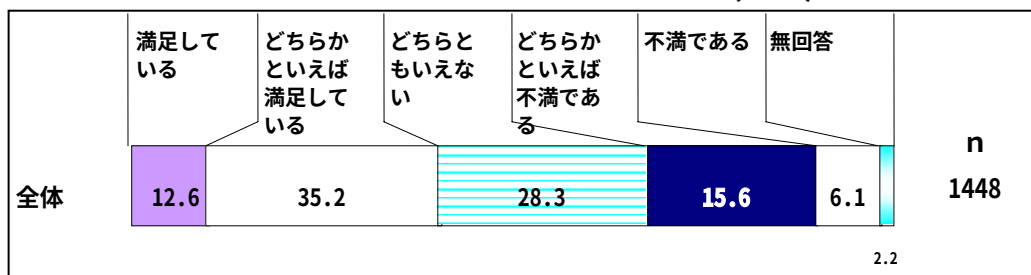
市民がまちの暮らしやすさに満足しているかどうかをたずねたところ、「満足している」(12.6%)と「どちらかといえば満足している」(35.2%)をあわせた“満足している”という人が47.8%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」15.6%及び「不満である」6.1%の合計)は21.7%となっており、前回調査時と比べると“満足している”(40.4%)が増え、“不満である”(30.8%)が減る結果となった。なお、「どちらともいえない」は28.3%であった。[【図表3参照】](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(30.3%)、30代(38.9%)、40代(39.5%)、産業分類別の第2次産業(30.8%)、居住歴別の1年未満(37.5%)、5年以上10年未満(36.8%)で低く、一方、年齢別の70歳以上(59.8%)で高く、全体(47.8%)と10ポイント以上の差がみられる。

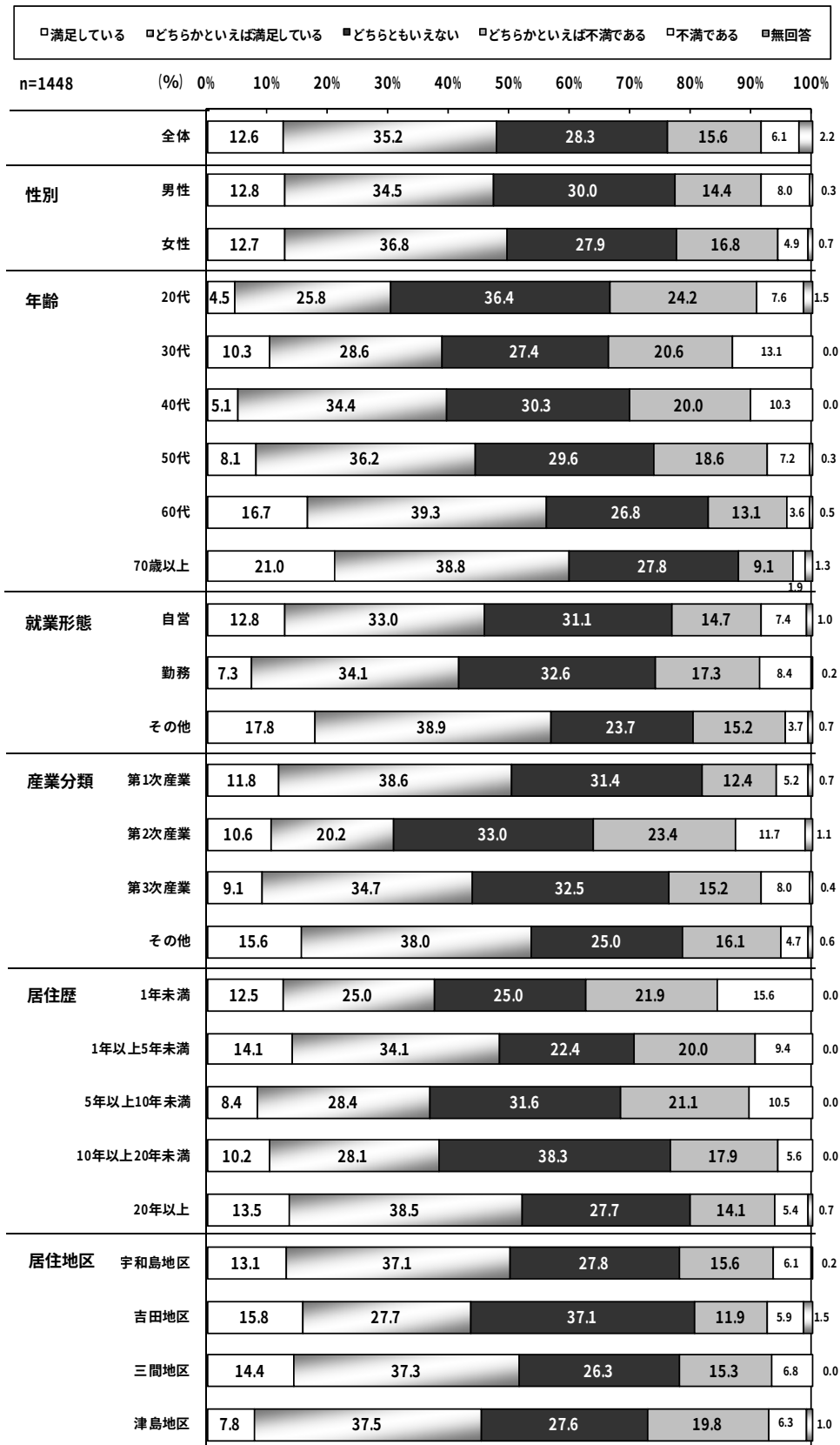
年齢別では加齢とともに“満足している”と回答する割合が高くなる傾向がみられる。一方、居住歴別では、20年以上(52.0%)に次いで1年以上5年未満(48.2%)と高い。これは前回調査時(27.7%)と比べても20ポイント近い大幅な上昇となっている。

また、居住地区別で“満足している”割合をみると、宇和島地区(50.2%)、吉田地区(43.5%)、三間地区(51.7%)、津島地区(45.3%)と、各地区の差は10ポイント未満となっている。[【図表4参照】](#)

図表3 まちの暮らしやすさについて(全体)



図表4 市の暮らしやすさについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(3) 今後の定住意向について

問4 あなたは、これからも宇和島市に住み続けたいと思いますか。
問4付問 その主な理由はなんですか。【「住みたくない」と回答した人のみ／複数回答】



- “住み続けたい”が72.5%、“住みたくない”が8.0%。
- 住みたくない主な理由は、「市内に適当な職場が少ない」、「日常の買い物が不便」、「道路事業や交通の便が悪い」の順。

市民がこれからも市に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人が最も多く46.4%、これに「どちらかといえば住み続けたい」(26.1%)をあわせた72.5%の人が“住み続けたい”という意向を示している。一方、「どちらかといえば住みたくない」(5.9%)及び「住みたくない」(2.1%)と答えた“住みたくない”という人の合計は8.0%と、前回調査時(10.5%)より2.5ポイントの減少となった。なお、「どちらともいえない」は17.5%であった。【図表5参照】

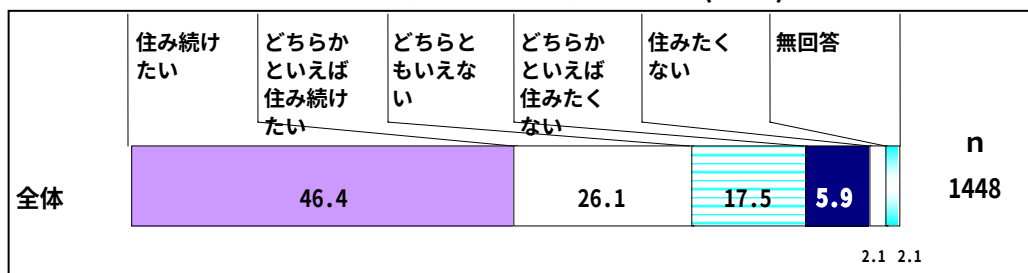
属性別に“住み続けたい”割合をみていくと、年齢別の20代(50.0%)、30代(60.0%)、40代(63.6%)、居住歴別の1年未満(37.6%)、5年以上10年未満(55.8%)で低い一方、年齢別の70歳以上(83.8%)で高く、全体(72.5%)と10ポイント以上の差がみられる。ここでも問2、問3と同様に居住歴1年以上5年未満が、5年以上10年未満と比べて“住み続けたい”割合が高く、特に明確に「住み続けたい」と答えた人は、20年以上(53.1%)に次ぐ38.8%となっている。

年齢別でみると、明確に「住み続けたい」と回答した割合に顕著な違いがみられ、70歳以上で62.1%と6割強にのぼる一方で、20代では24.2%、40代では34.9%にとどまる。

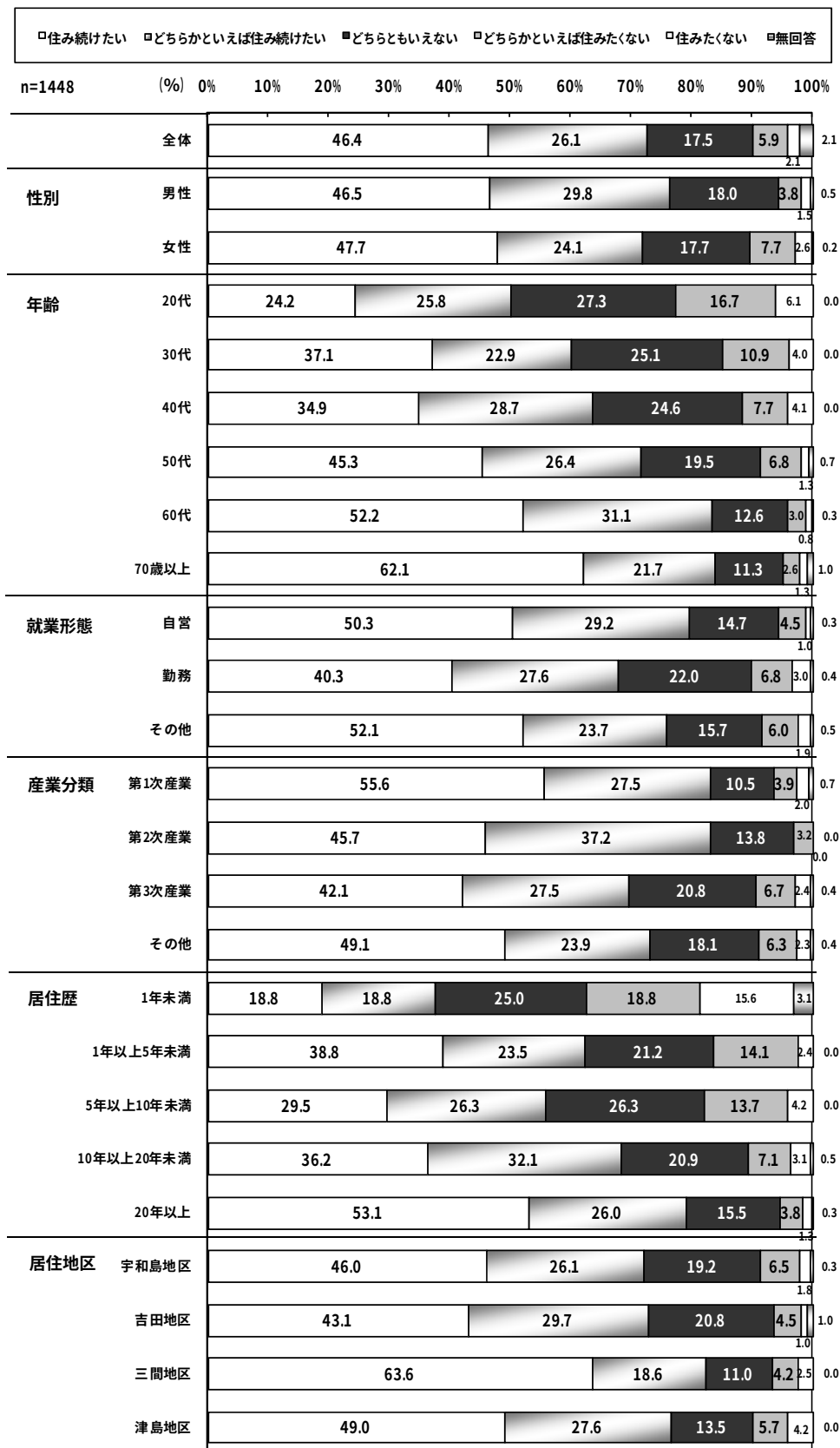
産業分類別では、第1次産業で「住み続けたい」と回答した割合が55.6%と半数を超えている。

また、居住地区別で「住み続けたい」と回答した割合をみると、宇和島地区(46.0%)、吉田地区(43.1%)、三間地区(63.6%)、津島地区(49.0%)と、三間地区が他の地区に比べ大幅に上回っているが、「どちらかといえば住み続けたい」を加えると10ポイント程度の差となる。【図表6参照】

図表5 今後の定住意向について(全体)

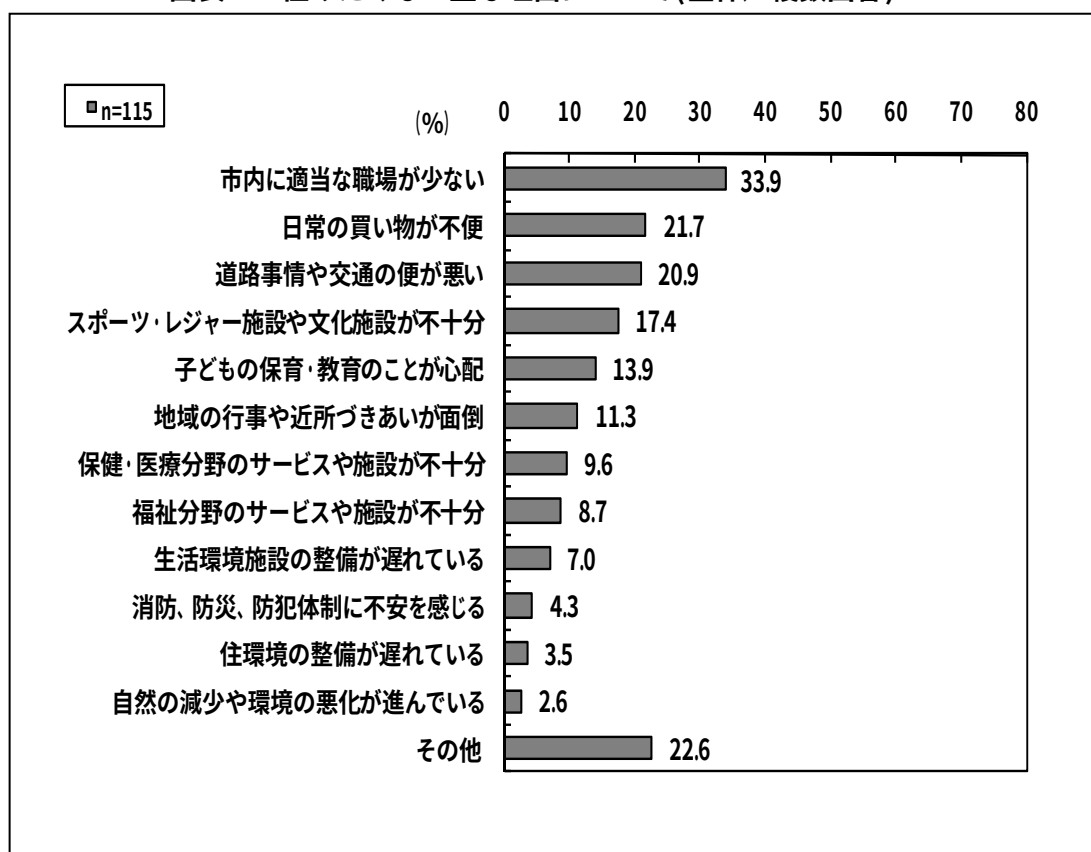


図表6 今後の定住意向について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



また、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」と回答した人(全体の8.0%・115人)にその理由をたずねたところ、「市内に適当な職場が少ない」(33.9%)が第1位に挙げられ、次いで「日常の買い物が不便」(21.7%)、「道路事情や交通の便が悪い」(20.9%)などの順となっている。なかでも「日常の買い物が不便」は、前回と比べ5ポイント近く上昇している。[【図表7参照】](#)

図表7 住みたくない主な理由について(全体／複数回答)



2 これからのまちづくりについて

(1) これからのまちづくりで重視すべき政策目標

問5 第1次宇和島市総合計画の基本構想（平成20年度～平成29年度）では、「自立・共生・協働のまちー“人と交わり、緑と話し、海と語らう きらめき空間都市”の実現を目指してー」を将来像とし、これを実現するために以下の政策目標を掲げています。これらの中で、これからのまちづくりで重視すべきと思う政策目標はどれですか。
【複数回答】



- 「活力あふれる産業が展開するうわじま」が第1位、次いで「だれもが健康で安心して暮らせるうわじま」が第2位、「人々が集う魅力ある便利で安全なうわじま」が第3位。

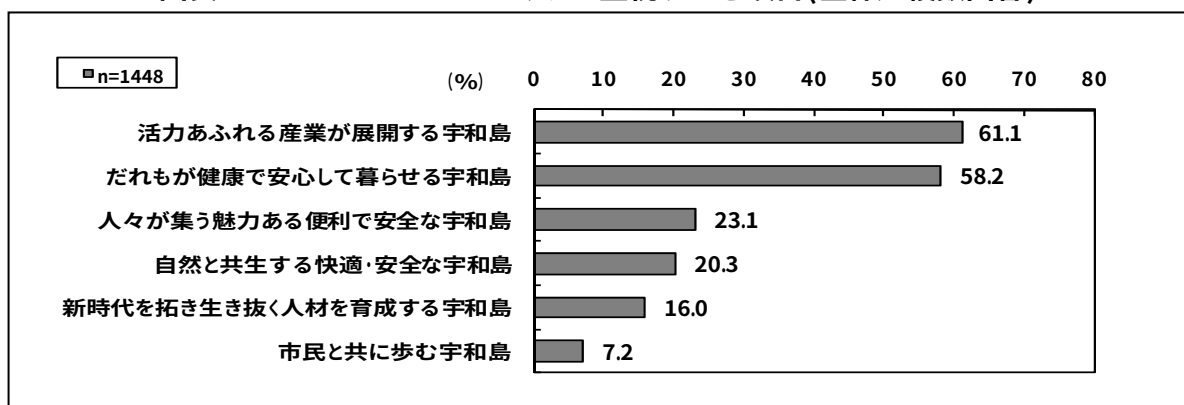
これからのまちづくりで重視すべき項目をたずねたところ、「活力あふれる産業が展開するうわじま」(61.1%)が第1位に挙げられ、続いて僅差の第2位に「だれもが健康で安心して暮らせるうわじま」(58.2%)とこの2項目が他を大きく引き離し、次いで「人々が集う魅力ある便利で安全なうわじま」(23.1%)の順となっている。[【図表8参照】](#)

性別でみると、男性では第1位が「活力あふれる産業が展開するうわじま」(65.6%)となっているのに対し、女性では「だれもが健康で安心して暮らせるうわじま」(61.4%)となっており、重視する項目に若干の差がみられる。

年齢別でみると、20代、60代、70歳以上が「だれもが健康で安心して暮らせるうわじま」、30代から50代では「活力あふれる産業が展開するうわじま」が第1位となっている。

また、居住地区別でみると、宇和島地区、吉田地区、三間地区では第1位に「活力あふれる産業が展開するうわじま」が挙げられ、津島地区では「だれもが健康で安心して暮らせるうわじま」が第1位に挙げられており、居住地区によって重視する項目に若干の差がみられた。[【図表9参照】](#)

図表8 これからのまちづくりで重視すべき項目(全体／複数回答)



図表9 これからのまちづくりで重視すべき施策目標
(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別／複数回答)
(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		活力ある産業が展開する うわじま 61.1	だれもが健康で安心して 暮らせるうわじま 58.2	人々が集う魅力ある便利 で安全なうわじま 23.1
性別	男	活力ある産業が展開する うわじま 65.6	だれもが健康で安心して 暮らせるうわじま 54.8	人々が集う魅力ある便利 で安全なうわじま 23.2
	女	だれもが健康で安心して 暮らせるうわじま 61.4	活力ある産業が展開する うわじま 58.0	人々が集う魅力ある便利 で安全なうわじま 23.0
年齢別	20代	だれもが健康で安心して 暮らせるうわじま 53.0	活力ある産業が展開する うわじま 51.5	人々が集う魅力ある便利 で安全なうわじま 37.9
	30代	活力ある産業が展開する うわじま 64.0	だれもが健康で安心して 暮らせるうわじま 58.3	人々が集う魅力ある便利 で安全なうわじま 30.9
	40代	活力ある産業が展開する うわじま 65.6	だれもが健康で安心して 暮らせるうわじま 59.5	人々が集う魅力ある便利 で安全なうわじま 23.1
	50代	活力ある産業が展開する うわじま 71.0	だれもが健康で安心して 暮らせるうわじま 49.8	人々が集う魅力ある便利 で安全なうわじま 24.1
	60代	だれもが健康で安心して 暮らせるうわじま 62.0	活力ある産業が展開する うわじま 59.8	自然と共生する快適・安全 なうわじま 19.9
	70歳以上	だれもが健康で安心して 暮らせるうわじま 63.4	活力ある産業が展開する うわじま 50.8	自然と共生する快適・安全 なうわじま 21.4
産業分類別	第1次産業	活力ある産業が展開する うわじま 79.1	だれもが健康で安心して 暮らせるうわじま 52.3	人々が集う魅力ある便利 で安全なうわじま 19.6
	第2次産業	活力ある産業が展開する うわじま 76.6	だれもが健康で安心して 暮らせるうわじま 52.1	人々が集う魅力ある便利 で安全なうわじま 20.2
	第3次産業	活力ある産業が展開する うわじま 61.8	だれもが健康で安心して 暮らせるうわじま 56.0	人々が集う魅力ある便利 で安全なうわじま 26.2
	その他	だれもが健康で安心して 暮らせるうわじま 62.7	活力ある産業が展開する うわじま 54.8	人々が集う魅力ある便利 で安全なうわじま 22.0

		第1位	第2位	第3位
居住歴別	1年未満	だれもが健康で安心して暮らせるうわじま 62.5	活力ある産業が展開するうわじま 53.1	人々が集う魅力ある便利で安全なうわじま 37.5
	1年以上 5年未満	だれもが健康で安心して暮らせるうわじま 61.2	活力ある産業が展開するうわじま 52.9	人々が集う魅力ある便利で安全なうわじま 30.6
	5年以上 10年未満	活力ある産業が展開するうわじま 58.9	だれもが健康で安心して暮らせるうわじま 56.8	人々が集う魅力ある便利で安全なうわじま 26.3
	10年以上 20年未満	活力ある産業が展開するうわじま 58.7	だれもが健康で安心して暮らせるうわじま 54.6	人々が集う魅力ある便利で安全なうわじま 22.4
	20年以上	活力ある産業が展開するうわじま 63.0	だれもが健康で安心して暮らせるうわじま 59.2	人々が集う魅力ある便利で安全なうわじま 21.9
居住地区別	宇和島地区	活力ある産業が展開するうわじま 61.2	だれもが健康で安心して暮らせるうわじま 58.1	人々が集う魅力ある便利で安全なうわじま 23.8
	吉田地区	活力ある産業が展開するうわじま 60.9	だれもが健康で安心して暮らせるうわじま 56.9	人々が集う魅力ある便利で安全なうわじま 21.8
	三間地区	活力ある産業が展開するうわじま 61.9	だれもが健康で安心して暮らせるうわじま 61.0	人々が集う魅力ある便利で安全なうわじま 24.6
	津島地区	だれもが健康で安心して暮らせるうわじま 62.0	活力ある産業が展開するうわじま 60.4	自然と共生する快適・安全なうわじま 24.0

(2) まちづくりで力を入れるべき施策

問6 宇和島市では、問5の政策目標に基づき、以下の施策を推進しています。これらの中で、これからのまちづくりで特に力を入れるべきと思う施策はどれですか。【複数回答】



- 「雇用対策と勤労者福祉の充実」が第1位。「水産業の振興」、「高齢者支援の充実」、「社会保障の充実」、「健康づくり・医療体制の充実」、「農林業の振興」、「子育て支援の充実」、「観光の振興」が続く。

特に力を入れるべき施策をたずねたところ、「雇用対策と勤労者福祉の充実」(40.7%)が第1位に挙げられ、次いで「水産業の振興」(34.6%)、「高齢者支援の充実」(31.8%)、「社会保障の充実」(31.7%)、「健康づくり・医療体制の充実」(27.7%)、「農林業の振興」(25.9%)、「子育て支援の充実」(23.1%)、「観光の振興」(22.9%)の順となっている。“雇用対策”、“産業振興”、“高齢者福祉”、“社会保障”、“子育て支援”に関する施策への関心が強い傾向がみられた。【図表10参照】

性別でみると、男性は「水産業の振興」(40.6%)、女性は「雇用対策と勤労者福祉の充実」(43.8%)がそれぞれ第1位となっている。

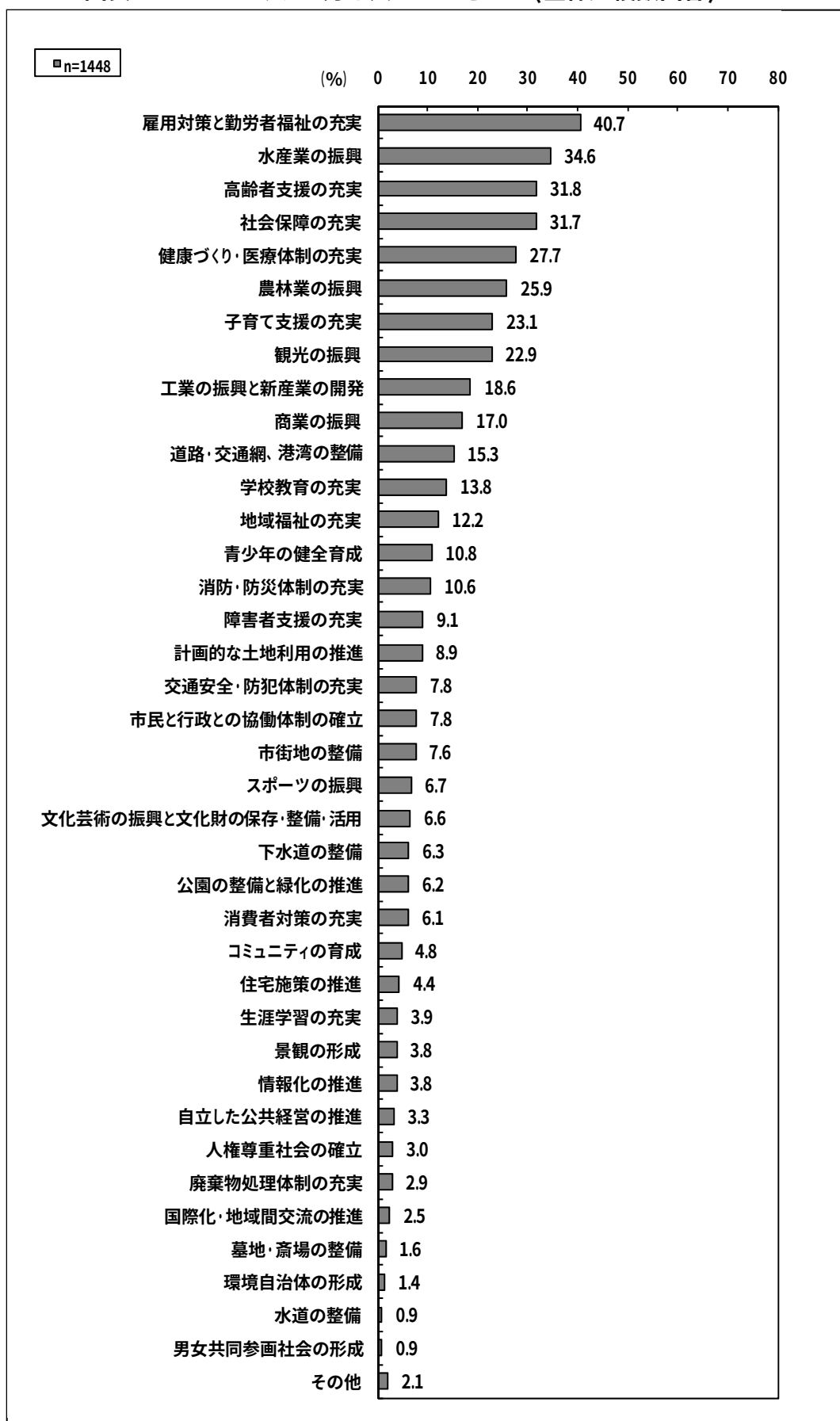
年齢別で上位回答をみると、20代、30代では全体第7位の「子育て支援の充実」がそれぞれ第1位(56.1%)(49.1%)、全体で第8位の「観光の振興」がそれぞれ第4位(33.3%)(28.0%)に挙げられている。40代～60代までの層では「雇用対策と勤労者福祉の充実」が上位(60代は2位)に挙げられ、70歳以上の高齢層では「高齢者支援の充実」が第1位に挙げられるなど、世代間での違いが見られる。

産業分類別でみると、第1次産業では「農林業の振興」(58.2%)が第1位、「水産業の振興」(55.6%)が第2位に挙げられ、第2次・第3次産業では、「雇用対策と勤労者福祉の充実」が第1位(41.5%)(44.5%)に挙げられている。

居住歴別でみると、10年未満の上位回答項目に「子育て支援の充実」が挙げられているなどの特徴がみられる。

居住地区別で上位回答をみると、宇和島地区、三間地区、津島地区で「雇用対策と勤労者福祉の充実」(40.1%、48.3%、45.3%)が第1位に挙げられているが、吉田地区で「農林業の振興」(43.6%)が第1位に挙げられているなど地域の特徴がみられる。【図表11参照】

図表 10 まちづくりで力を入れるべきこと(全体／複数回答)



図表 11 まちづくりで特に力を入れるべきこと
(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別／複数回答)
(上位5位)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体		雇用対策と勤労者福祉の充実 40.7	水産業の振興 34.6	高齢者支援の充実 31.8	社会保障の充実 31.7	健康づくり・医療体制の充実 27.7
性別	男	水産業の振興 40.6	雇用対策と勤労者福祉の充実 37.5	農林業の振興 30.6	高齢者支援の充実 28.8	社会保障の充実 28.3
	女	雇用対策と勤労者福祉の充実 43.8	高齢者支援の充実／社会保障の充実 34.5		健康づくり・医療体制の充実 31.0	水産業の振興 29.9
年齢別	20代	子育て支援の充実 56.1	雇用対策と勤労者福祉の充実 39.4	水産業の振興 34.8	観光の振興 33.3	社会保障の充実 21.2
	30代	子育て支援の充実 49.1	雇用対策と勤労者福祉の充実 43.4	水産業の振興 34.9	観光の振興 28.0	社会保障の充実 24.6
	40代	雇用対策と勤労者福祉の充実 53.3	水産業の振興 29.2	高齢者支援の充実 28.2	子育て支援の充実 27.7	健康づくり・医療体制の充実 26.2
	50代	雇用対策と勤労者福祉の充実 52.8	水産業の振興 38.8	社会保障の充実 30.3	高齢者支援の充実 27.7	農林業の振興 27.0
	60代	社会保障の充実 37.4	雇用対策と勤労者福祉の充実 36.1	水産業の振興 35.2	高齢者支援の充実 35.0	農林業の振興 31.4
	70歳以上	高齢者支援の充実 45.0	社会保障の充実 37.2	健康づくり・医療体制の充実 33.0	水産業の振興 32.0	高齢者対策と勤労福祉の充実 26.2
産業分類別	第1次産業	農林業の振興 58.2	水産業の振興 55.6	雇用対策と勤労者福祉の充実 35.3	社会保障の充実 32.7	健康づくり・医療体制の充実 28.1
	第2次産業	雇用対策と勤労者福祉の充実 41.5	社会保障の充実 36.2	水産業の振興 35.1	高齢者支援の充実 29.8	工業の振興と新産業の開発 27.7
	第3次産業	雇用対策と勤労者福祉の充実 44.5	水産業の振興 34.1	観光の振興 31.7	子育て支援の充実 27.5	高齢者支援の充実 27.3
	その他	雇用対策と勤労者福祉の充実 39.7	高齢者支援の充実 37.3	社会保障の充実 36.7	健康づくり・医療体制の充実 31.9	水産業の振興 30.3

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
居住歴別	1年未満	雇用対策と勤労者福祉の充実 37.5	子育て支援の拡充 34.4	観光の振興／社会保障の充実 28.1		高齢者支援の充実／道路・交通網、港湾の整備 18.8
	1年以上5年未満	雇用対策と勤労者福祉の充実 42.4	子育て支援の充実 37.6	水産業の振興 31.8	観光の振興 30.6	健康づくり・医療体制の充実 29.4
	5年以上10年未満	子育て支援の充実 40.0	社会保障の充実 38.9	高齢者支援の充実 33.7	雇用対策と勤労者福祉の充実 31.6	水産業の振興 29.5
	10年以上20年未満	雇用対策と勤労者福祉の充実 39.8	水産業の振興 33.2	高齢者支援の充実 28.1	健康づくり・医療体制の充実 27.0	観光の振興 25.5
	20年以上	雇用対策と勤労者福祉の充実 42.2	水産業の振興 36.2	高齢者支援の充実 34.2	社会保障の充実 33.4	健康づくり・医療体制の充実 28.8
居住地区別	宇和島地区	雇用対策と勤労者福祉の充実 40.1	水産業の振興 36.1	高齢者支援の充実 32.5	社会保障の充実 31.2	観光の振興 27.5
	吉田地区	農林業の振興 43.6	雇用対策と勤労者福祉の充実 36.1	健康づくり・医療体制の充実 35.1	社会保障の充実 33.2	高齢者支援の充実 29.7
	三間地区	雇用対策と勤労者福祉の充実 48.3	農林業の振興 37.3	水産業の振興／社会保障の充実 32.2		高齢者支援の充実 31.4
	津島地区	雇用対策と勤労者福祉の充実 45.3	水産業の振興 34.4	高齢者支援の充実 32.8	社会保障の充実 32.3	農林業の振興 31.3

3 日頃の行動や考えについて

(1) 農林業

① 農林業基盤の整備状況について

問7 農林業についておたずねします。

(1) あなたは、宇和島市の農林業基盤(農地や農林道など)の整備状況について満足していますか。

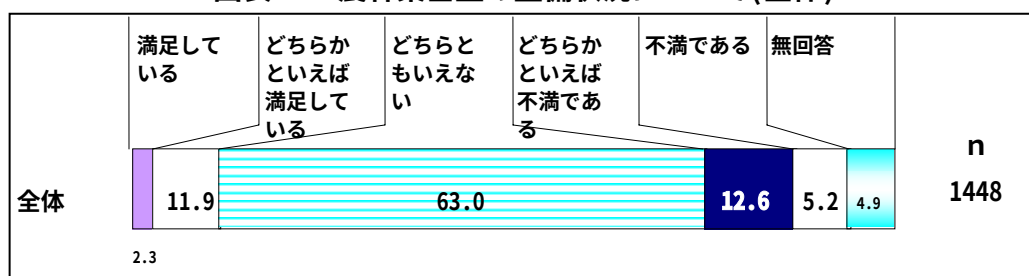


- “満足している”が14.2%、“不満である”が17.8%。

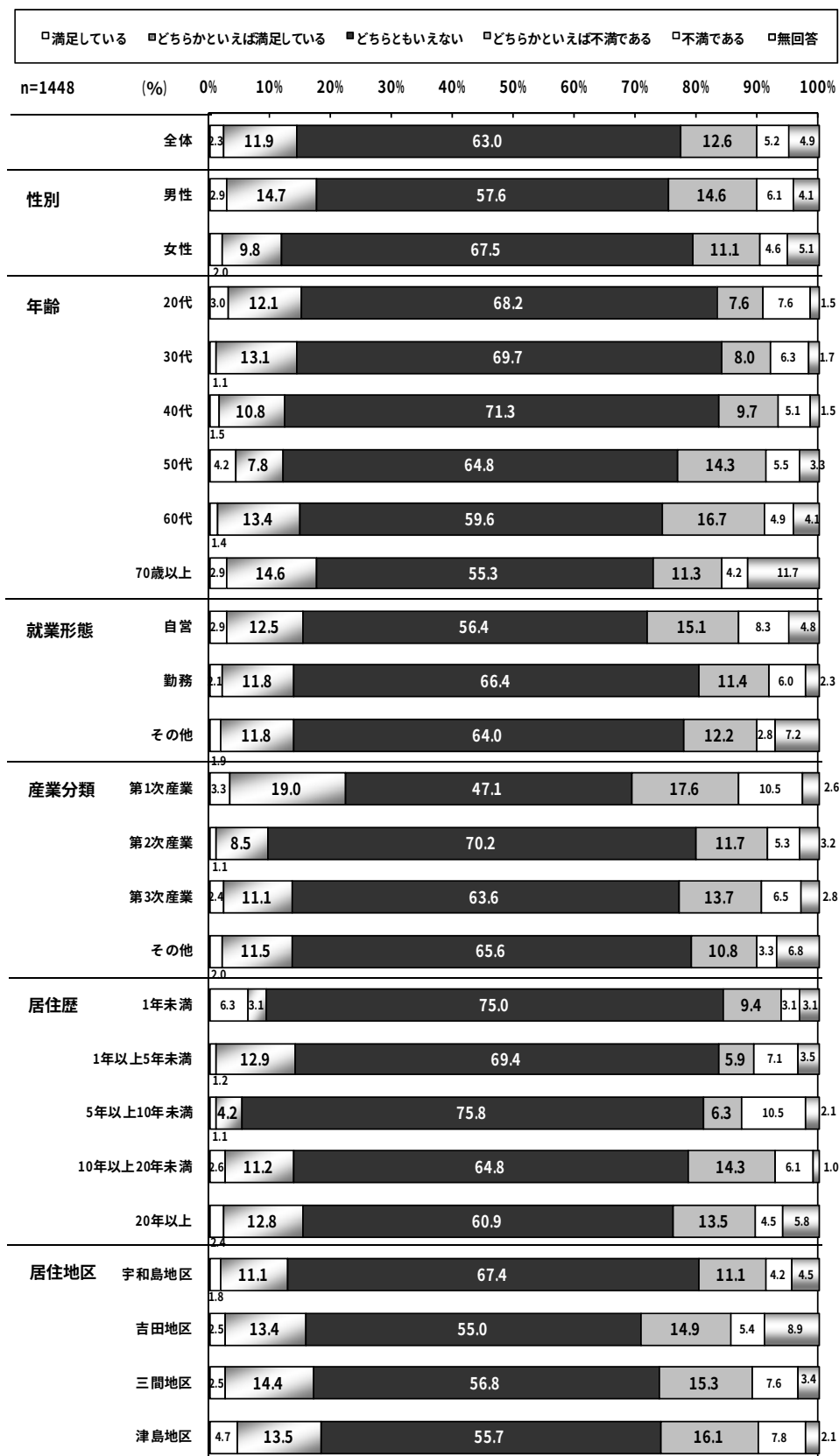
農林業基盤の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(2.3%)と「どちらかといえば満足している」(11.9%)をあわせた“満足している”という人が14.2%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」12.6%及び「不満である」5.2%の合計)は17.8%となっている。[\[図表 12 参照\]](#)

属性別に“不満である”割合をみていくと、農林業に従事する産業分類別の第1次産業(28.1%)で高く、全体(17.8%)と約10ポイントの差がみられる。ただし、前回調査時(38.1%)よりは10ポイント改善された。また、居住地区別では、津島地区(23.9%)で高くなっているのに対し、宇和島地区(15.3%)では低く、その差は約9ポイントとなっている。[\[図表 13 参照\]](#)

図表 12 農林業基盤の整備状況について(全体)



図表 13 農林業基盤の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(2)水産業

① 水産業基盤の整備状況について

問8 水産業についておたずねします。

(1)あなたは、宇和島市の水産業基盤(漁港や漁場など)の整備状況について満足していますか。

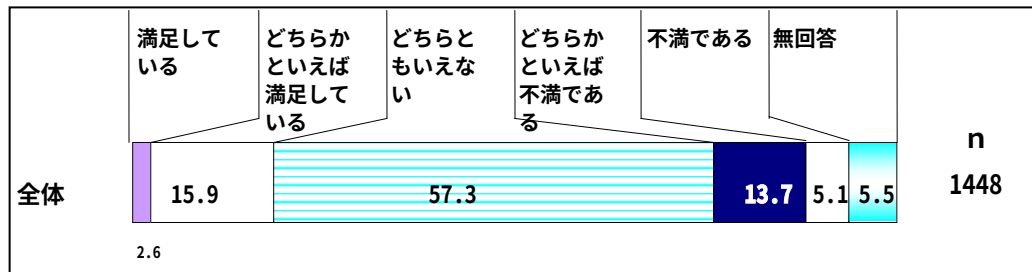


● “満足している”が18.5%、“不満である”が18.8%。

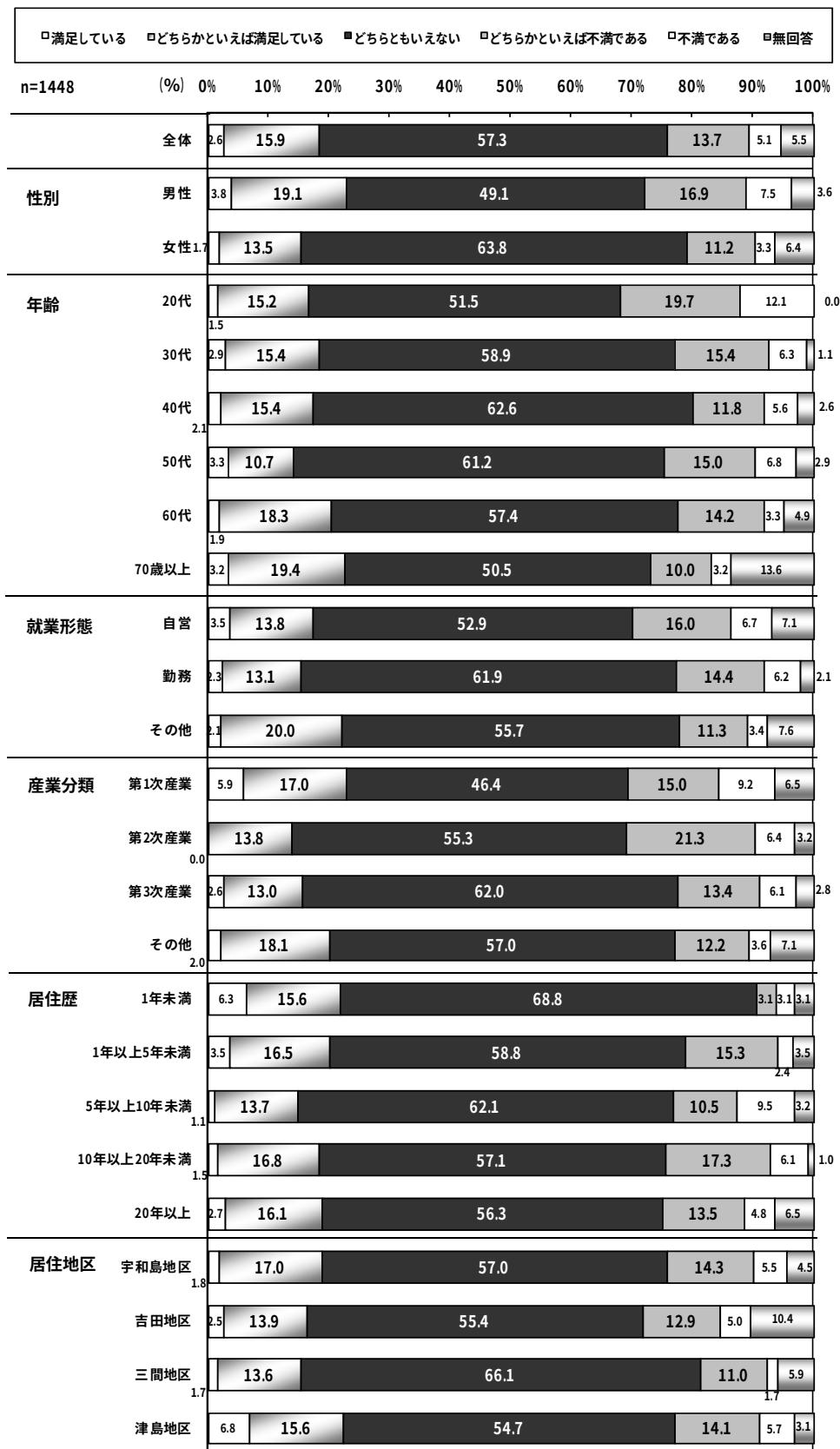
水産業基盤の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(2.6%)と「どちらかといえば満足している」(15.9%)をあわせた“満足している”という人が18.5%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」13.7%及び「不満である」5.1%の合計)も18.8%で、ほぼ同割となっている。[\[図表14参照\]](#)

属性別に“不満である”割合をみていくと、産業分類別の第1次産業(24.2%)、第2次産業(27.7%)で高く、一方居住歴1年未満(6.2%)、年齢別の70歳以上(13.2%)、居住地区別の三間地区(12.7%)で低くなっている。[\[図表15参照\]](#)

図表14 水産業基盤の整備状況について(全体)



図表 15 水産業基盤の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(3) 商業

① 商業環境について

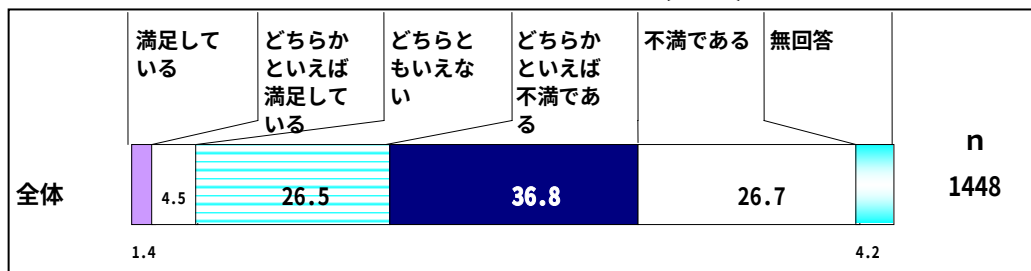
問9 商業についておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市の商業環境(商店街など)について満足していますか。

● “満足している”が5.9%、“不満である”が63.5%。

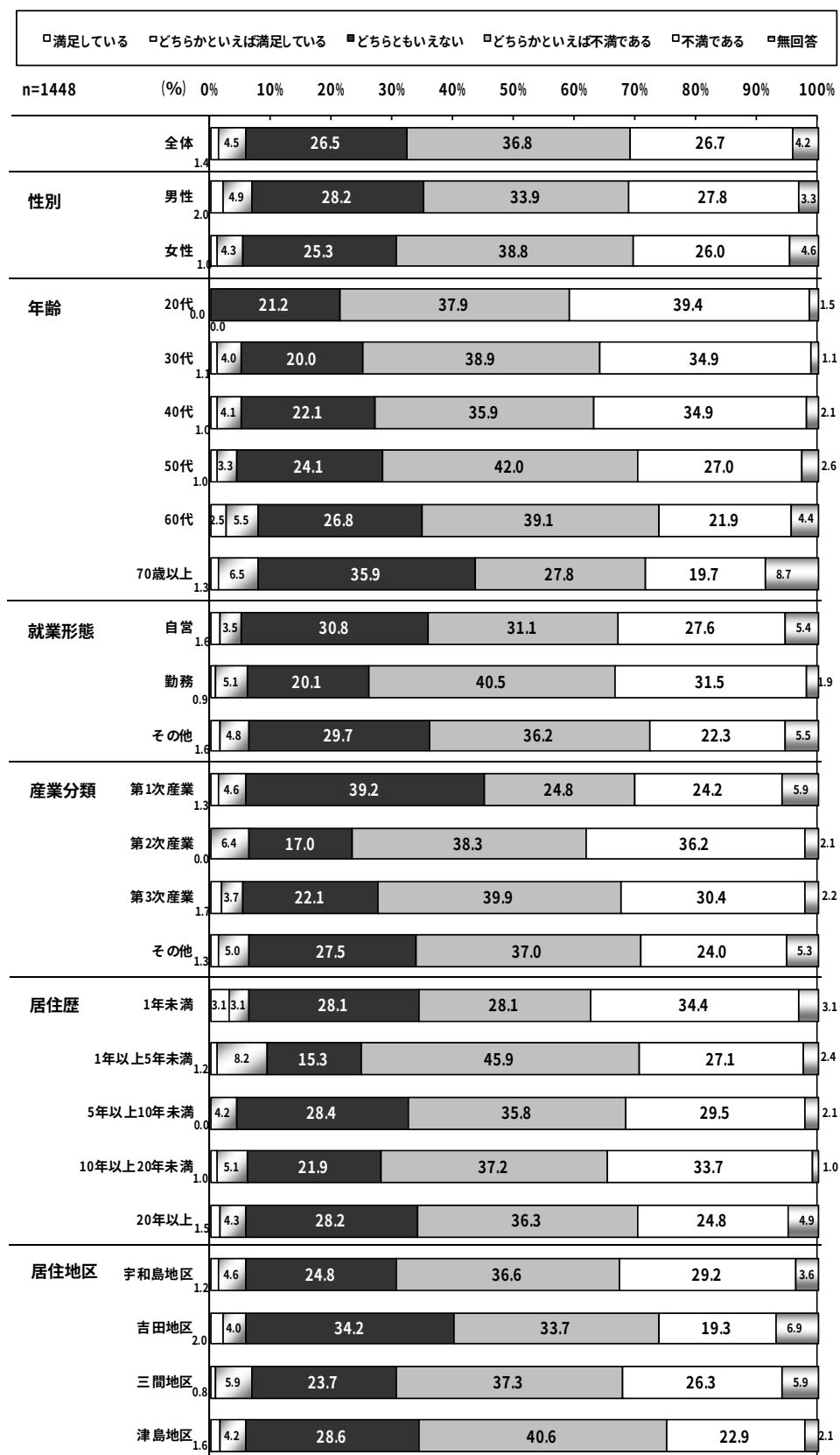
商業環境について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(1.4%)と「どちらかといえば満足している」(4.5%)をあわせた“満足している”という人が5.9%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」36.8%及び「不満である」26.7%の合計)は63.5%となっている。これは前回調査時に比べて、さらに“満足している”(8.9%)が減り、“不満である”(57.6%)で増える結果となった。[\[図表 16 参照\]](#)

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(77.3%)、30代(73.8%)、40代(70.8%)、産業分類別の第2次産業(74.5%)第3次産業(70.3%)、居住歴別の1年以上5年未満(73.0%)、10年以上20年未満(70.9%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(47.5%)、産業分類別の第1次産業(49.0%)、居住地区別の吉田地区(53.0%)で低く、全体(63.5%)と10ポイント以上の差がみられる。[\[図表 17 参照\]](#)

図表 16 商業環境について(全体)



図表 17 商業環境について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 市内での買い物について

問9 商業についておたずねします。
(2)あなたは、日頃、市内で買い物をしていますか。

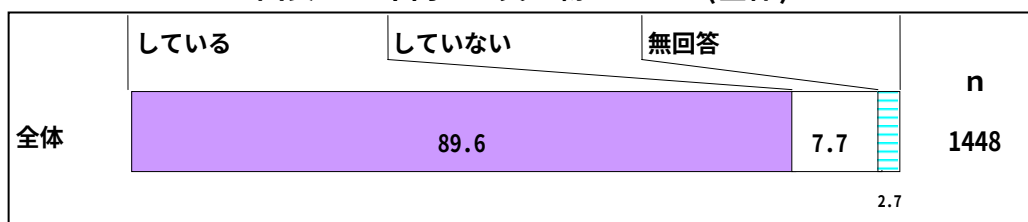


- 「している」が89.6%、「していない」が7.7%。

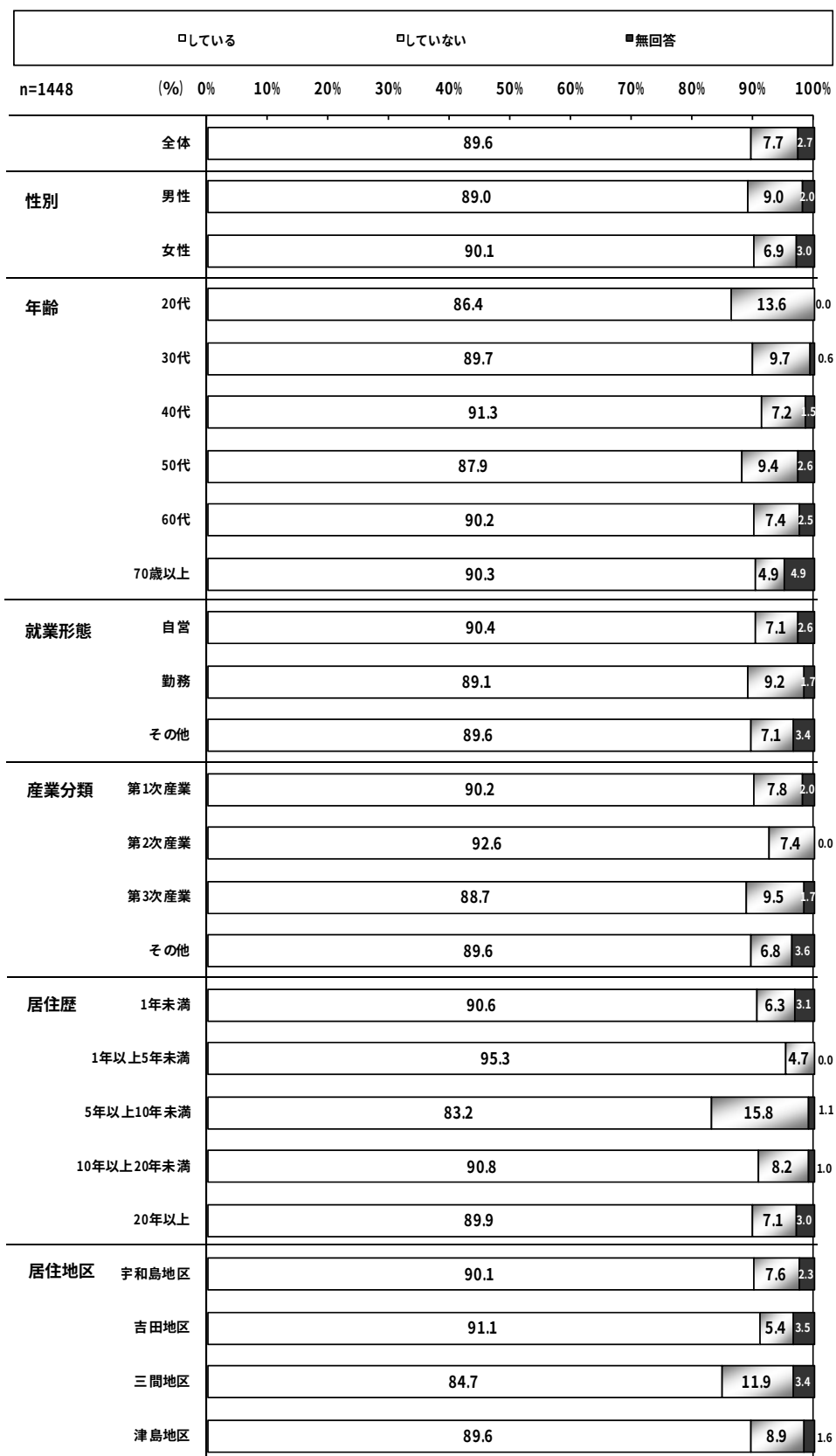
日頃、市内で買い物をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が89.6%、一方、「していない」と回答した人は7.7%と、およそ9割の人が市内で買い物をしている結果となった。[【図表 18 参照】](#)

属性別でも、ほとんどの層で「している」と回答した割合が8～9割を占めている。[【図表 19 参照】](#)

図表 18 市内での買い物について(全体)



図表 19 市内での買い物について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(4)工業

① 地場産業の振興や企業誘致について

問 10 工業についておたずねします。

(1)あなたは、宇和島市の地場産業の振興や企業誘致に関する取り組みについて満足していますか。

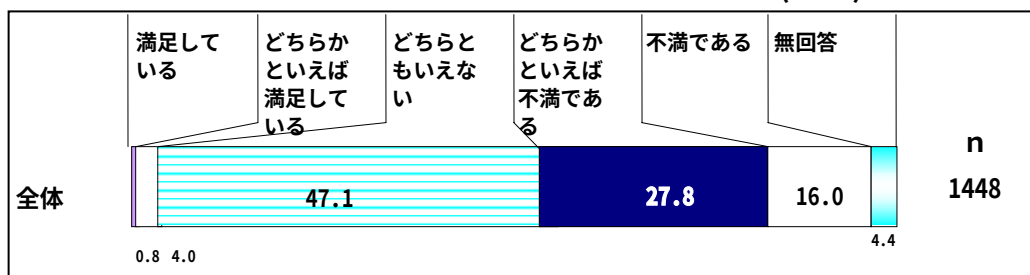


● “満足している”が4.8%、“不満である”が43.8%。

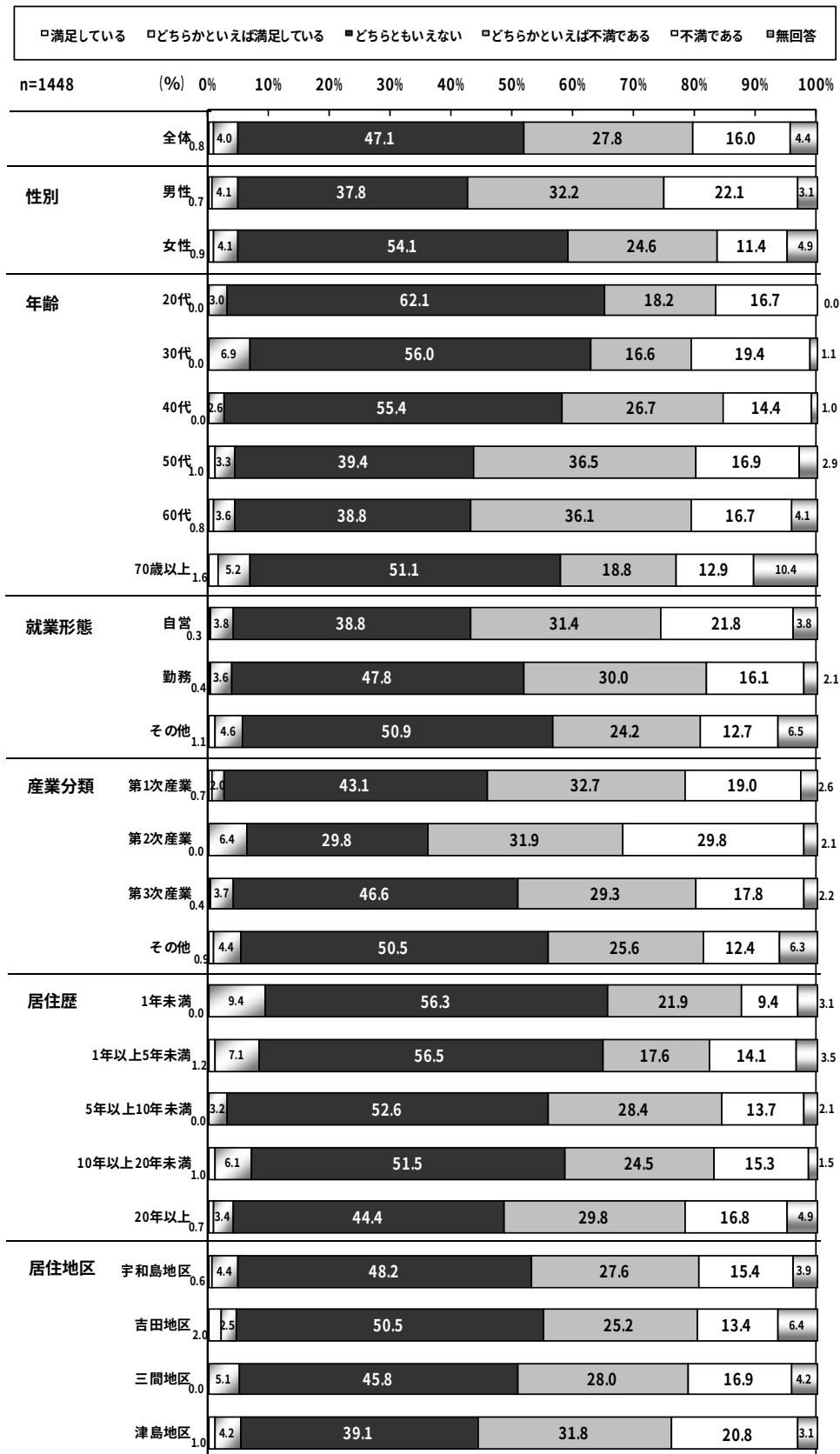
地場産業の振興や企業誘致に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(0.8%)と「どちらかといえば満足している」(4.0%)をあわせた“満足している”という人が4.8%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」27.8%及び「不満である」16.0%の合計)は43.8%となっている。これは前回調査時(“満足している”4.2%、“不満である”44.5%)とほぼ変わらない結果である。[\[図表 20 参照\]](#)

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の50代(53.4%)、60代(52.8%)、産業分類別の第1次産業(51.7%)と第2次産業(61.7%)、就業形態別の自営(53.2%)、居住地区別の津島地区(52.6%)で5割を超えて高くなっている一方、年齢別の70歳以上(31.7%)、居住歴別の1年未満(31.3%)、1年以上5年未満(31.7%)で低く、全体(43.8%)と10ポイント以上の差がみられる。[\[図表 21 参照\]](#)

図表 20 地場産業の振興や企業誘致について(全体)



図表 21 地場産業の振興や企業誘致について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(5)観光

① 観光基盤の整備状況について

問 11 観光についておたずねします。

(1)あなたは、宇和島市の観光基盤(観光施設や観光ルートなど)の整備状況について満足していますか。



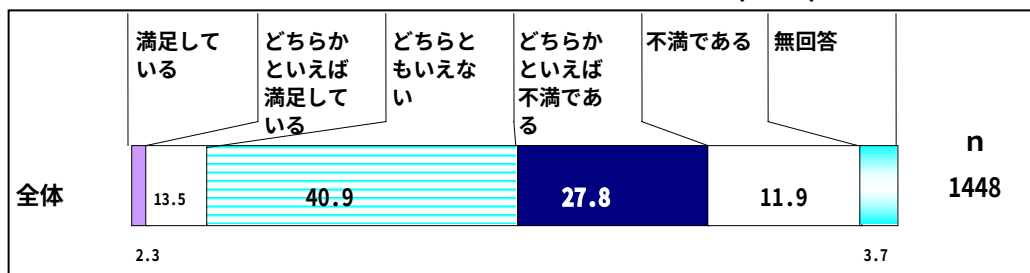
● “満足している”が15.8%、“不満である”が39.7%。

観光基盤の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(2.3%)と「どちらかといえば満足している」(13.5%)をあわせた“満足している”という人が15.8%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」27.8%及び「不満である」11.9%の合計)は39.7%となっている。これは前回調査時と比べると“満足している”(7.5%)が増え、“不満である”(50.3%)が減って改善した形となっている。[\[図表 22 参照\]](#)

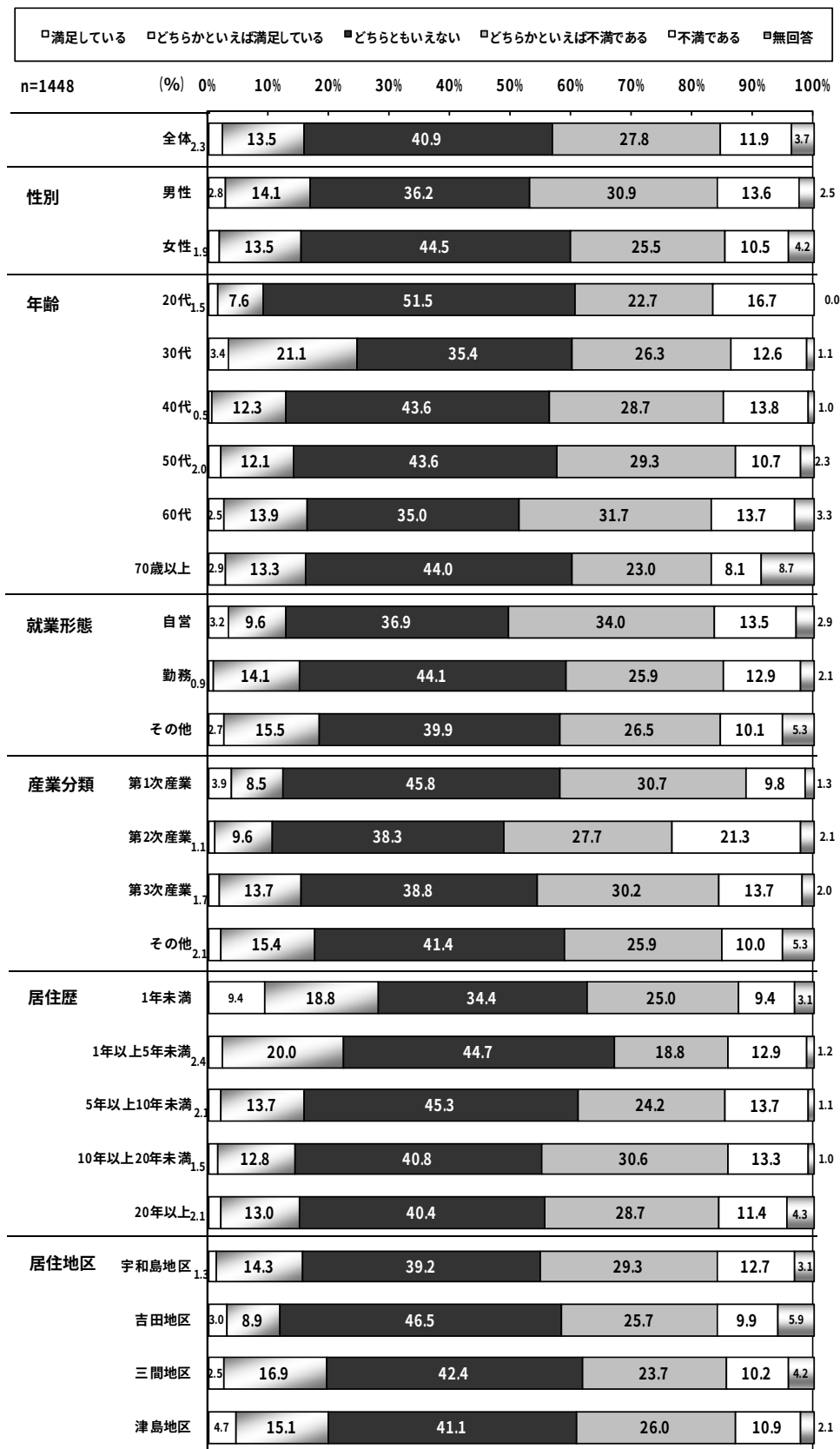
属性別に“不満である”割合をみていくと、産業分類別の第2次産業(49.0%)、就業形態別の自営(47.5%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(31.1%)、居住歴1年以上5年未満(31.7%)、居住地区別の三間地区(33.9%)で低くなっている。

[\[図表 23 参照\]](#)

図表 22 観光基盤の整備状況について(全体)



図表 23 観光基盤の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(6)雇用・就労対策

① 雇用・就労対策への取り組みについて

問 12 雇用・就労対策についておたずねします。
 (1) あなたは、宇和島市の雇用・就労対策(職業訓練機会の確保、情報提供、起業支援など)に関する取り組みについて満足していますか。

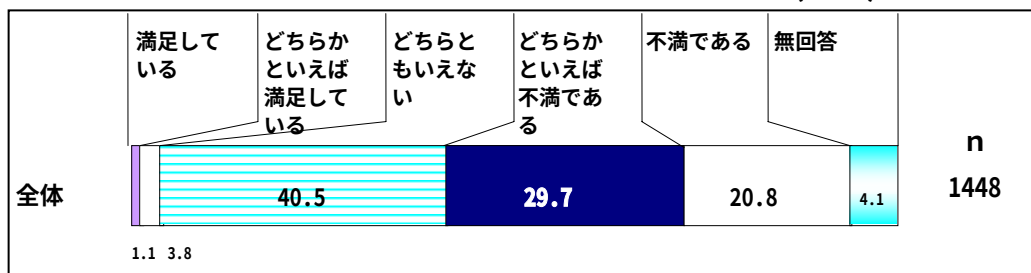


● “満足している”が4.9%、“不満である”が50.5%。

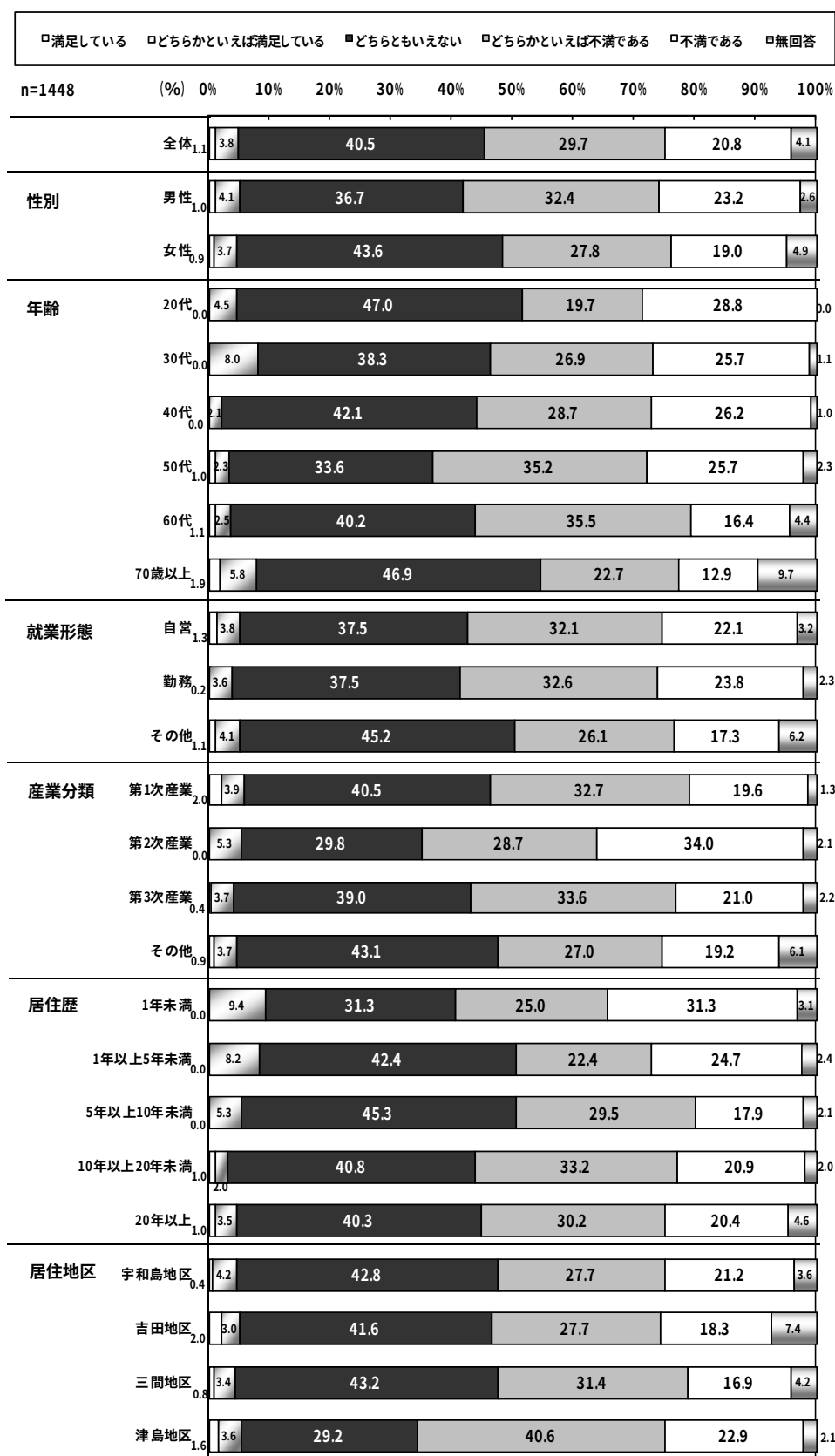
雇用・就労対策に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(1.1%)と「どちらかといえば満足している」(3.8%)をあわせた“満足している”という人が4.9%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」29.7%及び「不満である」20.8%の合計)は50.5%となっている。これは前回調査時(“満足している”4.4%、“不満である”52.6%)とほぼ変わらない結果である。[\[図表 24 参照\]](#)

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の50代(60.9%)、産業分類別の第2次産業(62.7%)、居住地区別の津島地区(63.5%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(35.6%)で低く、全体(50.5%)と約15ポイントの差がみられる。[\[図表 25 参照\]](#)

図表 24 雇用・就労対策への取り組みについて(全体)



図表 25 雇用・就労対策への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(7)健康づくり

① 保健サービスについて

問 13 健康づくりについておたずねします。

(1)あなたは、宇和島市の保健サービス(健康診断、健康相談、栄養指導など)について満足していますか。

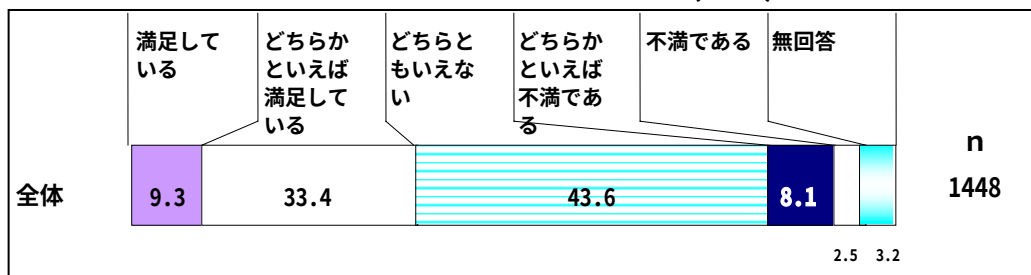


● “満足している”が42.7%、“不満である”が10.6%。

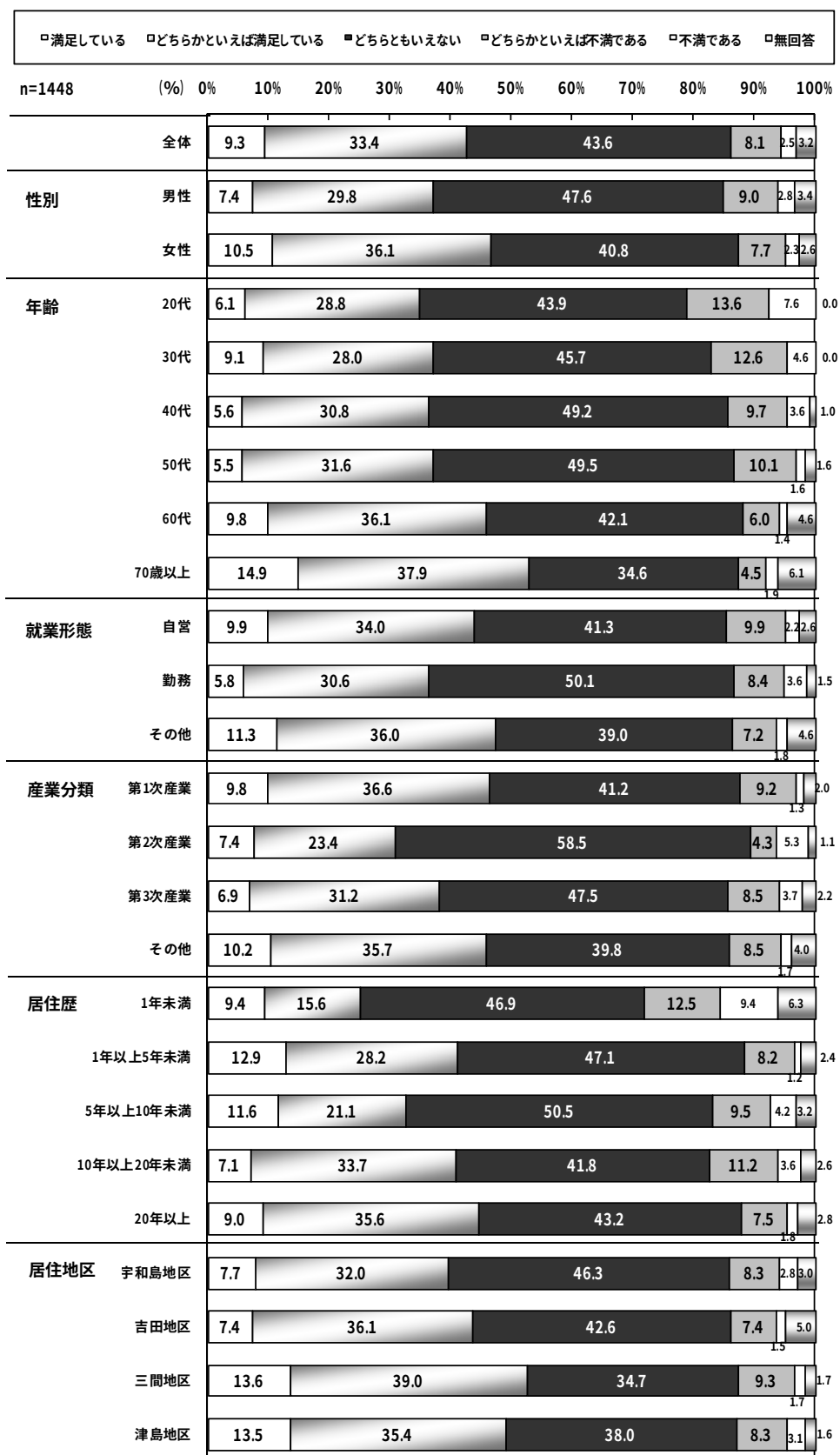
保健サービスについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(9.3%)と「どちらかといえば満足している」(33.4%)をあわせた“満足している”という人が42.7%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」8.1%及び「不満である」2.5%の合計)は10.6%となっている。これは前回調査時と比較し“満足している”(37.3%)が増え、“不満である”(13.9%)が減り、若干改善がみられた。[\[図表 26 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、産業分類別の第2次産業(30.8%)、居住歴別の1年未満(25.0%)、5年以上10年未満(32.7%)で低く、一方、年齢別の70歳以上(52.8%)、居住地区別の三間地区(52.6%)で高く、全体(42.7%)と約10ポイントの差がみられる。[\[図表 27 参照\]](#)

図表 26 保健サービスについて(全体)



図表 27 保健サービスについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 健康増進のための取り組みについて

問 13 健康づくりについておたずねします。

(2) あなたは、日頃、健康増進のための取り組み(運動や食生活の改善など)をしていますか。

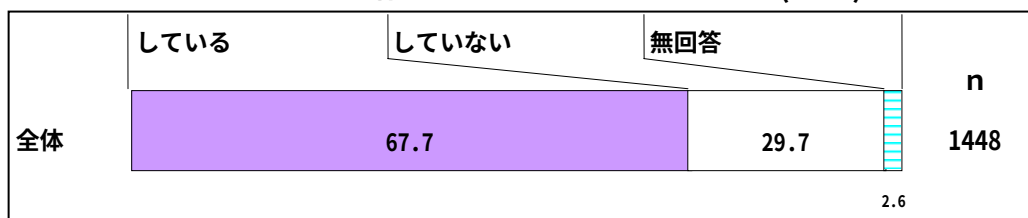


- 「している」が 67.7%、「していない」が 29.7%。

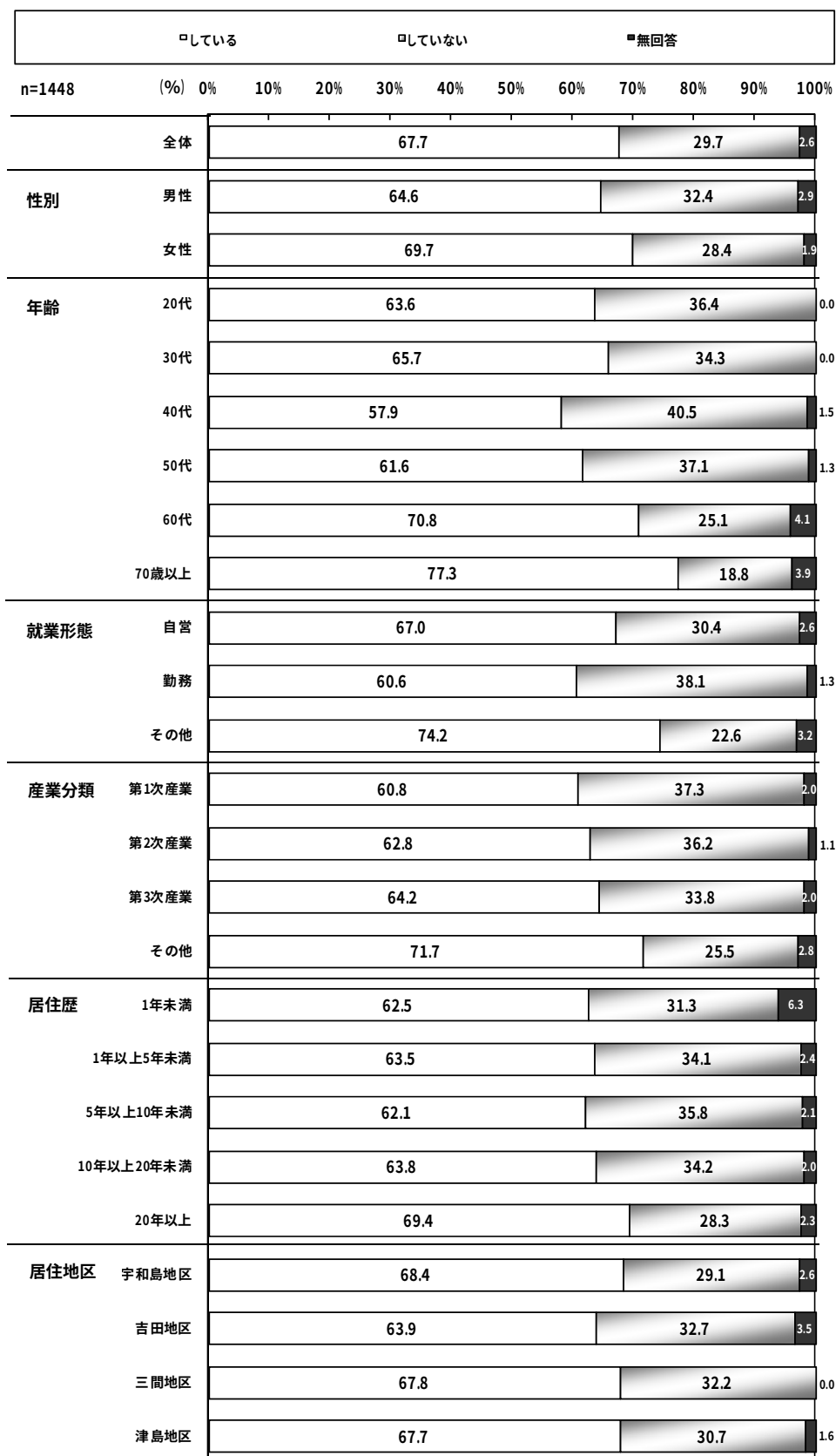
日頃、健康増進のための取り組みをしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が 67.7%、一方、「していない」と回答した人は 29.7%と、約 7 割の人が健康増進の取り組みをしている結果となった。しかし、前回調査時と比べると「している」(72.4%)が減り、「していない」(25.4%)が増えている。[【図表 28 参照】](#)

属性別で「している」と回答した割合をみると、性別では大きな差はみられないが、年齢別では 40 代 (57.9) だけが全体 (67.7%) に比べ約 10 ポイント低くなっている。また、20 代、30 代、50 代では 60% 台なのに対し、60 代～70 歳以上では 70% 台を占めており、比較的若い層と高齢層で回答の傾向に違いがみられる。[【図表 29 参照】](#)

図表 28 健康増進のための取り組みについて(全体)



図表 29 健康増進のための取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(8)医療

① 医療体制について

問 14 医療についておたずねします。

(1)あなたは、宇和島市の医療体制について満足していますか。

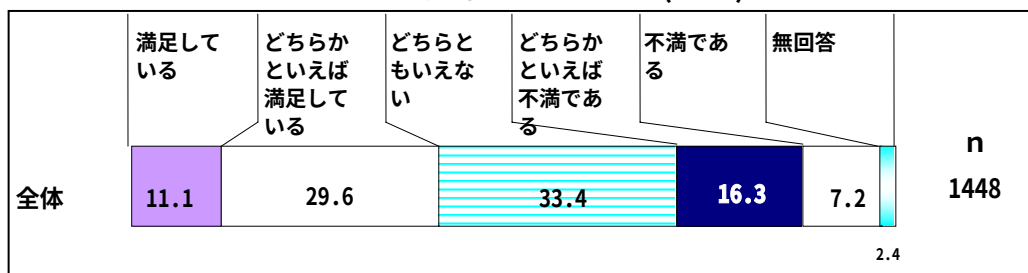


● “満足している”が40.7%、“不満である”が23.5%。

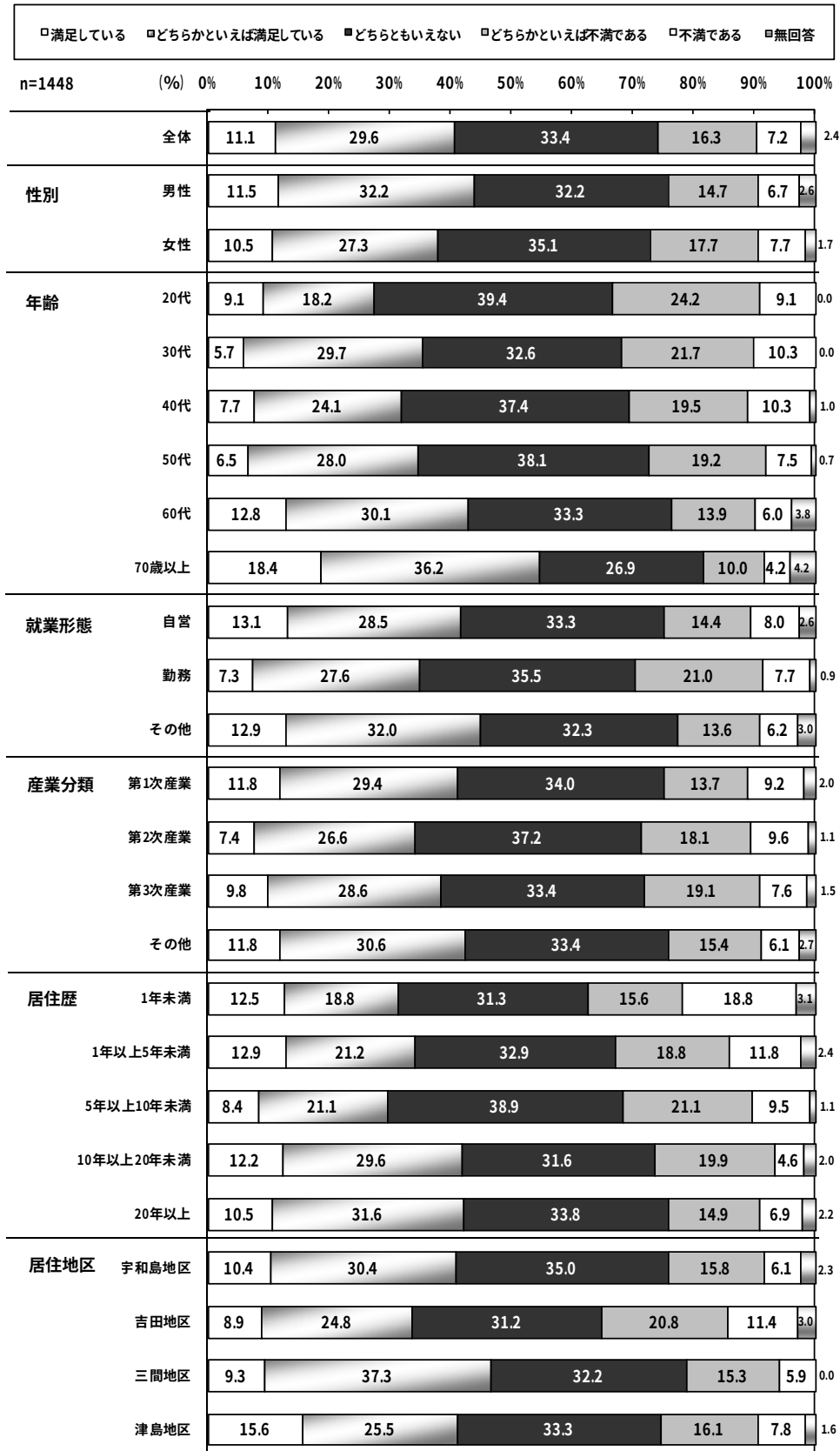
医療体制について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(11.1%)と「どちらかといえば満足している」(29.6%)をあわせた“満足している”という人が40.7%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」16.3%及び「不満である」7.2%の合計)は23.5%となり、前回調査時と比べ大幅に改善した(“満足している”31.0%、“不満である”38.2%)。[図表 30 参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(27.3%)、居住歴別の5年以上10年未満(29.5%)で低い。一方、年齢別の70歳以上(54.6%)で高く、全体(40.7%)と10ポイント以上の差がみられる。[図表 31 参照]

図表 30 医療体制について(全体)



図表 31 医療体制について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② かかりつけ医について

問 14 医療についておたずねします。
(2)あなたは、かかりつけ医がいますか。

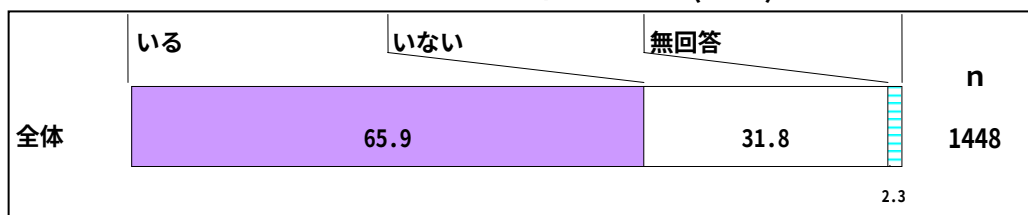


- 「いる」が 65.9%、「いない」が 31.8%。

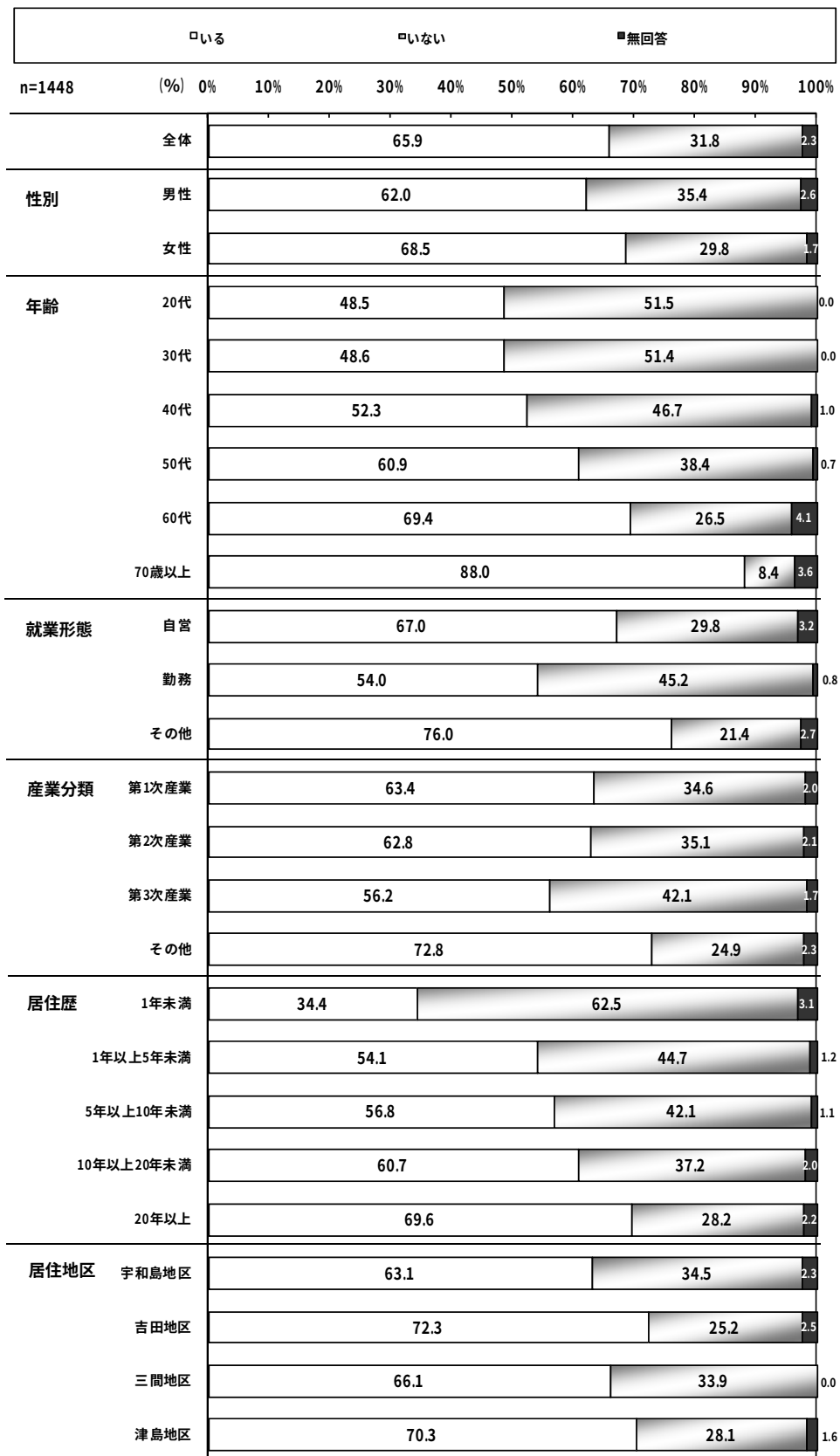
かかりつけ医がいるかをたずねたところ、「いる」と回答した人が 65.9%、一方、「いない」と回答した人は 31.8%と、7 割弱の人がかかりつけ医がいる結果となった。[【図表 32 参照】](#)

属性別で「いる」と回答した割合をみると、性別では大きな差はみられないが、年齢別では加齢とともに高くなり、20 代(48.5%)、30 代(48.6%)では 5 割を下回るのに対し、70 歳以上(88.0%)では 9 割弱を占めており、若年層と高齢層で回答の傾向に違いがみられる。居住歴別にみると、1 年未満(34.4%)で 5 割を大きく下回っている。また、居住地区別では大きな差はみられない。[【図表 33 参照】](#)

図表 32 かかりつけ医について(全体)



図表 33 かかりつけ医について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(9) 地域福祉

① バリアフリー化への取り組みについて

問 15 地域福祉についておたずねします。

(1) あなたは、宇和島市のバリアフリー化への取り組み(公共施設などの段差解消、障害者にも使いやすいトイレ施設の整備など)について満足していますか。

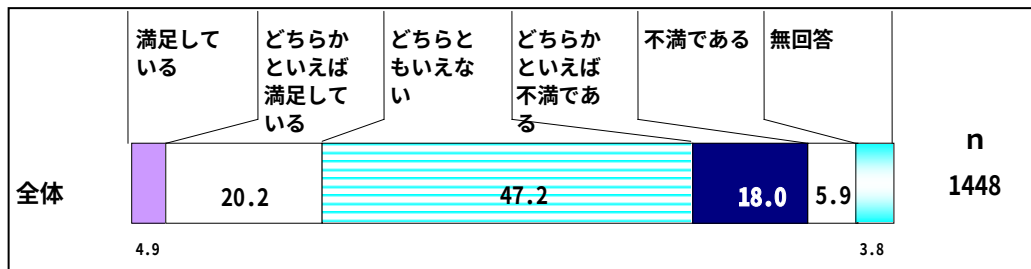


- “満足している”が25.1%、“不満である”が23.9%。

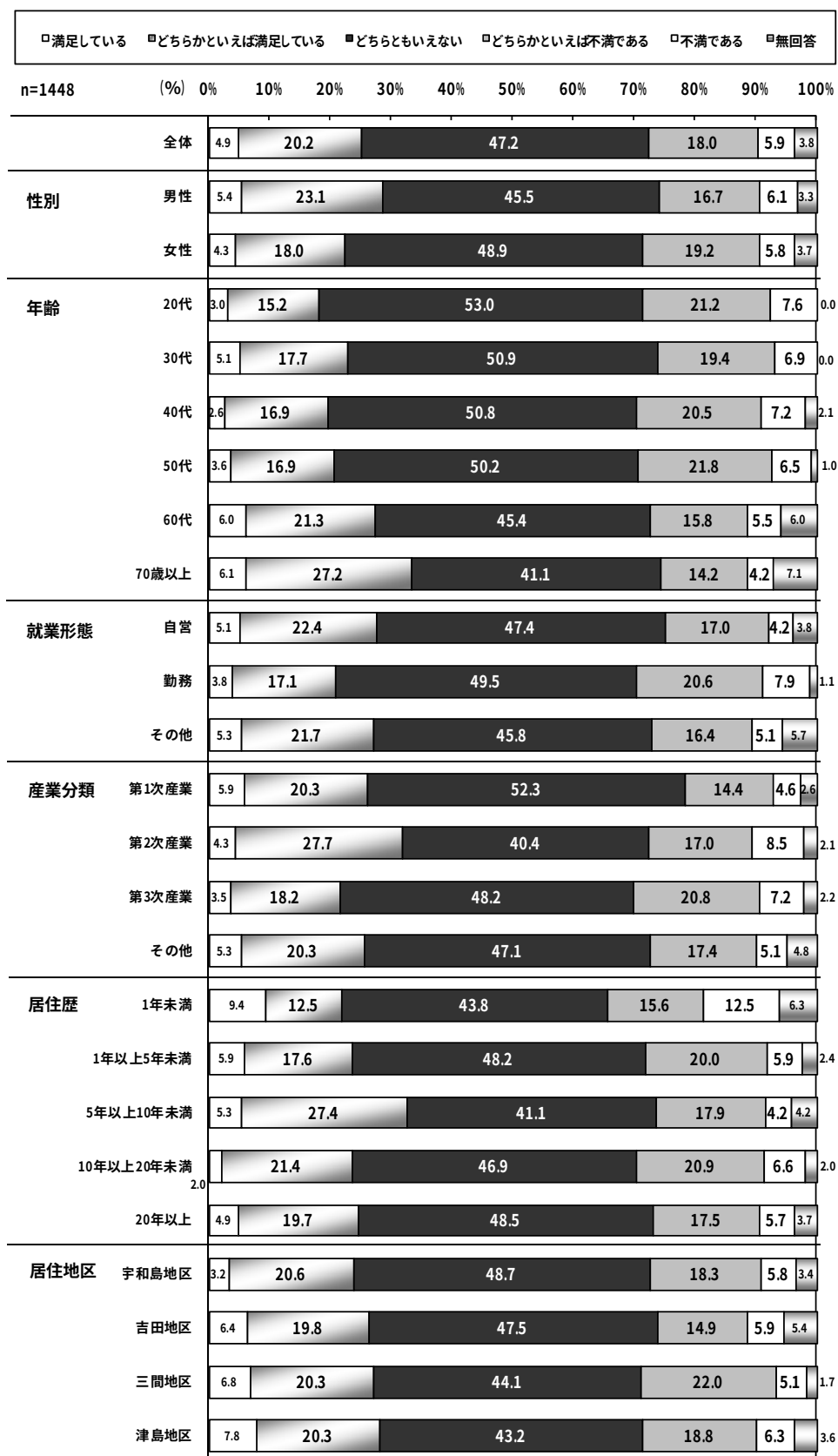
バリアフリー化への取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(4.9%)と「どちらかといえば満足している」(20.2%)をあわせた“満足している”という人が25.1%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」18.0%及び「不満である」5.9%の合計)は23.9%となっている。[【図表 34 参照】](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(18.2%)、居住歴別1年未満(21.9%)が低く、70歳以上(33.3%)、5年以上10年未満(32.7%)が高くなっている。[【図表 35 参照】](#)

図表 34 バリアフリー化への取り組みについて(全体)



図表 35 バリアフリー化への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 地域福祉活動への参加について

問 15 地域福祉についておたずねします。
(2)あなたは、身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動に参加していますか。

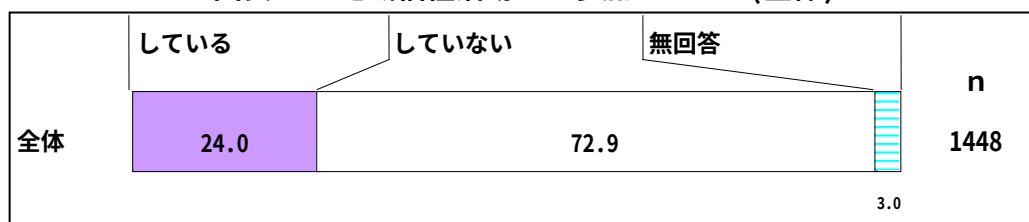


- 「している」が24.0%、「していない」が72.9%。

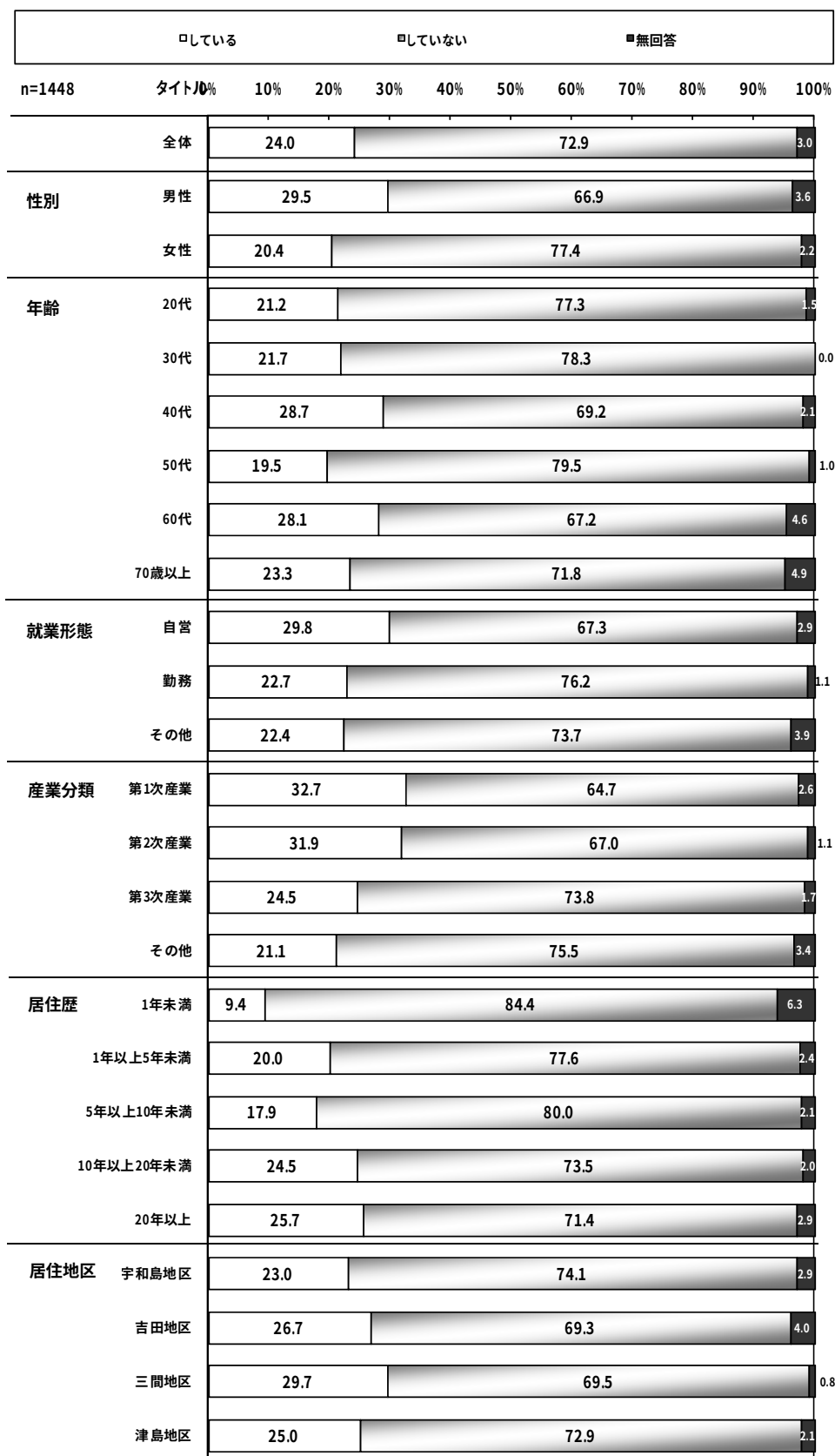
身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動に参加しているかをたずねたところ、「している」と回答した人が24.0%、一方、「していない」と回答した人は72.9%と、およそ4人に1人が地域福祉活動に参加している結果となった。[\[図表 36 参照\]](#)

属性別で「している」と回答した割合をみると、性別、年齢別などでは大きな差はみられないが、居住歴別1年未満（9.4%）が他と比べ極端に低い割合となっている。[\[図表 37 参照\]](#)

図表 36 地域福祉活動への参加について(全体)



図表 37 地域福祉活動への参加について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(10)子育て支援

① 保育・子育てサービスについて

問 16 子育て支援についておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市の保育・子育てサービスについて満足していますか。

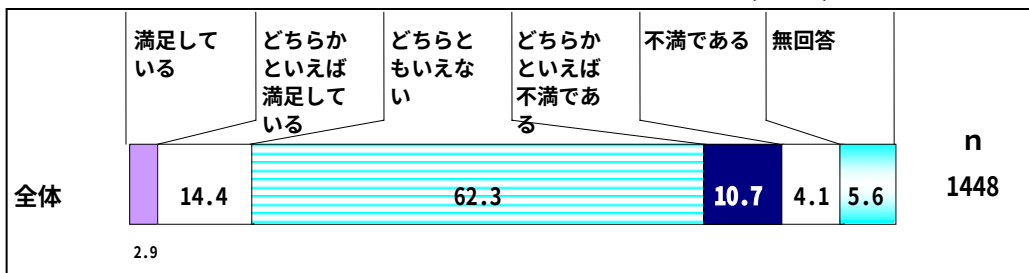


● “満足している”が17.3%、“不満である”が14.8%。

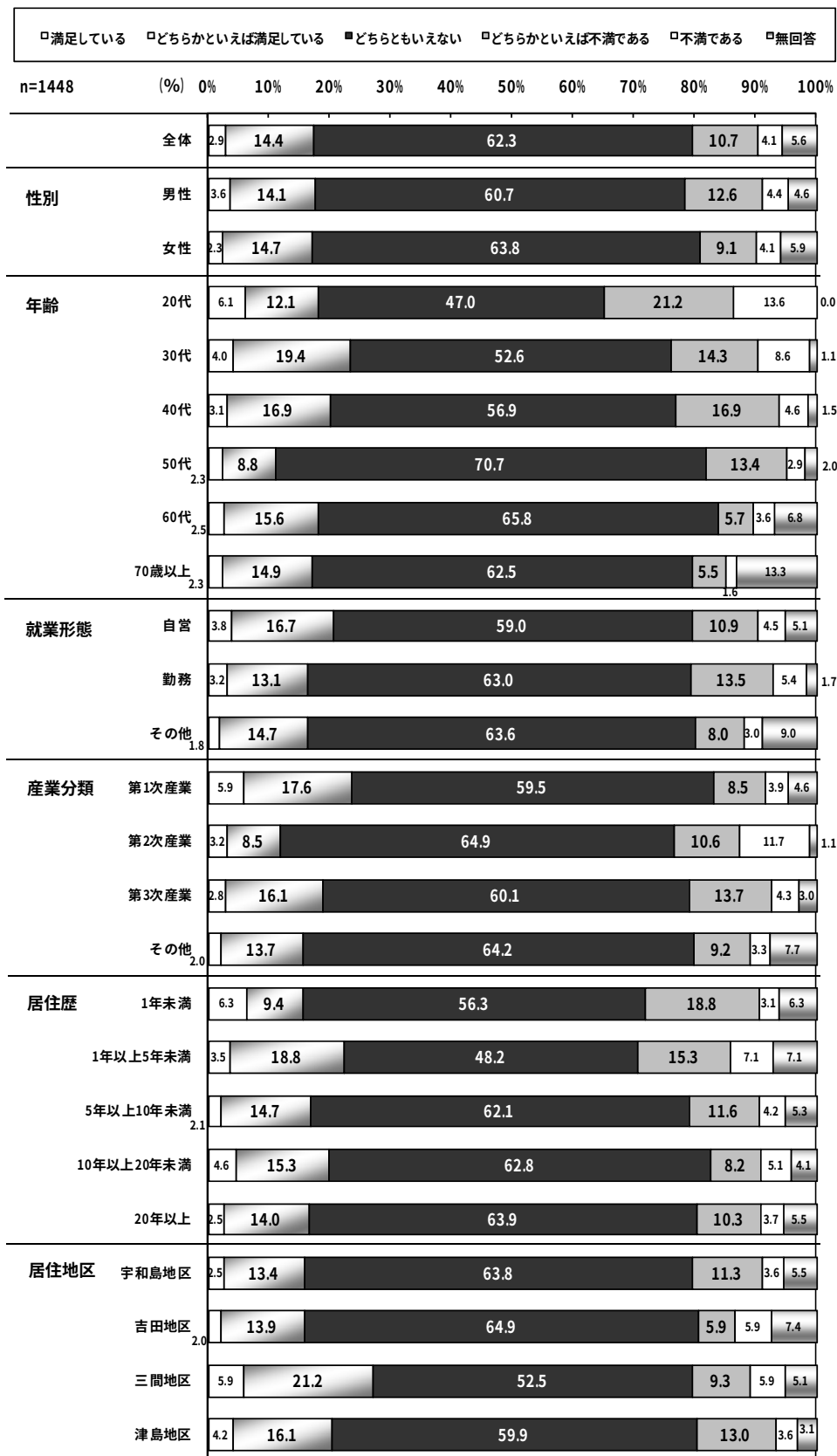
保育・子育てサービスについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(2.9%)と「どちらかといえば満足している」(14.4%)をあわせた“満足している”という人が17.3%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」10.7%及び「不満である」4.1%の合計)は14.8%となり、前回調査時と比べて“満足している”(16.4%)、“不満である”(17.9%)ともに大きく変わっていない。[【図表 38 参照】](#)

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(34.8%)が唯一30%台と高く、一方、60代(9.3%)、70歳以上(7.1%)で低く、若年層ほど割合が高い傾向にある。ただし30代の“不満である”割合は前回の37.7%から22.9%へと大きく改善している。また、居住地区別では三間地区の“満足している”(27.1%)割合が高かった。[【図表 39 参照】](#)

図表 38 保育・子育てサービスについて(全体)



図表 39 保育・子育てサービスについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(11) 高齢者福祉・介護

① 高齢者福祉・介護サービスについて

問 17 高齢者福祉・介護についておたずねします。
(1) あなたは、宇和島市の高齢者福祉・介護サービスについて満足していますか。

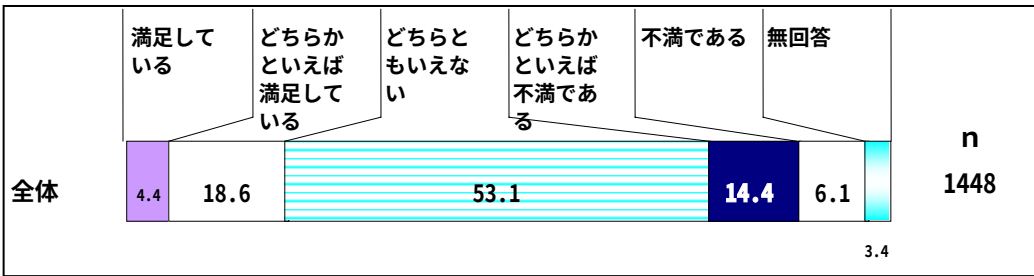


● “満足している” が 23.0%、“不満である” が 20.5%。

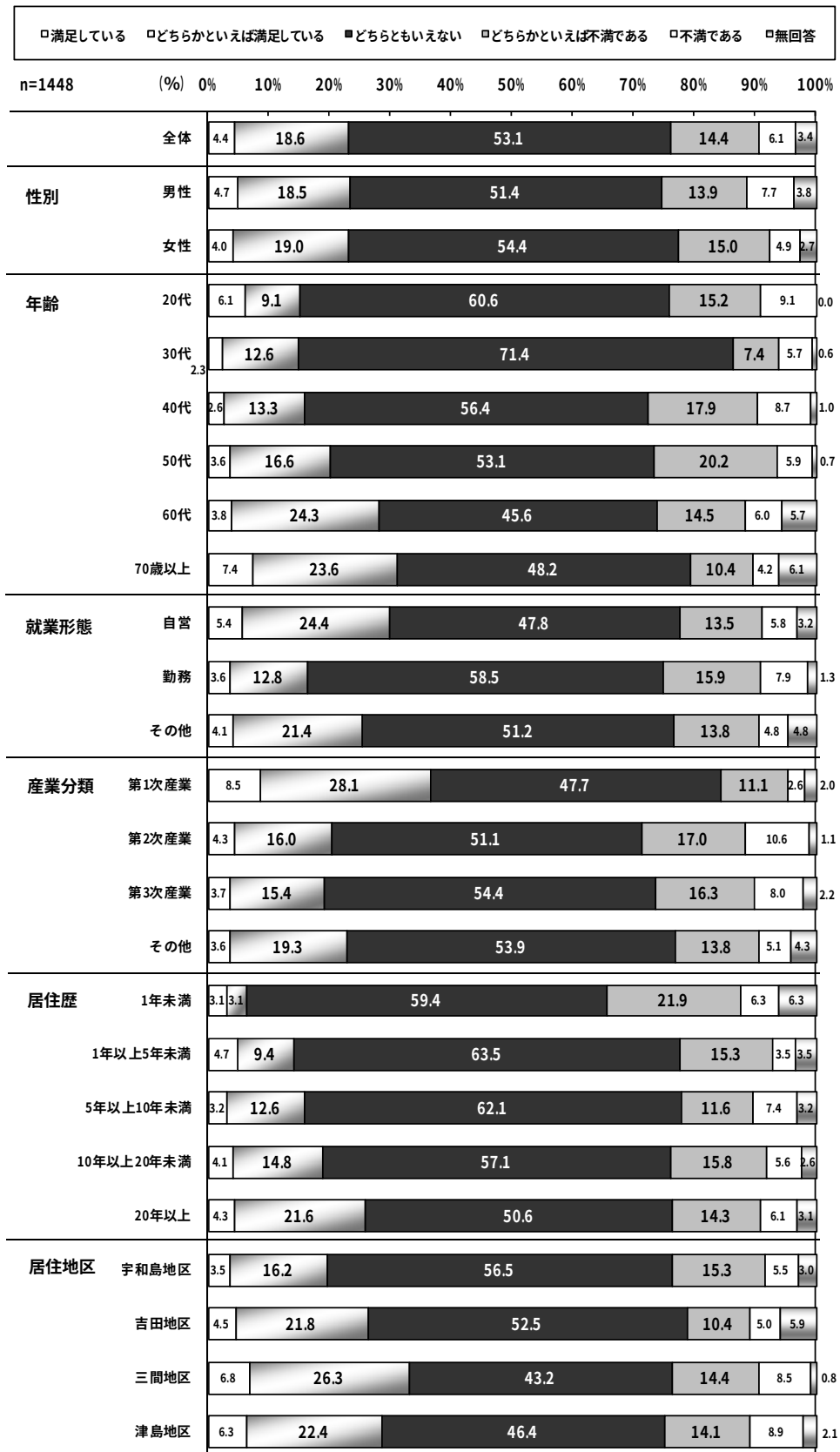
高齢者福祉・介護サービスについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(4.4%)と「どちらかといえば満足している」(18.6%)をあわせた“満足している”という人が 23.0%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」14.4%及び「不満である」6.1%の合計)は 20.5%で、前回調査時とほぼ変わらない結果となっている(“満足している” 21.2%、“不満である” 20.7%)。[図表 40 参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、居住歴別の1年未満(6.2%)で極端に低く、一方、年齢別の70歳以上(31.0%)や産業分類別の第1次産業(36.6%)で高くなっている。また、居住地区別では、三間地区で 33.1%と3割を超えて他地区より高くなっている。[図表 41 参照]

図表 40 高齢者福祉・介護サービスについて(全体)



図表 41 高齢者福祉・介護サービスについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(12)障害者福祉

① 障害者福祉サービスについて

問 18 障害者福祉についておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市の障害者福祉サービスについて満足していますか。

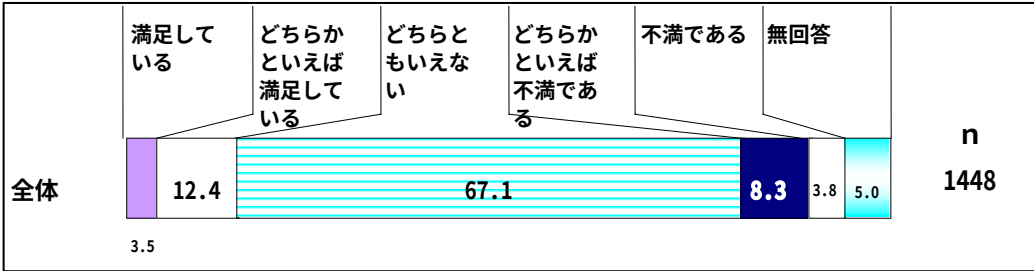


● “満足している”が15.9%、“不満である”が12.1%。

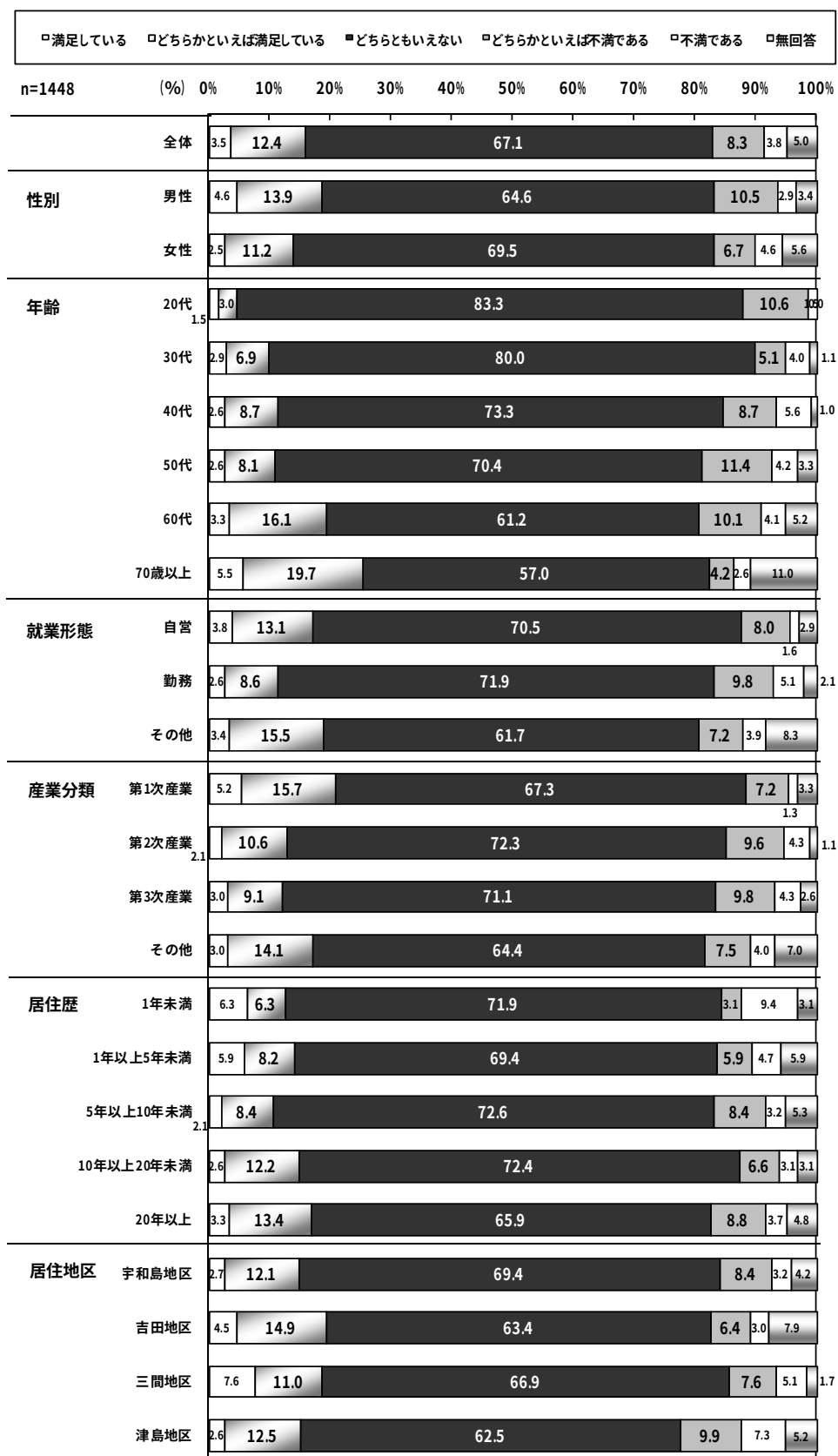
障害者福祉サービスについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(3.5%)と「どちらかといえば満足している」(12.4%)をあわせた“満足している”という人が15.9%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」8.3%及び「不満である」3.8%の合計)は12.1%となり、前回調査時(“満足している”14.8%、“不満である”13.8%)とほぼ変わっていない。[\[図表 42 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(4.5%)が極端に低く、逆に70歳以上は25.2%と全体(15.9%)を10ポイント近く上回っている。[\[図表 43 参照\]](#)

図表 42 障害者福祉サービスについて(全体)



図表 43 障害者福祉サービスについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(13)環境対策

① 自然環境の豊かさについて

問 19 環境対策についておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市の自然環境の豊かさについて満足していますか。

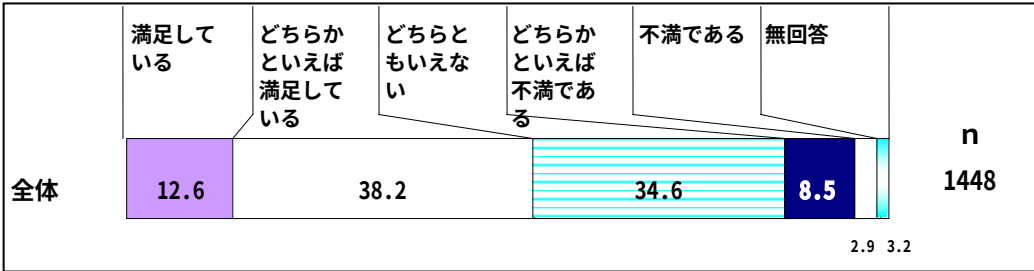


● “満足している”が50.8%、“不満である”が11.4%。

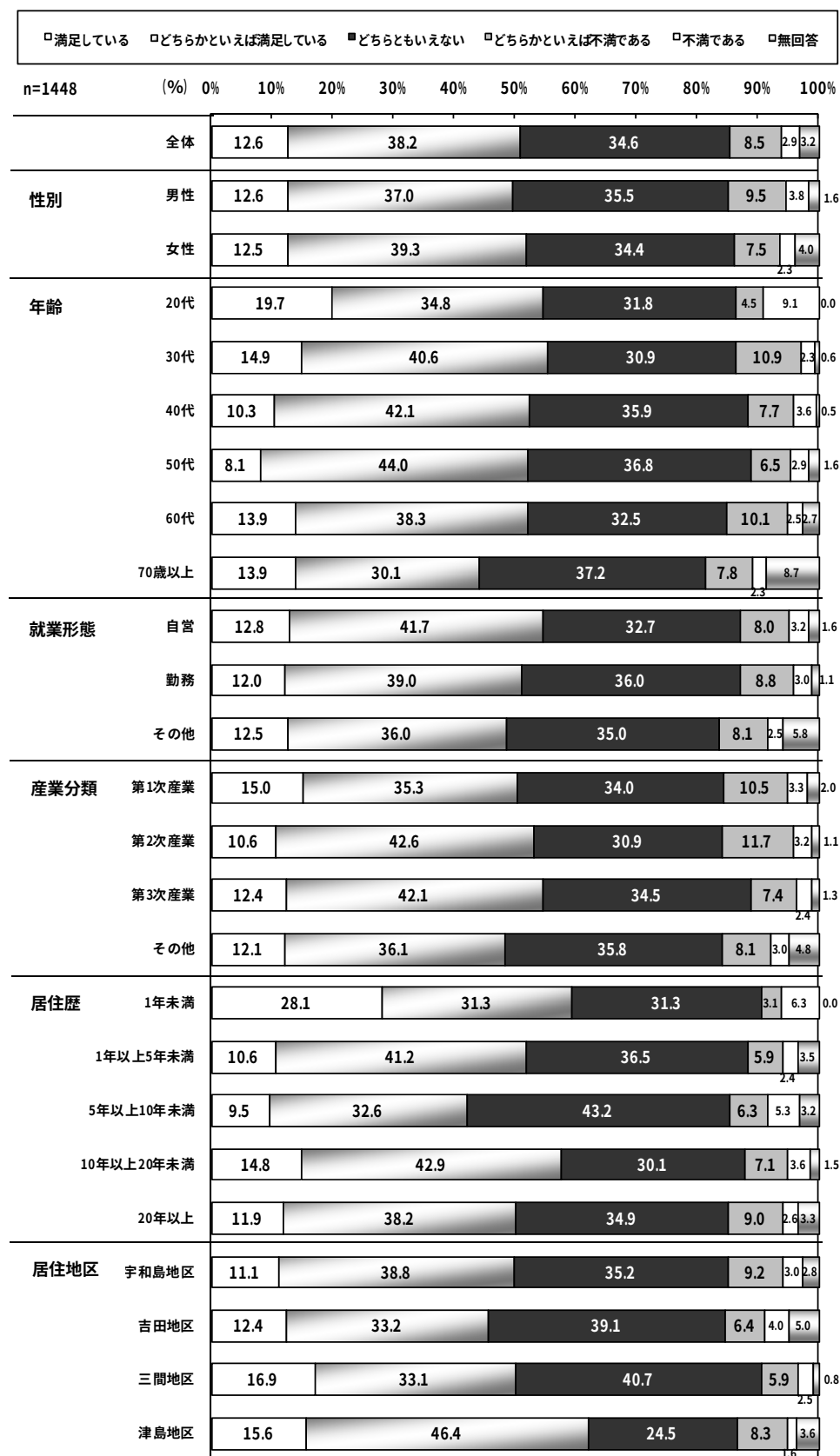
自然環境の豊かさについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(12.6%)と「どちらかといえば満足している」(38.2%)をあわせた“満足している”という人が50.8%となり、前回調査時(53.1%)に引き続き5割を超える人が満足感を示している、一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」8.5%及び「不満である」2.9%の合計)は11.4%となっている。[【図表 44 参照】](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、性別では大きな差はみられないが、年齢別では70代(44.0%)、居住歴別では5年以上10年未満(42.1%)、居住地区別の吉田地区(45.6%)で5割を下回っている一方、居住地区別では津島地区が62.0%と高くなっている。[【図表 45 参照】](#)

図表 44 自然環境の豊かさについて(全体)



図表 45 自然環境の豊かさについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 環境保全について

問 19 環境対策についておたずねします。

(2) あなたは、宇和島市の環境保全に関する取組み（自然保護、公害防止、新エネルギーの導入、環境保全活動の促進など）について満足していますか。

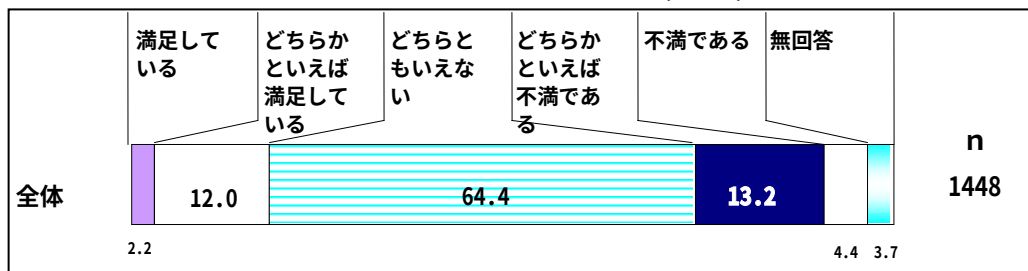


- “満足している”が14.2%、“不満である”が17.6%。

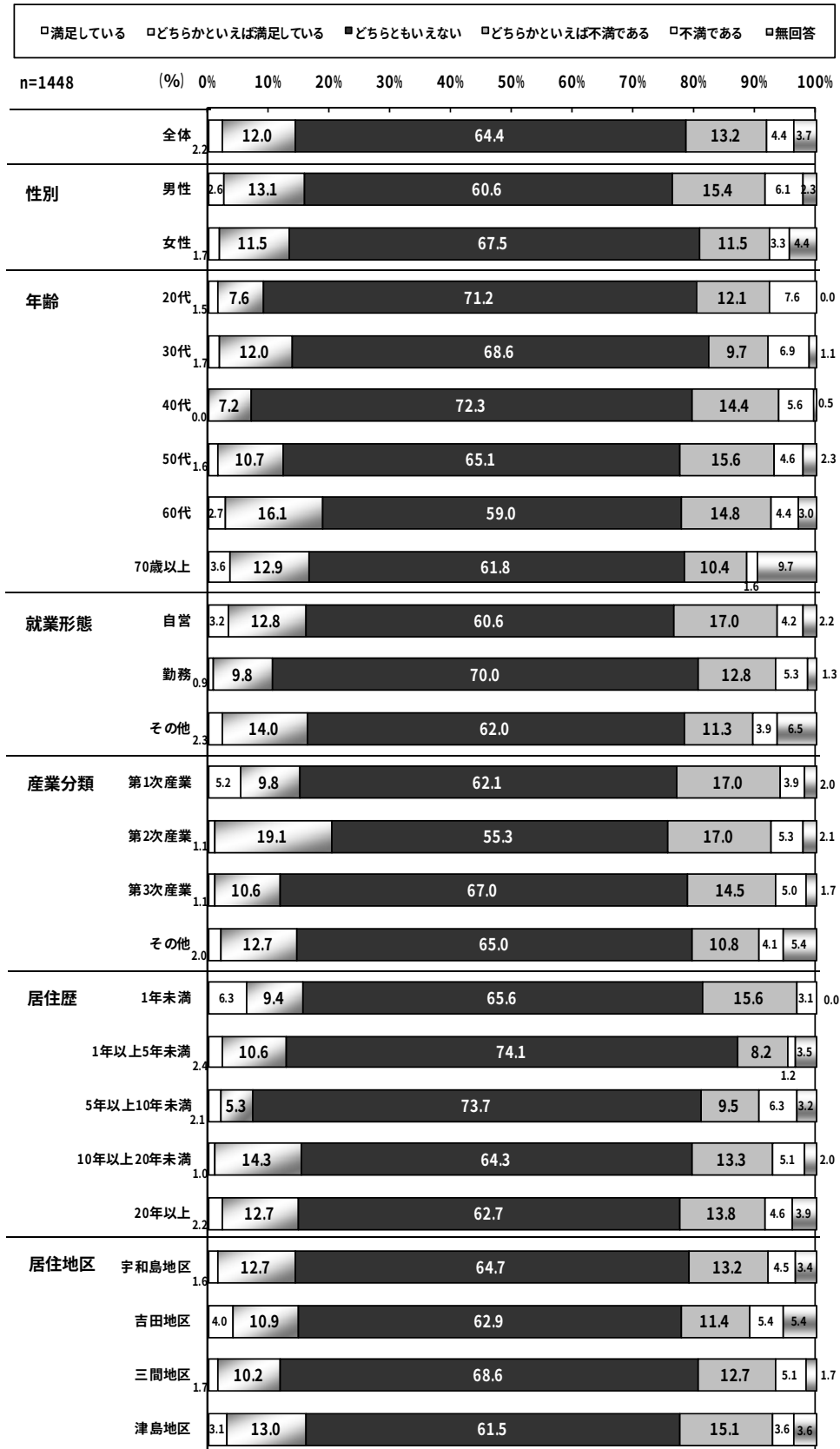
今回新たに、環境保全に関する取組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(2.2%)と「どちらかといえば満足している」(12.0%)をあわせた“満足している”という人が14.2%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」13.2%及び「不満である」4.4%の合計)は17.6%となり、“満足している”を若干上回った。[\[図表 46 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(9.1%)、40代(7.2%)、居住歴別の5年以上10年未満(7.4%)を除き、ほとんどの層で10%~20%台となっている。[\[図表 47 参照\]](#)

図表 46 環境保全について(全体)



図表 47 環境保全について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



③ 環境に配慮した生活について

問 19 環境対策についておたずねします。
(3)あなたは、自然保護や省資源・省エネルギーなど、環境に配慮した生活をしていますか。

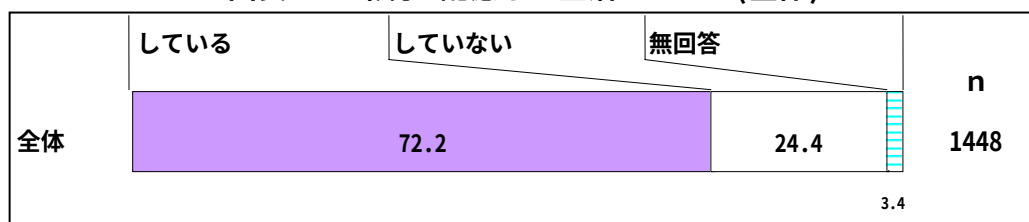


- 「している」が72.2%、「していない」が24.4%。

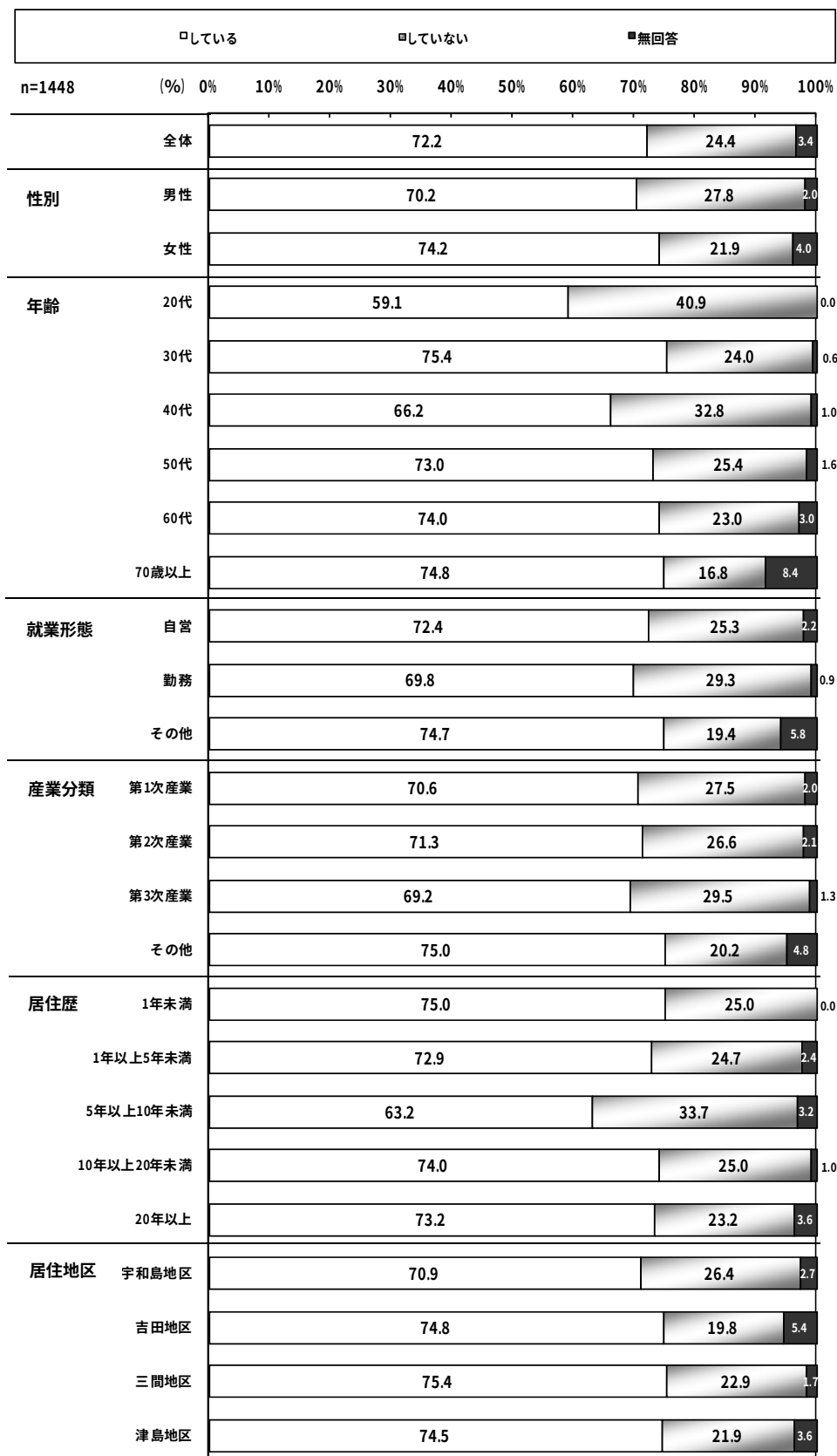
環境に配慮した生活をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が72.2%、一方、「していない」と回答した人は24.4%と、前回(75.1%)に引き続きおよそ4人に3人が環境に配慮した生活をしている結果となった。[\[図表 48 参照\]](#)

属性別でみると、年齢別の20代(59.1%)で全体(72.2%)に比べ10ポイント以上低くなっている以外は、大きな差はみられない。[\[図表 49 参照\]](#)

図表 48 環境に配慮した生活について(全体)



図表 49 環境に配慮した生活について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(14)水道

① 水道の整備状況について

問 20 水道についておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市の水道の整備状況について満足していますか。

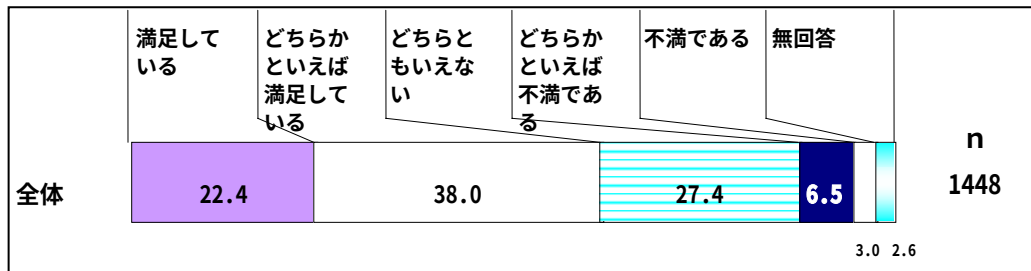


- “満足している”が60.4%、“不満である”が9.5%。

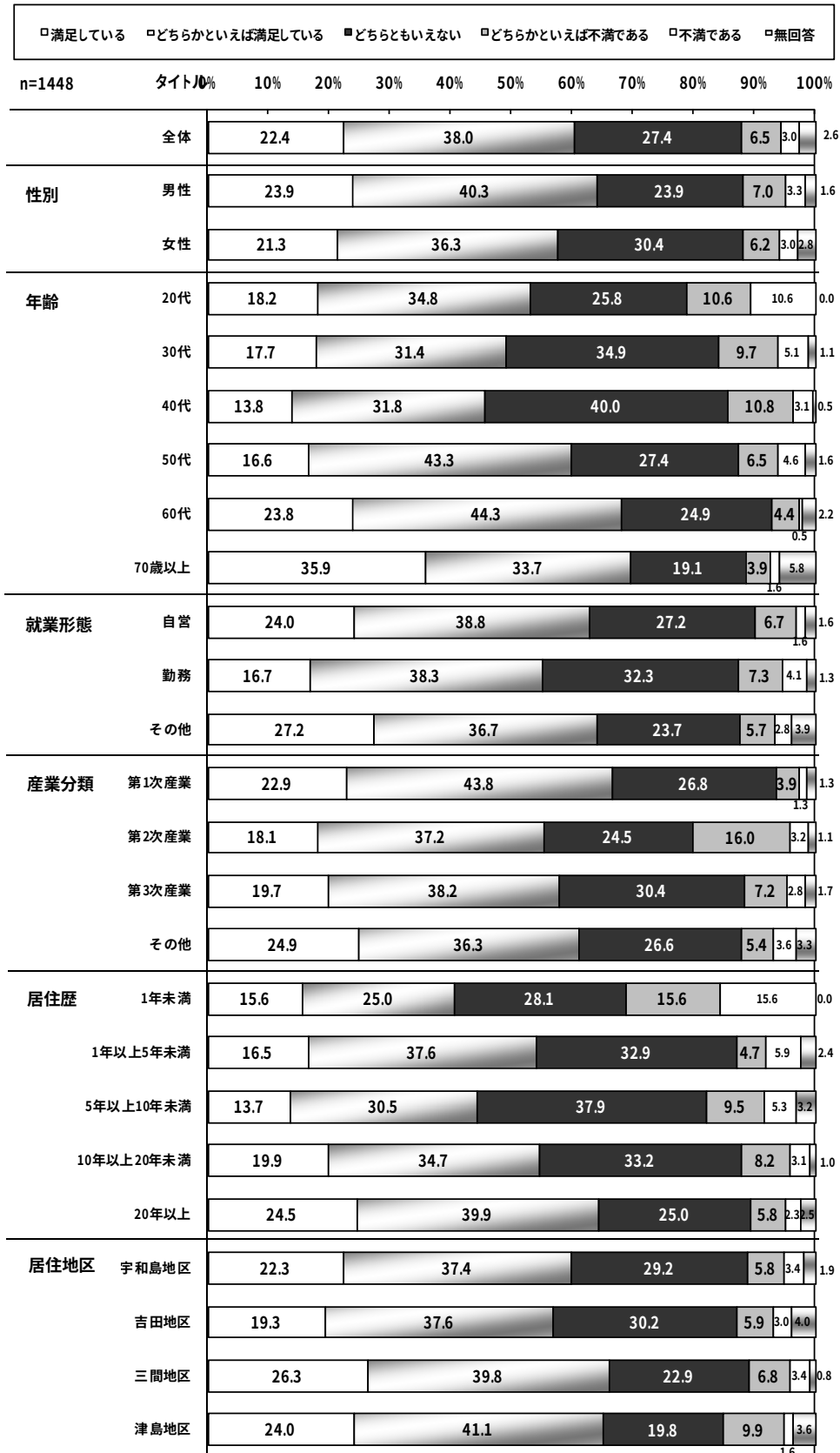
水道の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(22.4%)と「どちらかといえば満足している」(38.0%)をあわせた“満足している”という人が60.4%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」6.5%及び「不満である」3.0%の合計)は9.5%となっている。[\[図表 50 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の30代(49.1%)、40代(45.6%)、居住歴別の1年未満(40.6%)、5年以上10年未満(44.2%)で低く、全体(60.4%)と10ポイント以上の差がみられる。[\[図表 51 参照\]](#)

図表 50 水道の整備状況について(全体)



図表 51 水道の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 節水について

問 20 水道についておたずねします。
(2)あなたは、日頃から節水をしていますか。

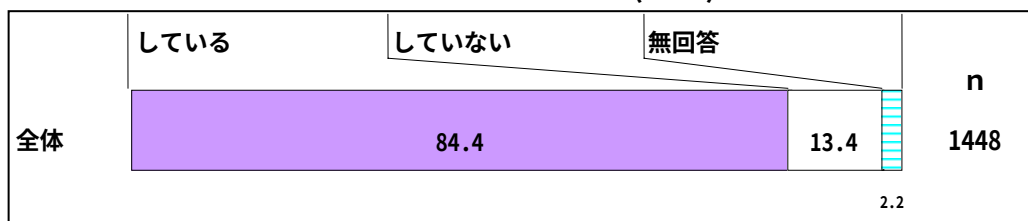


- 「している」が84.4%、「していない」が13.4%。

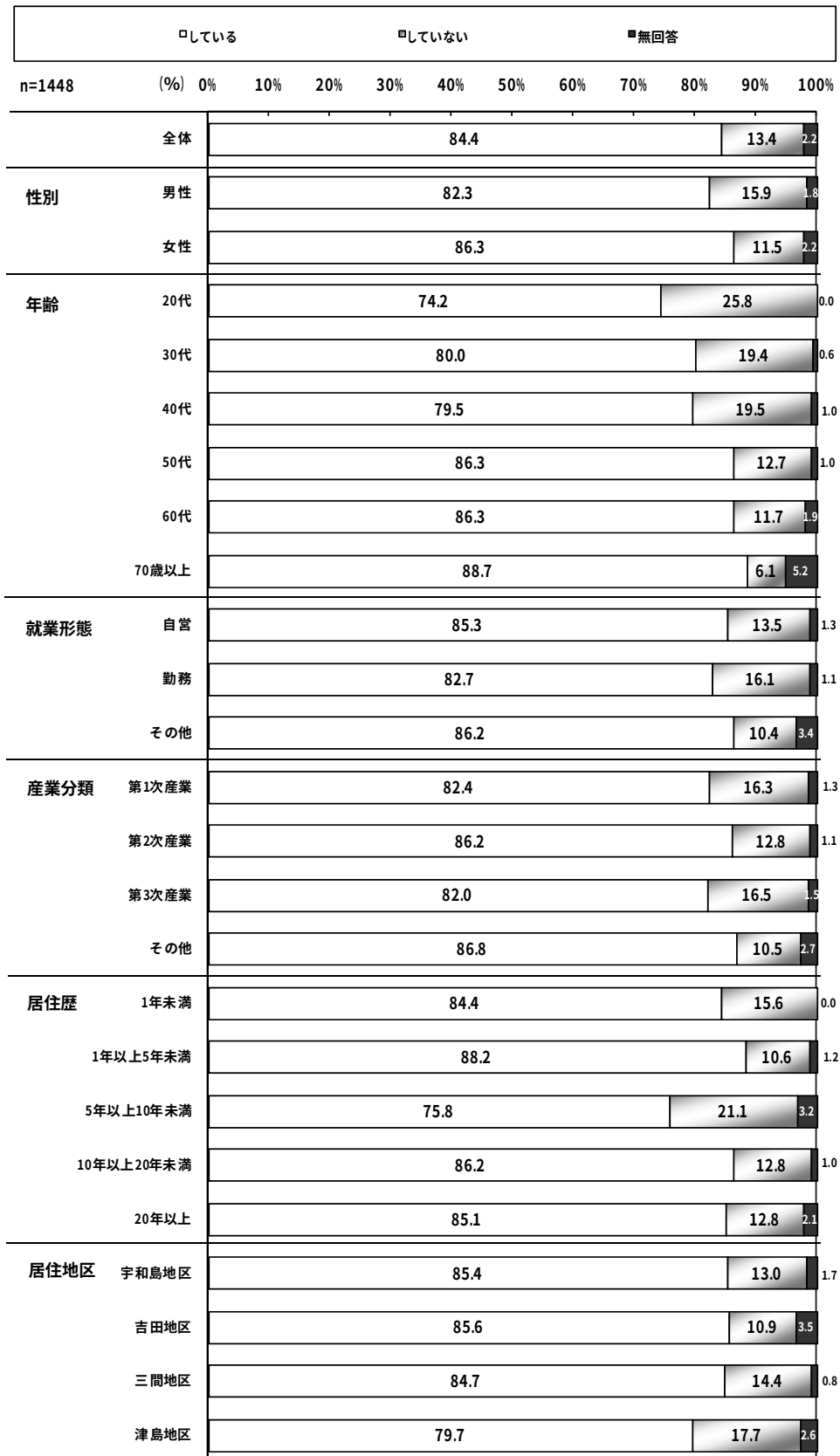
日頃から節水をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が84.4%、一方、「していない」と回答した人は13.4%と、前回（85.2%）に引き続き8割以上の人が節水をしている結果となった。[\[図表 52 参照\]](#)

属性別で「している」と回答した割合をみると、性別などでは大きな差はみられないが、年齢別の20代が74.2%と全項目で最も低くなっている。[\[図表 53 参照\]](#)

図表 52 節水について(全体)



図表 53 節水について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(15) 下水道

① 下水道の整備状況について

問 21 下水道についておたずねします。
(1) あなたは、宇和島市の下水道(公共下水道、集落排水、合併処理浄化槽)の整備状況について満足していますか。

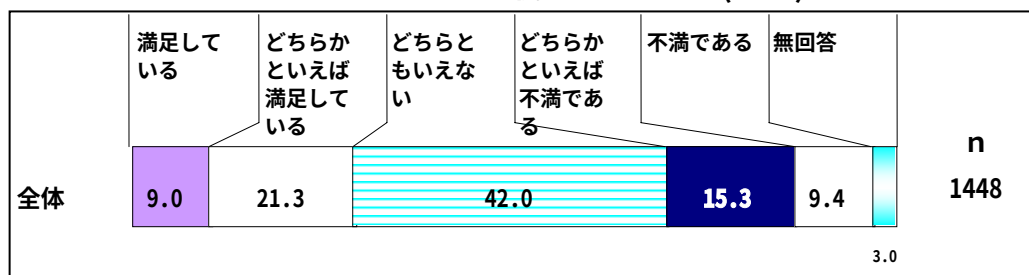


● “満足している”が 30.3%、“不満である”が 24.7%。

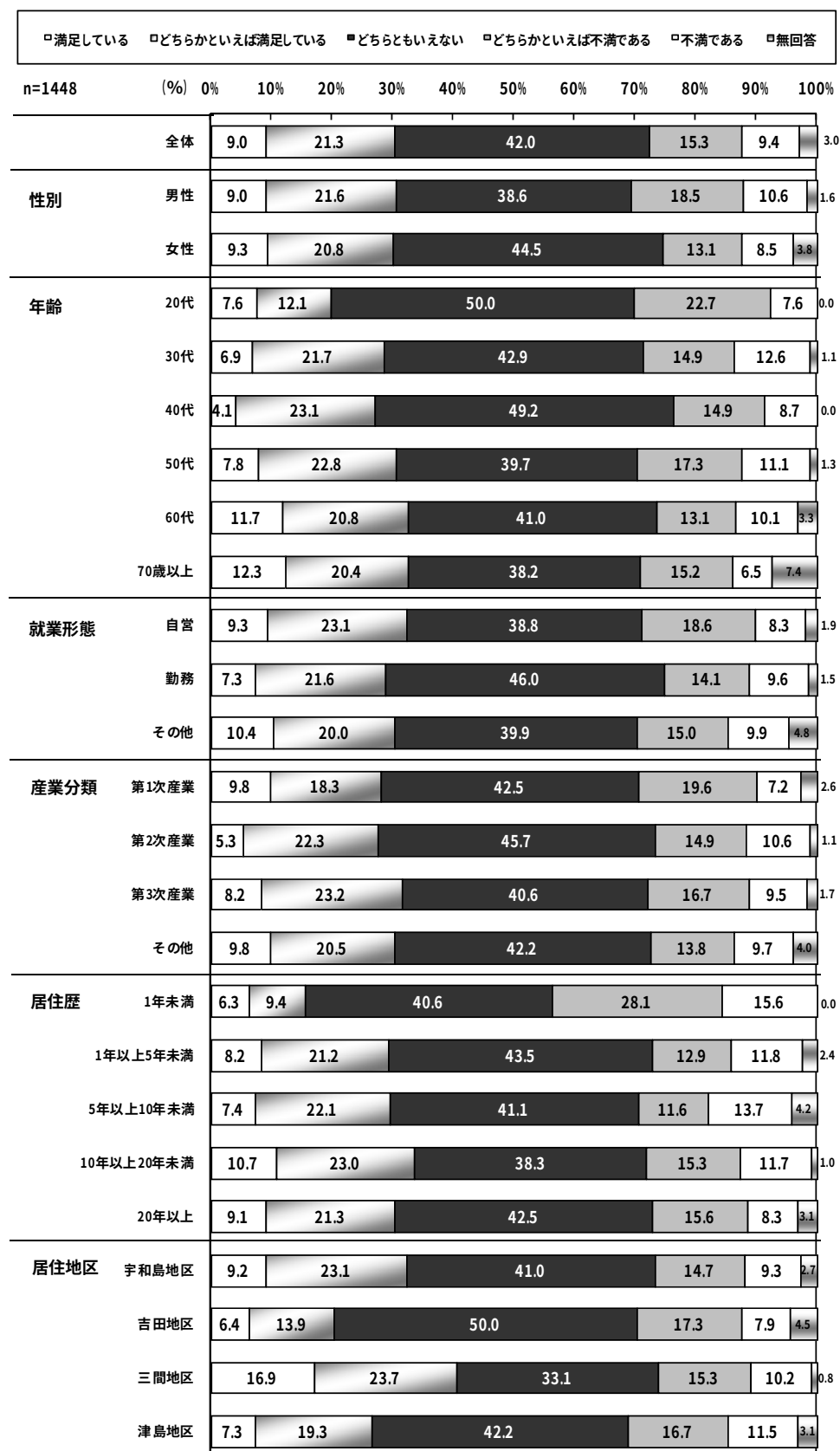
下水道の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(9.0%)と「どちらかといえば満足している」(21.3%)をあわせた“満足している”という人が 30.3%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」15.3%及び「不満である」9.4%の合計)は 24.7%となっている。[\[図表 54 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別では概ね加齢とともに満足度が高くなり、最も低い 20 代では 19.7%、最も高い 70 歳以上では 32.7%と、その差は 13 ポイントとなっている。居住歴別では 1 年未満(15.7%)が極端に低く、全体(30.3%)と 15 ポイント近い差がみられる。これは前回調査時(20.0%)と比べても低下しており、24.4%から 29.4%へと高まった 1 年以上 5 年未満とは対照的である。また、居住地区別では、三間地区(40.6%)が最も高く、前回(26.7%)から大きく改善している。また、一番低い吉田地区(20.3%)とは 20 ポイント以上の差がある。[\[図表 55 参照\]](#)

図表 54 下水道の整備状況について(全体)



図表 55 下水道の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(16)ごみ処理・リサイクル

① ごみ処理・リサイクルの状況について

問 22 ごみ処理・リサイクルについておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市のごみ処理・リサイクルの状況について満足していますか。



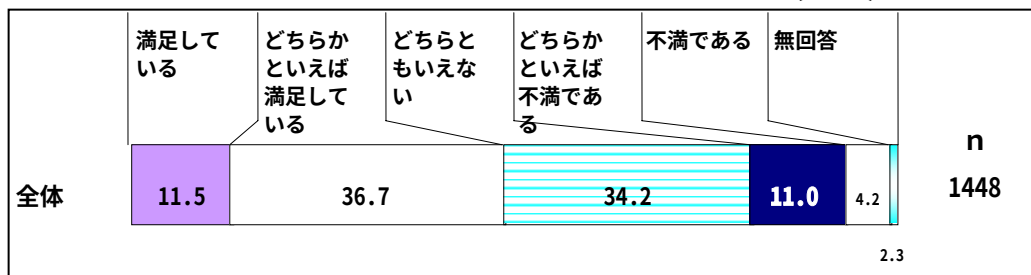
● “満足している”が48.2%、“不満である”が15.2%。

ごみ処理・リサイクル状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(11.5%)と「どちらかといえば満足している」(36.7%)をあわせた“満足している”という人が48.2%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」11.0%及び「不満である」4.2%の合計)は15.2%となっている。[\[図表 56 参照\]](#)

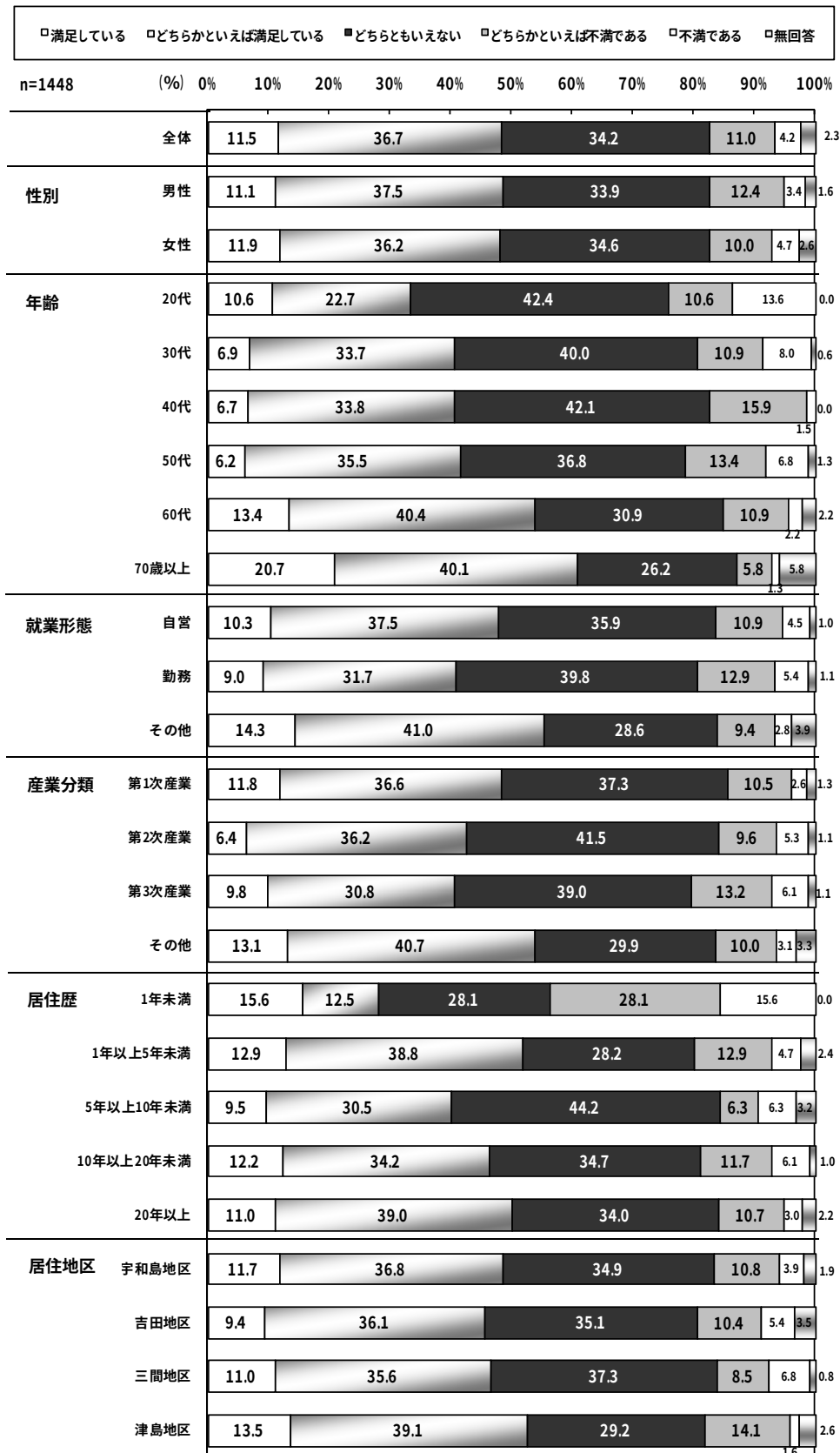
属性別に“満足している”割合をみていくと、居住歴1年未満(28.1%)が全体(48.2%)に比べ20ポイント以上低く、前回(33.4%)からも下がっている。また、年齢別の20代(33.3%)も4割を下回っている。

一方、70歳以上(60.8%)では6割強と高く、全体(48.2%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住歴1年以上5年未満も51.7%と全体を上回り、1年未満と対照的である。[\[図表 57 参照\]](#)

図表 56 ごみ処理・リサイクルの状況について(全体)



図表57 ごみ処理・リサイクルの状況について(全体 性別 年齢別 産業分類別 居住年数別 居住地区別)



② ごみ減量化の3 R運動について

問 22 ごみ処理・リサイクルについておたずねします。

(2) あなたは、ごみの減量化のため、3 R運動(リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用)をしていますか。

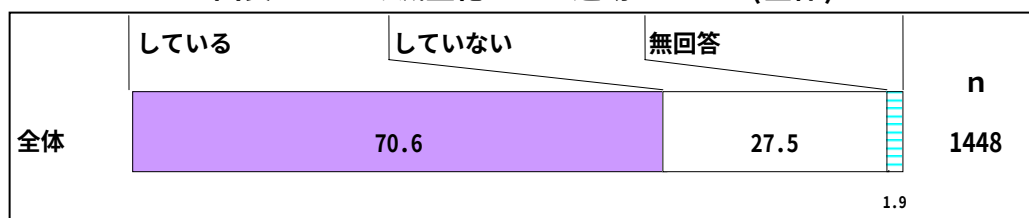


- 「している」が70.6%、「していない」が27.5%。

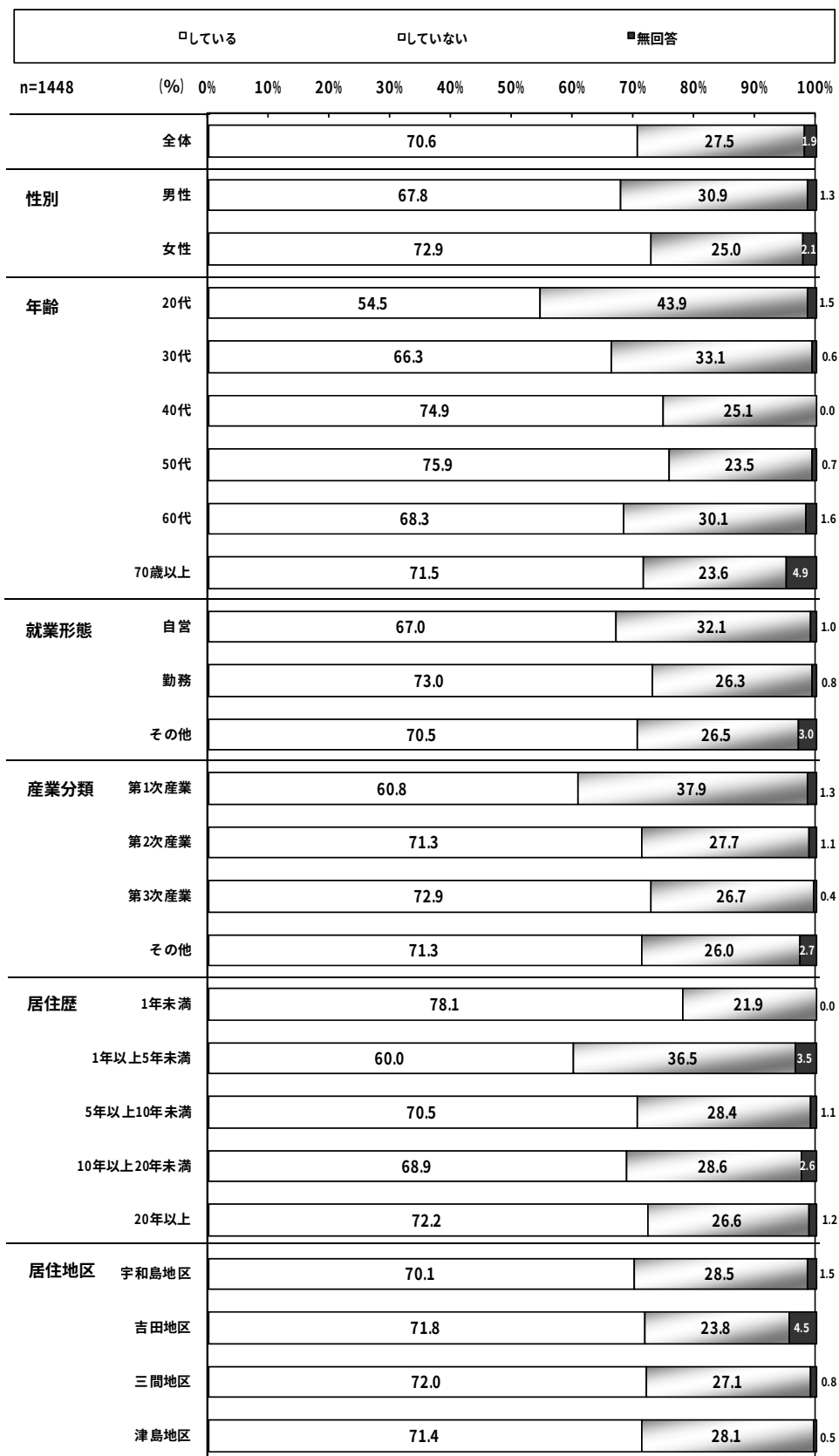
ごみの減量化のための3 R運動をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が70.6%、一方、「していない」と回答した人は27.5%と、前回調査時と比べてほぼ変わらない(「している」68.9%、「していない」29.2%)が、引き続き7割の人が3 R運動をしており、定着化を示す結果となった。[【図表 58 参照】](#)

属性別で「している」と回答した割合をみると、性別では大きな差はみられないが、年齢別では20代(54.5%)で最も低く、50代(75.9%)で最も高くなっており、20ポイント以上の差がみられる。一方、居住歴別では1年未満(78.1%)が最も高く、全体(70.6%)を大きく上回っているのが特徴的である。また、産業分類別では第1次産業(60.8%)が他に比べ10ポイント以上低くなっている。[【図表 59 参照】](#)

図表 58 ごみ減量化の3 R運動について(全体)



図表 59 ごみ減量化の3R運動について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(17)墓地・斎場

① 墓地・斎場の整備状況について

問 23 墓地・斎場についておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市の墓地・斎場の整備状況について満足していますか。

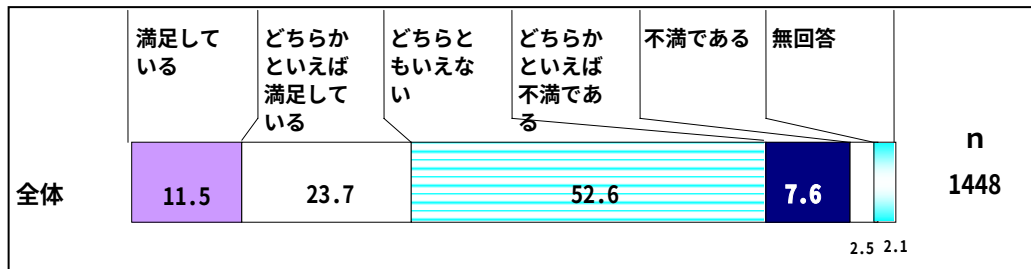


● “満足している”が35.2%、“不満である”が10.1%。

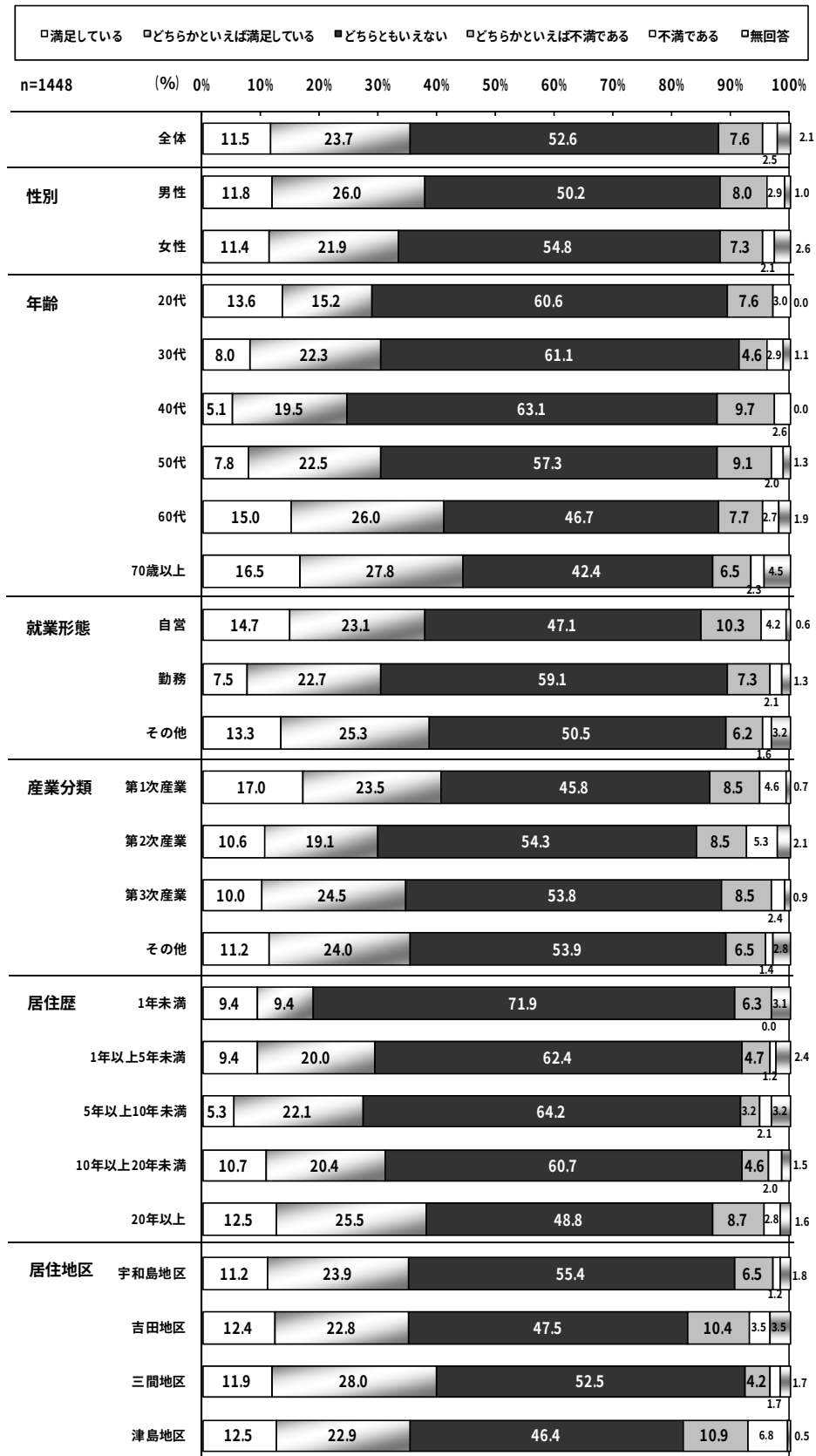
今回、新たに墓地・斎場の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(11.5%)と「どちらかといえば満足している」(23.7%)をあわせた“満足している”という人が35.2%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」7.6%及び「不満である」2.5%の合計)は10.1%となっている。[【図表 60 参照】](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別では40代(24.6%)が最も低く、最も高い70代(44.3%)と比べ約20ポイントの差が見られる。また、居住歴別では、1年未満(18.8%)が最も低く、最も高い20年以上(38.0%)と約20ポイントの差がみられる。[【図表 61 参照】](#)

図表 60 墓地・斎場の整備状況について(全体)



図表 61 墓地・斎場の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(18)公園・緑地

① 公園・緑地の整備状況について

問 24 公園・緑地についておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市の公園・緑地の整備状況について満足していますか。

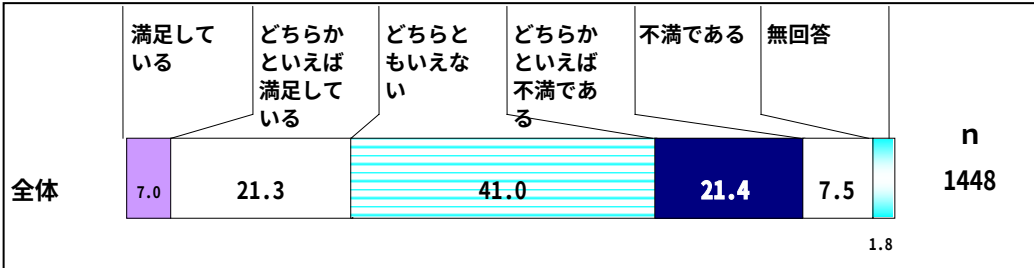


● “満足している”が28.3%、“不満である”が28.9%。

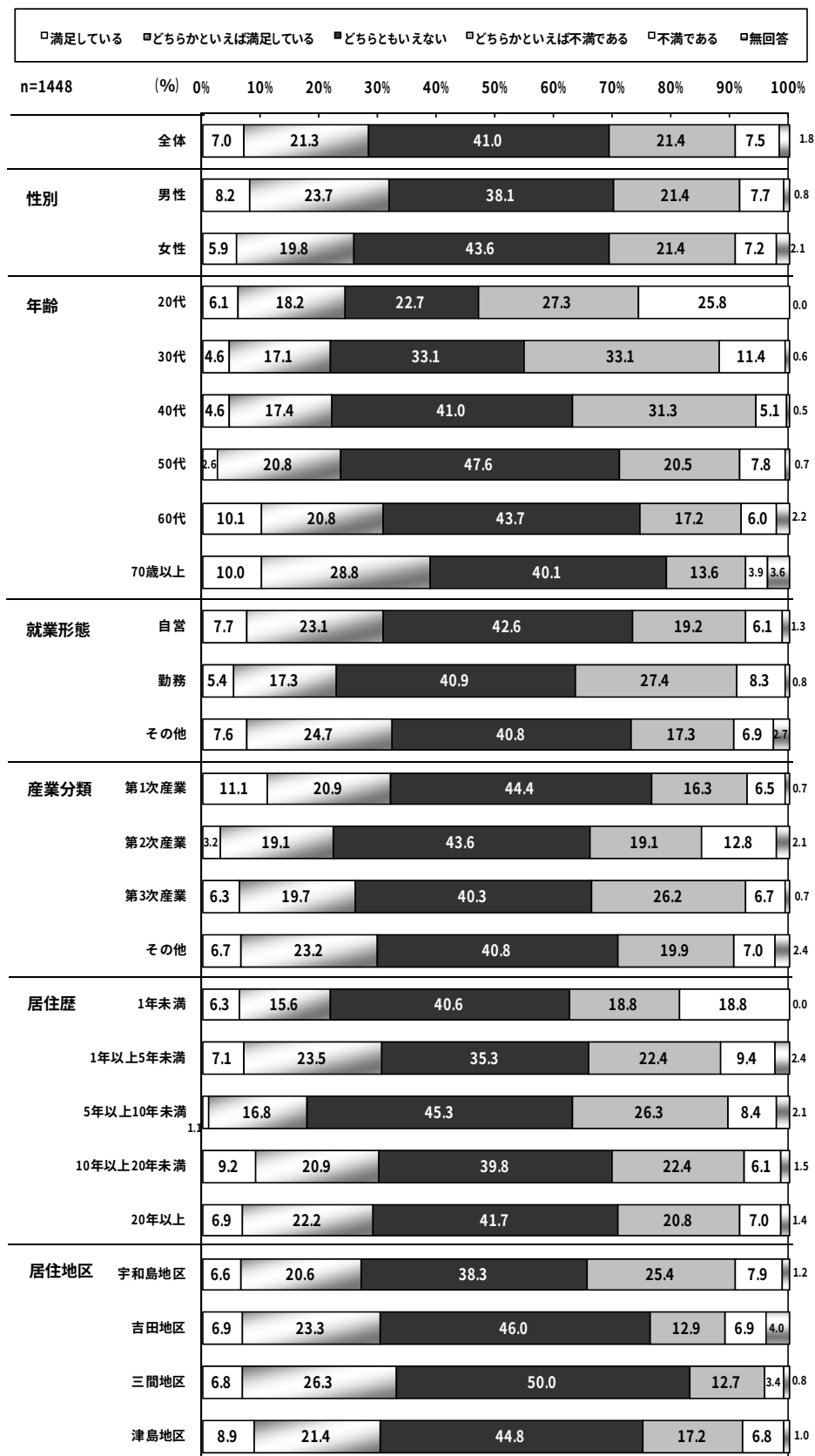
公園・緑地の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(7.0%)と「どちらかといえば満足している」(21.3%)をあわせた“満足している”という人が28.3%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」21.4%及び「不満である」7.5%の合計)は28.9%となっている。[\[図表 62 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、居住歴別の5年以上10年未満(17.9%)で2割を下回って低くなっている。一方、“不満である”割合では年齢別の20代(53.1%)、30代(44.5%)が4割を超えて高く、全体(28.9%)と10ポイント以上の差がみられる。特に20代は前回調査時(35.2%)と比べても大きく増えている。[\[図表 63 参照\]](#)

図表 62 公園・緑地の整備状況について(全体)



図表 63 公園・緑地の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 緑化の進捗状況について

問 24 公園・緑地についておたずねします。
(2)あなたは、宇和島市の緑化の進捗状況について満足していますか。

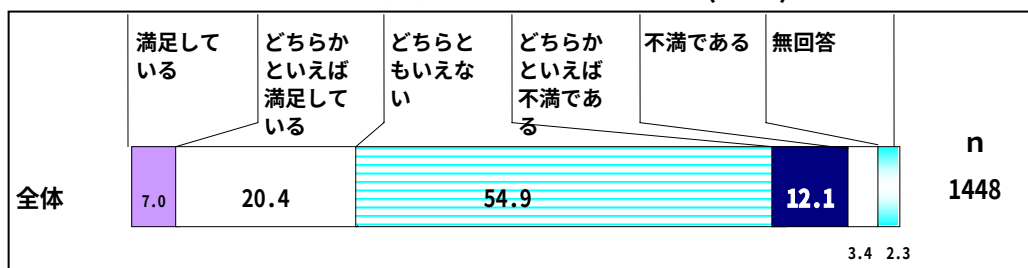


● “満足している”が27.4%、“不満である”が15.5%。

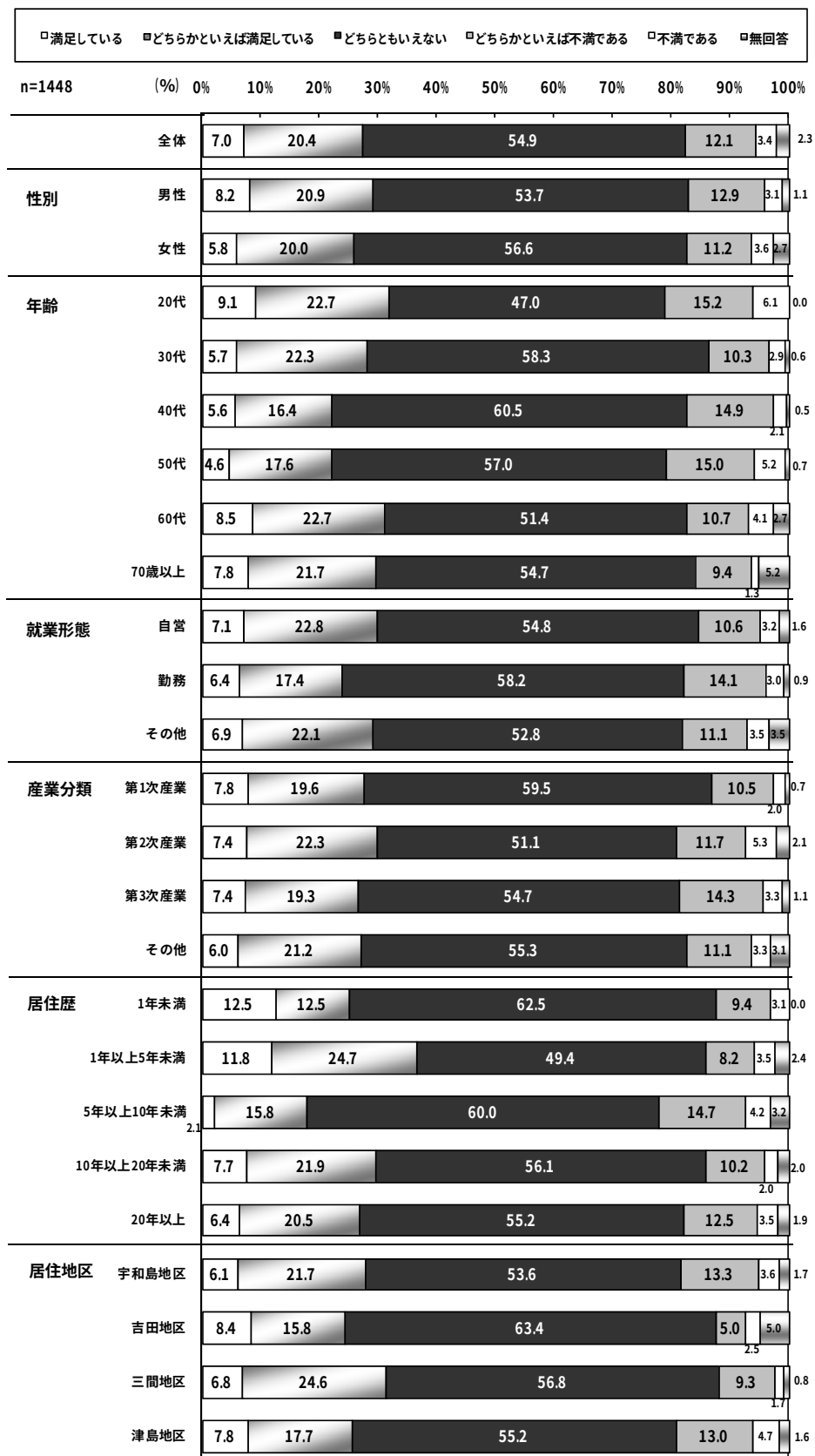
今回、新たに緑化の進捗状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(7.0%)と「どちらかといえば満足している」(20.4%)をあわせた“満足している”という人が27.4%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」12.1%及び「不満である」3.4%の合計)は15.5%となり、“不満である”の倍近い人が“満足している”という結果となった。[\[図表 64 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、居住歴別の5年以上 10 年未満(17.9%)で全体(27.4%)に比べ 10 ポイント近く差がみられる以外は、大きな差はみられない。[\[図表 65 参照\]](#)

図表 64 緑化の進捗状況について(全体)



図表 65 緑化の進捗状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



③ 緑化運動や花づくり運動について

問 24 公園・緑地についておたずねします。
(3)あなたは、緑化運動や花づくり運動をしていますか。



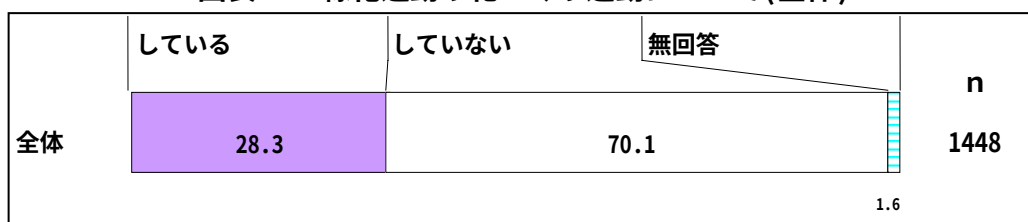
- 「している」が28.3%、「していない」が70.1%。

緑化運動や花づくり運動をしているかたずねたところ、「している」と回答した人が28.3%、一方、「していない」と回答した人は70.1%と、およそ3人に1人が緑化運動や花づくり運動をしている結果となった。ただし、前回調査時と比べると「している」(33.2%)が減り、「していない」(63.7%)が増えた形になっている。

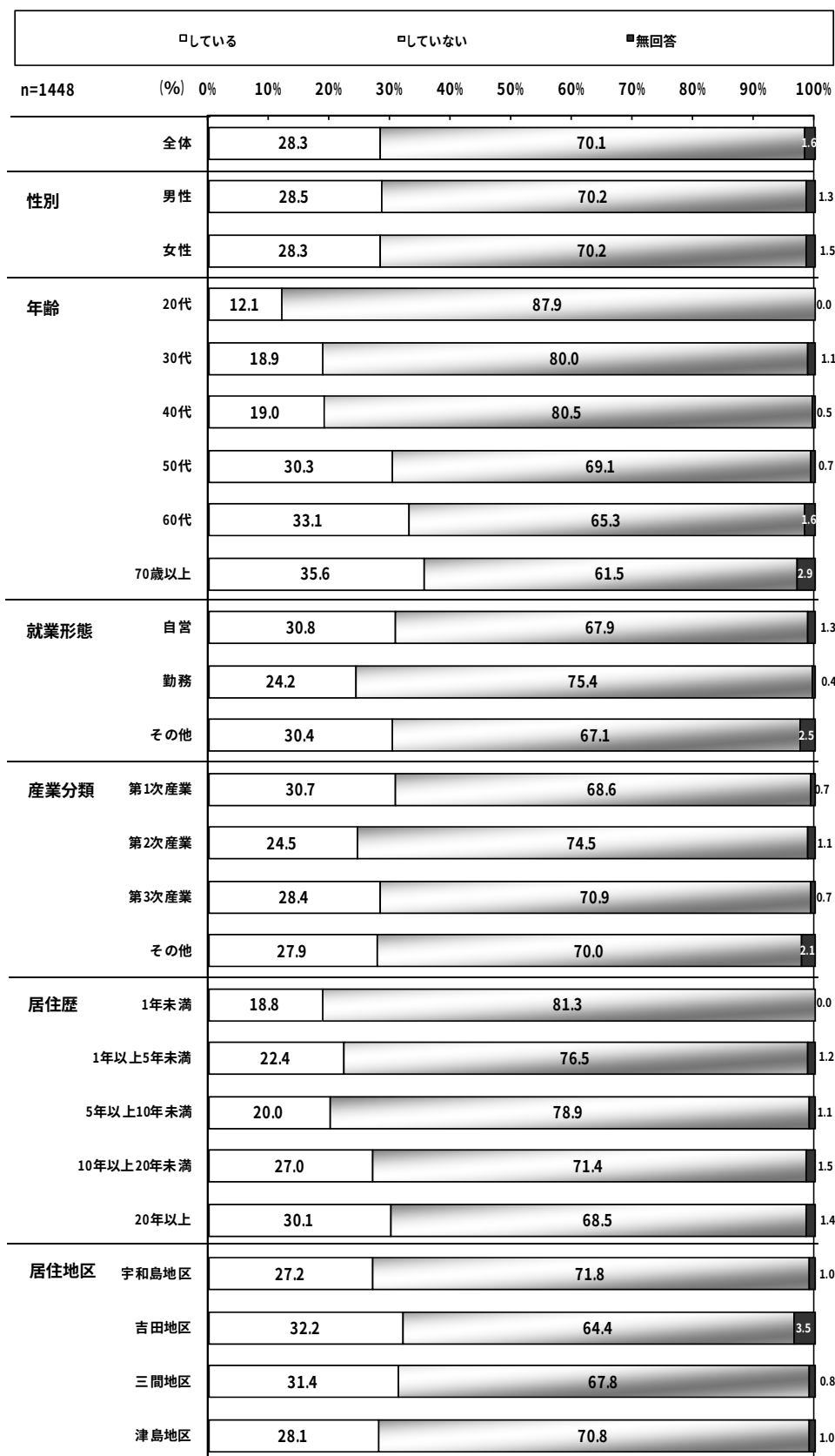
[\[図表 66 参照\]](#)

属性別で「している」と回答した割合をみると、性別では大きな差はみられない。年齢別では加齢とともに割合が高くなり、20代(12.1%)で最も低く、70歳以上(35.6%)で最も高くなっており、3倍近い差がみられる。[\[図表 67 参照\]](#)

図表 66 緑化運動や花づくり運動について(全体)



図表 67 緑化運動や花づくり運動について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(19)消防・防災

① 消防・防災体制について

問 25 消防・防災についておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市の消防・防災体制に満足していますか。

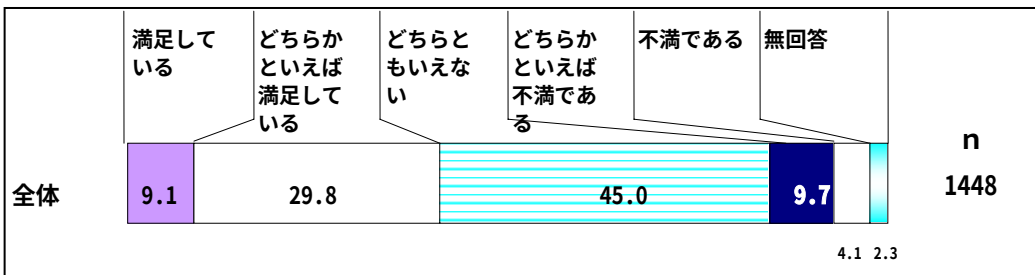


● “満足している”が38.9%、“不満である”が13.8%。

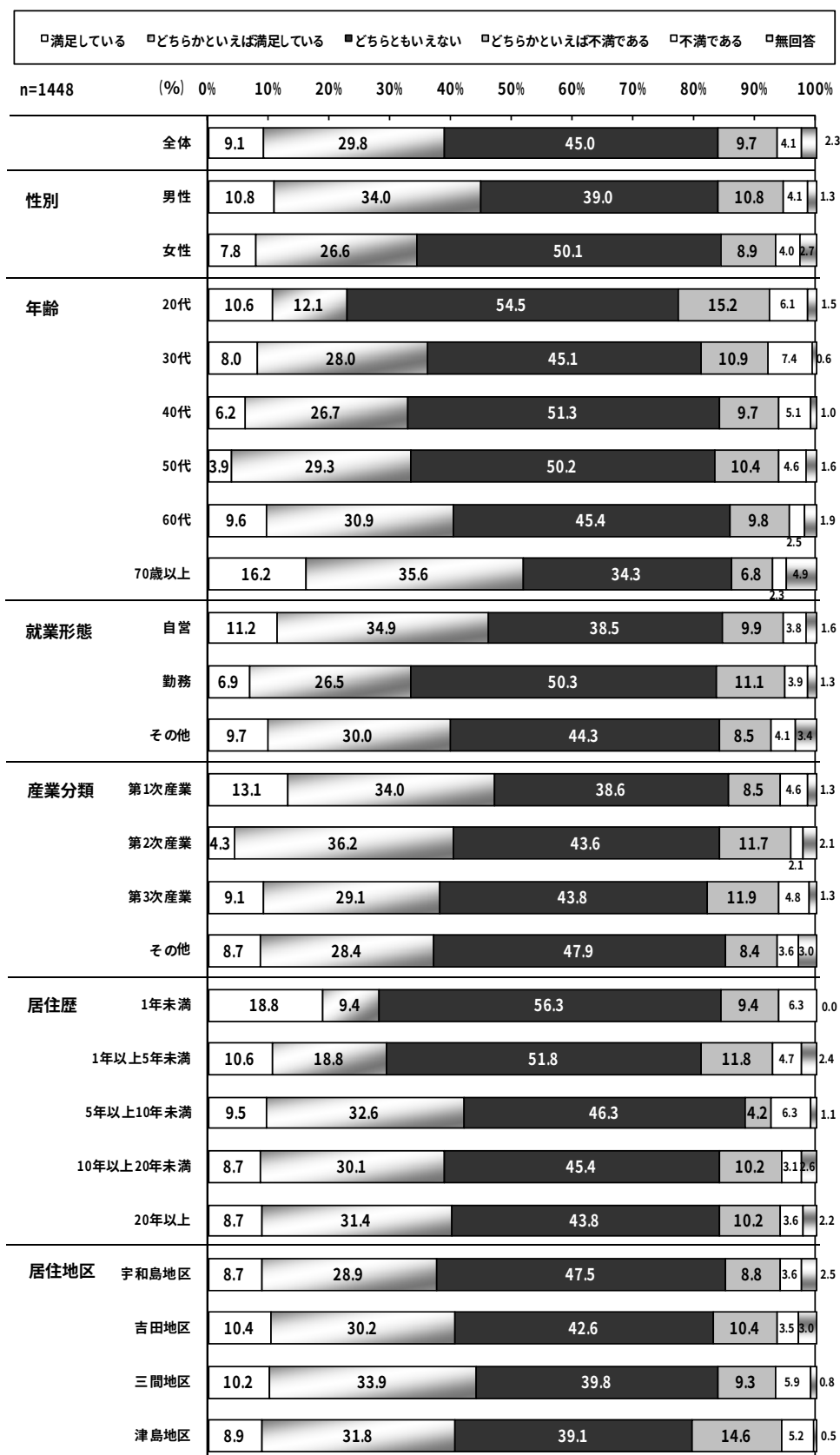
消防・防災体制について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(9.1%)と「どちらかといえば満足している」(29.8%)をあわせた“満足している”という人が38.9%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」9.7%及び「不満である」4.1%の合計)は13.8%となっている。これは前回調査時(“満足している”43.5%、“不満である”10.7%)から大きく変わっていない。[【図表 68 参照】](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(22.7%)、居住年数別の1年未満(28.2%)で低く、一方、年齢別の70歳以上(51.8%)で高く、全体(38.9%)と10ポイント以上の差がみられる。また、20代は“不満である”割合(21.3%)も唯一20%を超えている。[【図表 69 参照】](#)

図表 68 消防・防災体制について(全体)



図表 69 消防・防災体制について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 避難路・避難場所について

問 25 消防・防災についておたずねします。
(2)あなたは、避難路・避難場所を知っていますか。

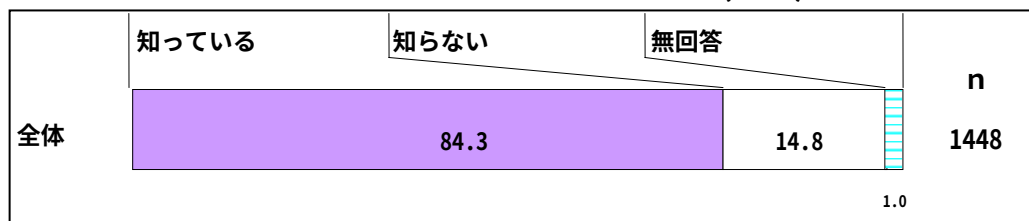


● 「知っている」が 84.3%、「知らない」が 14.8%。

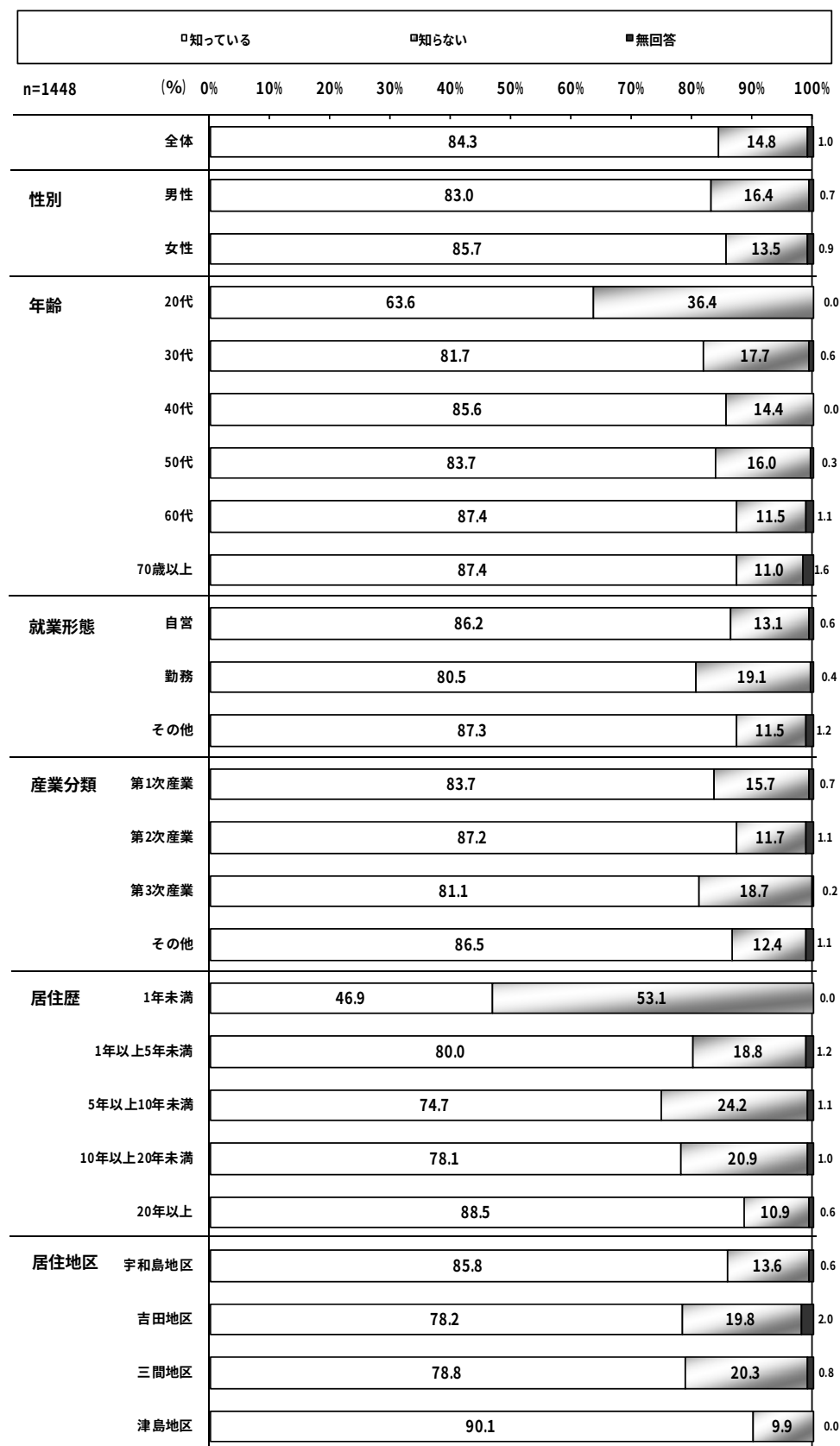
避難路・避難場所を知っているかをたずねたところ、「知っている」と回答した人が 84.3%、「知らない」と回答した人が 14.8%となり、近年の災害に対する関心の高まりを受けて、前回調査時（「知っている」70.0%、「知らない」27.8%）から大きく改善された結果となった一方、まだ2割弱の人が避難路・避難場所を知らない状況となっている。[【図表 70 参照】](#)

属性別で「知らない」と回答した割合をみると、性別では特に差はみられないが、居住歴別の1年未満（53.1%）で5割以上と非常に高く、年齢別の20代（36.4%）も3割を上回り比較的高くなっている。また、居住地区別では、三間地区（20.3%）と津島地区（9.9%）の間に10ポイント以上の差がみられ、地域格差があることがうかがえる。[【図表 71 参照】](#)

図表 70 避難路・避難場所について(全体)



図表 71 避難路・避難場所について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



③ 防火・防災訓練について

問 24 消防・防災についておたずねします。
(3)あなたは、この1年間に、防火・防災訓練に参加しましたか。



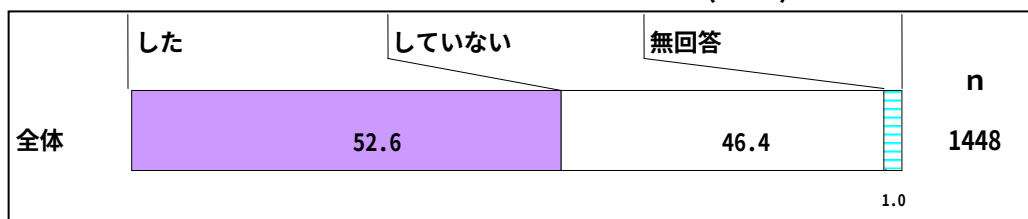
- 「した」が52.6%、「しなかった」が46.4%。

今回、新たに防火・防災訓練に参加したかをたずねたところ、「した」と回答した人が52.6%、一方、「していない」と回答した人は46.4%と、およそ2人に1人が防火・防災訓練に参加していない結果となった。[【図表 72 参照】](#)

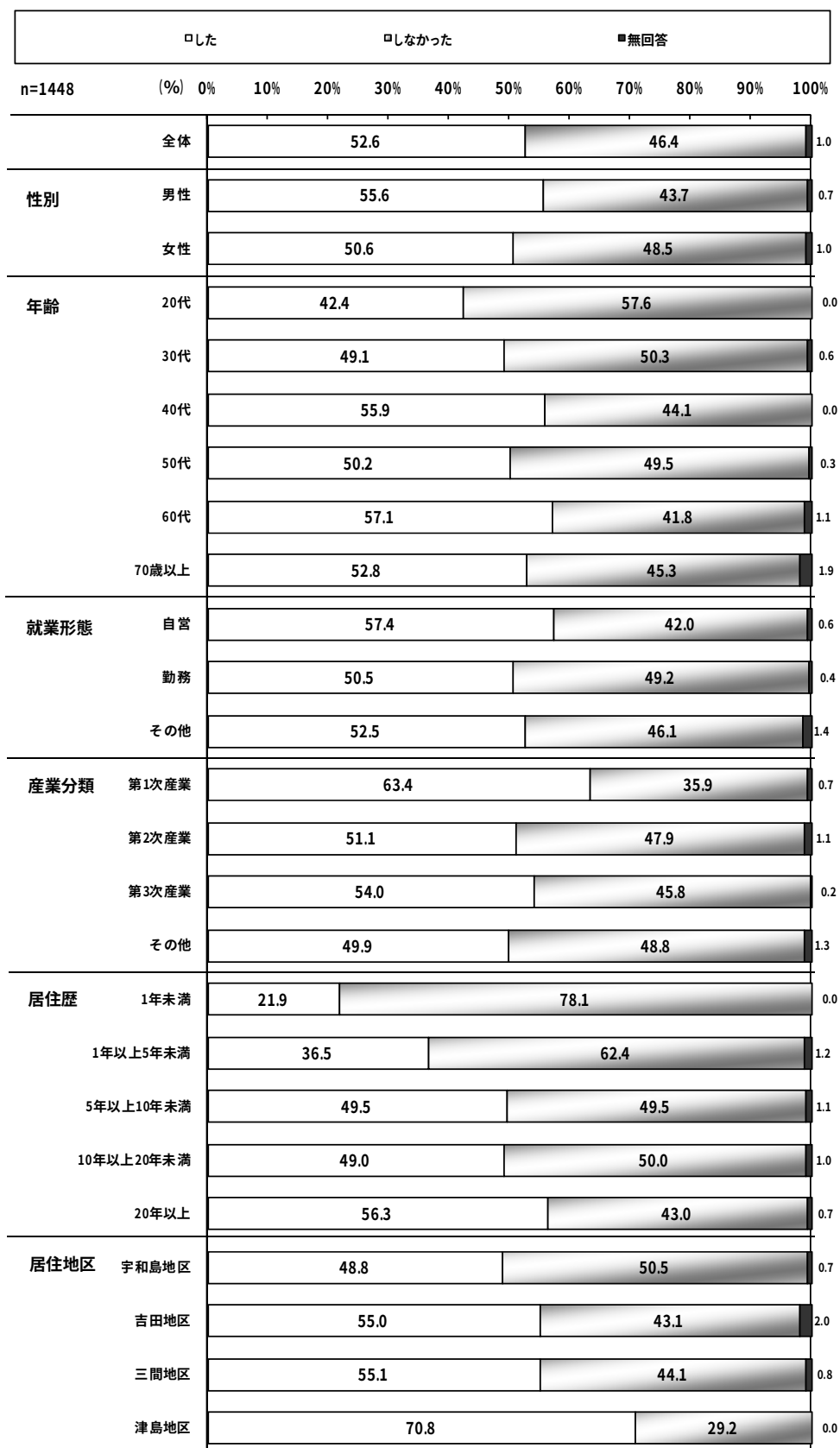
属性別で「していない」と回答した割合をみると、性別では大きな差はみられないが、居住歴別の1年未満(78.1%)と1年以上5年未満(62.4%)が非常に高く、年齢別の20代でも57.6%と全体(46.4%)と比べて10ポイント以上の差がある。

また、居住地区別では、宇和島地区(50.5%)と津島地区(29.2%)の間で20ポイント以上の差がみられ、地域格差があることがうかがえる。[【図表 73 参照】](#)

図表 72 防火・防災訓練について(全体)



図表 73 防火・防災訓練について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



④ 災害対策について

問 24 消防・防災についておたずねします。
(4)あなたは、食料・飲料の備蓄や家具の転倒防止など災害対策をしていますか。

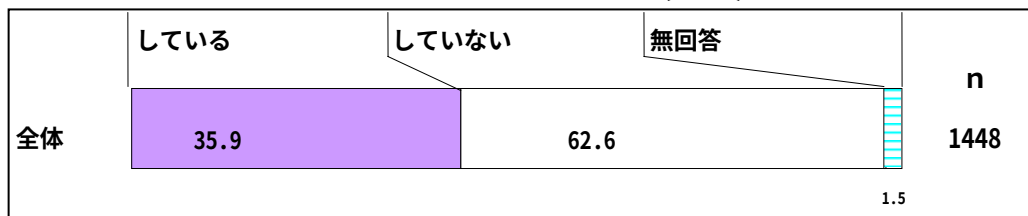


- 「している」が35.9%、「していない」が62.6%。

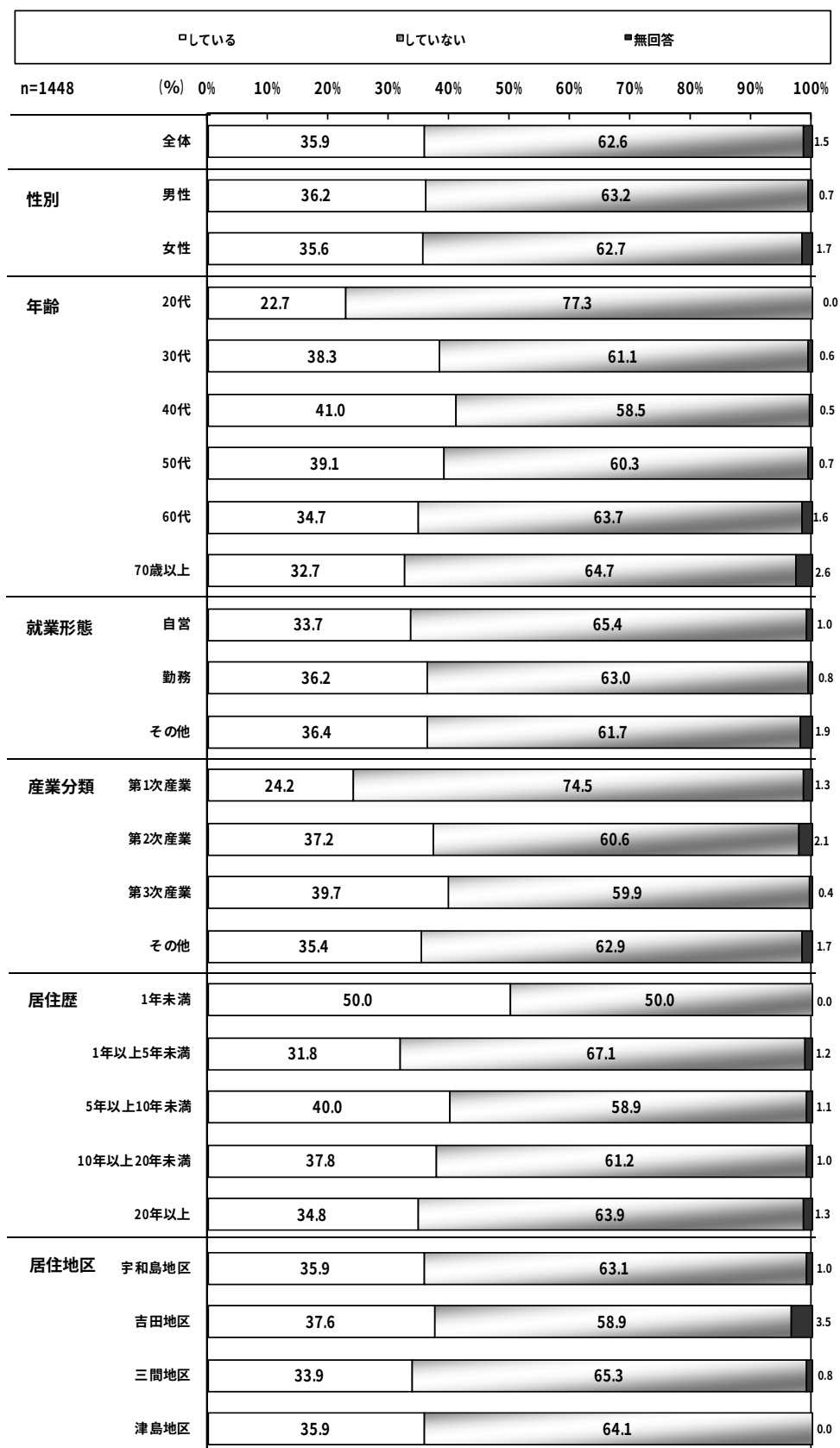
食料・飲料の備蓄や家具の転倒防止など災害対策をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が35.9%、「していない」と回答した人は62.6%で、問25と同様、前回調査時（「している」22.4%、「していない」75.4%）に比べて、大幅な改善が見られた。しかし、依然として、およそ3人に2人が災害対策をしていない状況となっている。[【図表 74 参照】](#)

属性別で「していない」と回答した割合をみると、性別では大きな差はみられないが、年齢別では20代(77.3%)が極端に低く、他のすべての年代と比べて10ポイント以上の差がある。また、産業分類別の第1次産業（74.5%）も全体（62.6%）に比べ10ポイント以上の差がみられる。[【図表 75 参照】](#)

図表 74 災害対策について(全体)



図表 75 災害対策について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(20)交通安全・防犯

① 交通安全・防犯体制について

問 26 交通安全・防犯についておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市の交通安全・防犯体制について満足していますか。

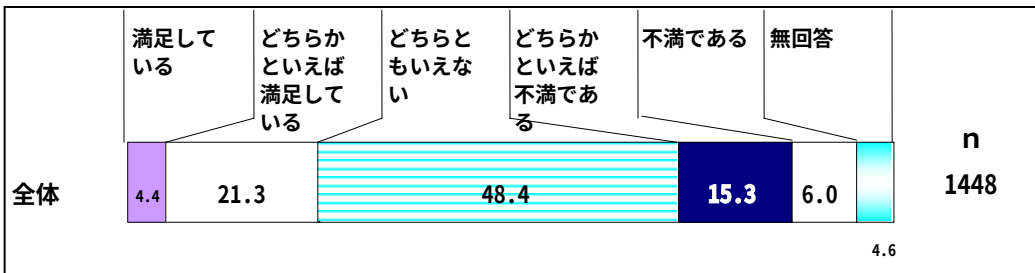


● “満足している”が25.7%、“不満である”が21.3%。

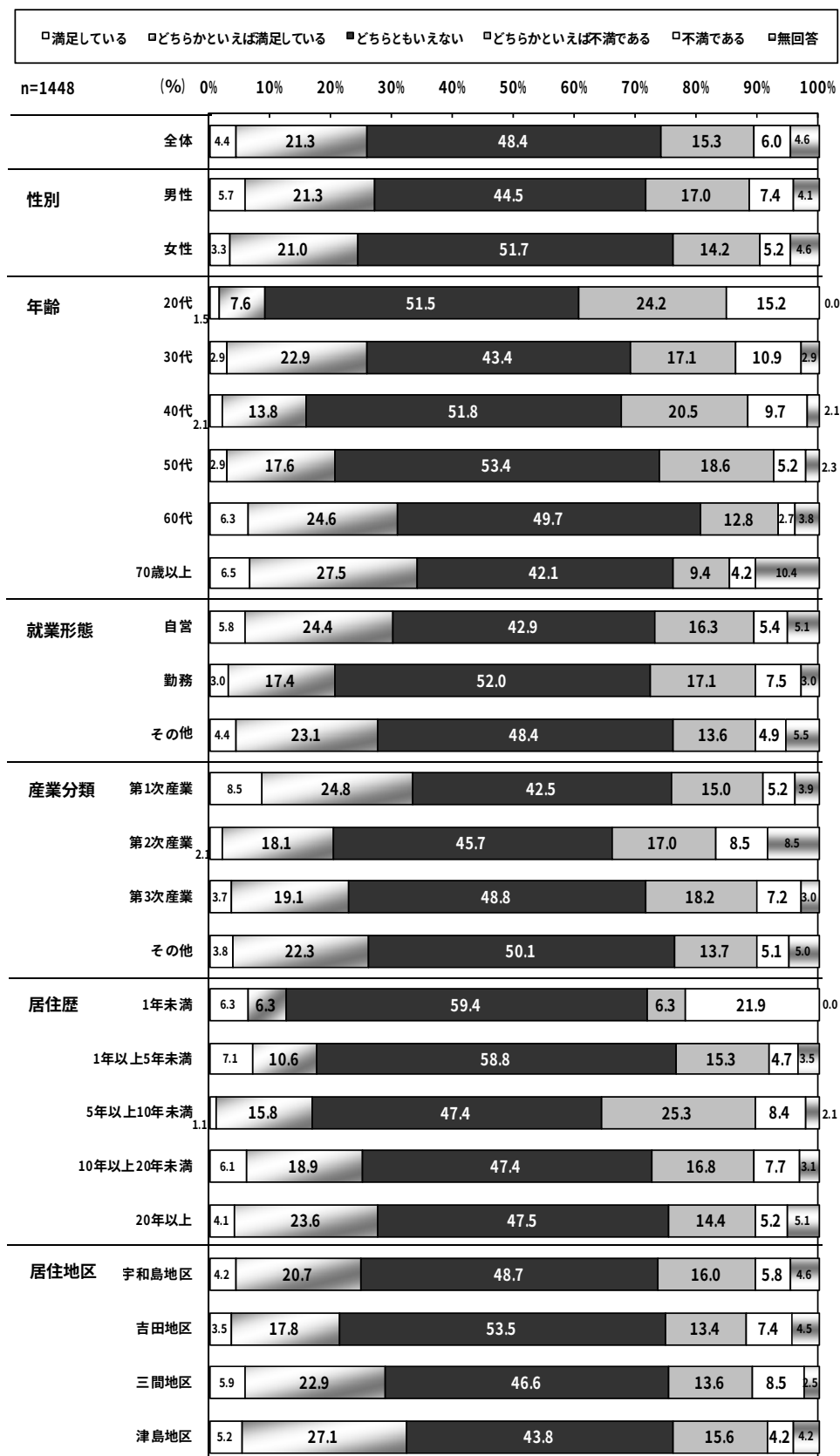
交通安全・防犯体制について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(4.4%)と「どちらかといえば満足している」(21.3%)をあわせた“満足している”という人が25.7%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」15.3%及び「不満である」6.0%の合計)は21.3%となっている。これは前回調査時(“満足している”25.0%、“不満である”23.4%)とほぼ変わっていない。[【図表 76 参照】](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(9.1%)、居住歴別の1年未満(12.6%)で低く、全体(25.7%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別では、津島地区(32.3%)、三間地区(28.8%)では3割前後を占めているのに対し、吉田地区(21.3%)では2割にとどまり、居住地区によって満足度に差があることがうかがえる。[【図表 77 参照】](#)

図表 76 交通安全・防犯体制について(全体)



図表 77 交通安全・防犯体制について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 地域の防犯活動について

問 26 交通安全・防犯についておたずねします。
(2) あなたは、身近な地域での防犯活動に参加していますか。

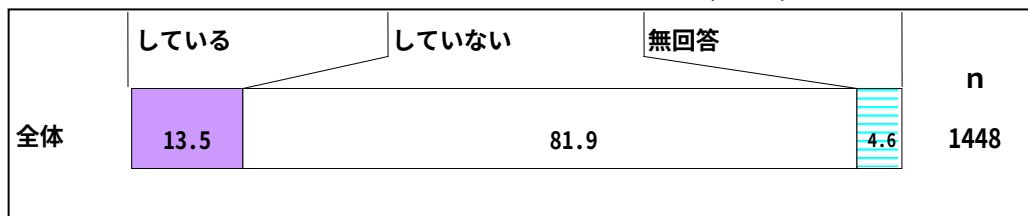


- 「している」が13.5%、「していない」が81.9%。

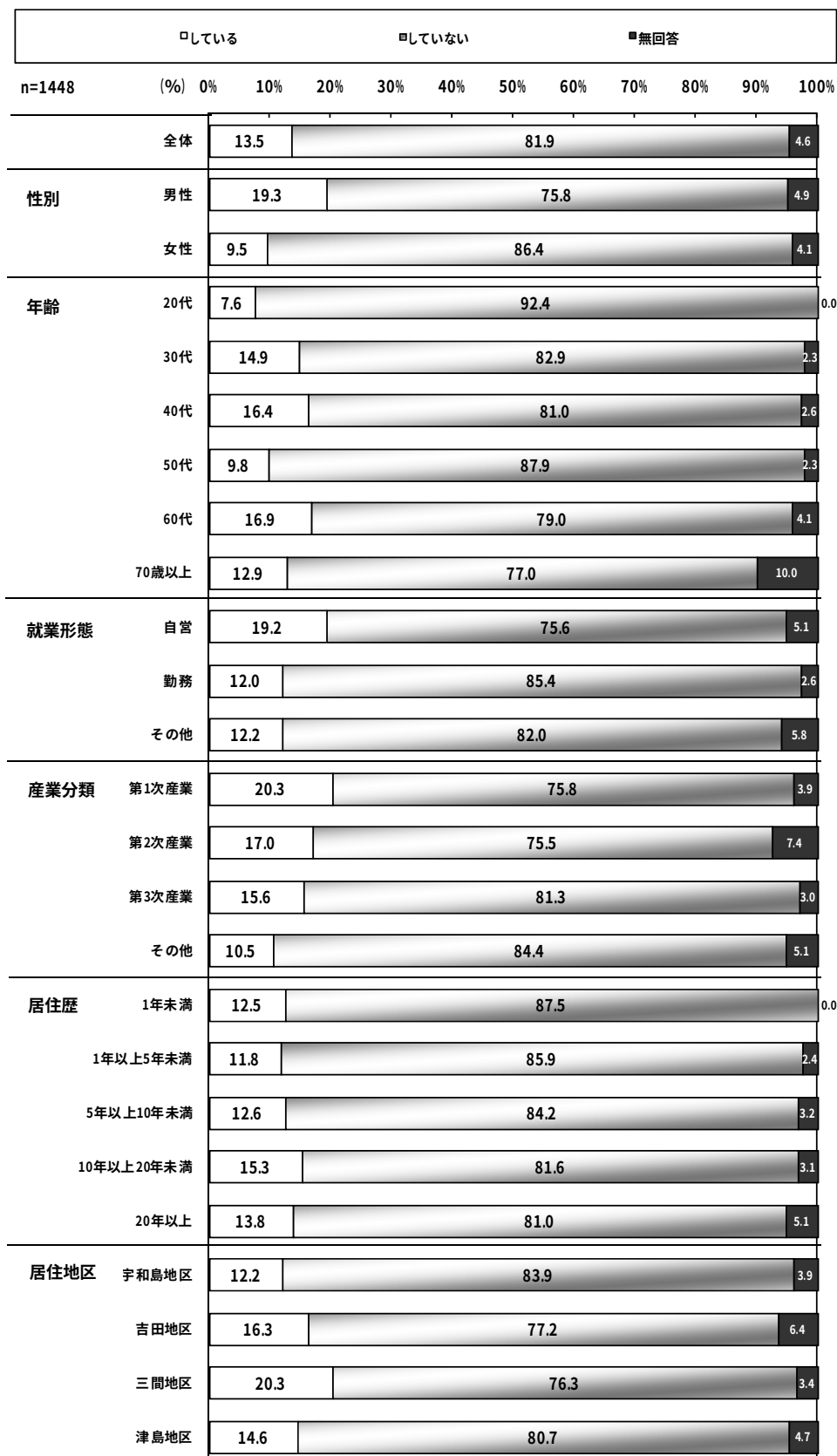
身近な地域での防犯活動に参加しているかをたずねたところ、「している」と回答した人が13.5%、一方、「していない」と回答した人は81.9%と、8割強の人が防犯活動に参加していない結果となった。[【図表 78 参照】](#)

属性別で「していない」と回答した割合をみると、性別では男性（75.8%）に対し女性（86.4%）が10ポイント以上高くなっている。年齢別では20代（92.4%）で9割を上回り最も高くなっている。また、50代も87.9%と高く、前回調査時（80.1%）と比べても高くなっている。居住歴別では1年未満（87.5%）が最も高く、逆に20年以上（81.0%）が最も低く、年数が長くなるにつれ防犯活動に参加する割合が高くなる傾向がみられる。[【図表 79 参照】](#)

図表 78 地域の防犯活動について(全体)



図表 79 地域の防犯活動について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(21)市街地整備

① 中心市街地の整備状況について

問 27 市街地整備についておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市の中心市街地の整備状況について満足していますか。

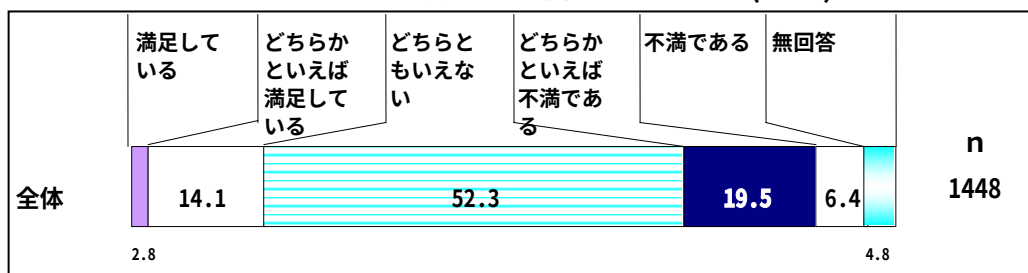


● “満足している”が16.9%、“不満である”が25.9%。

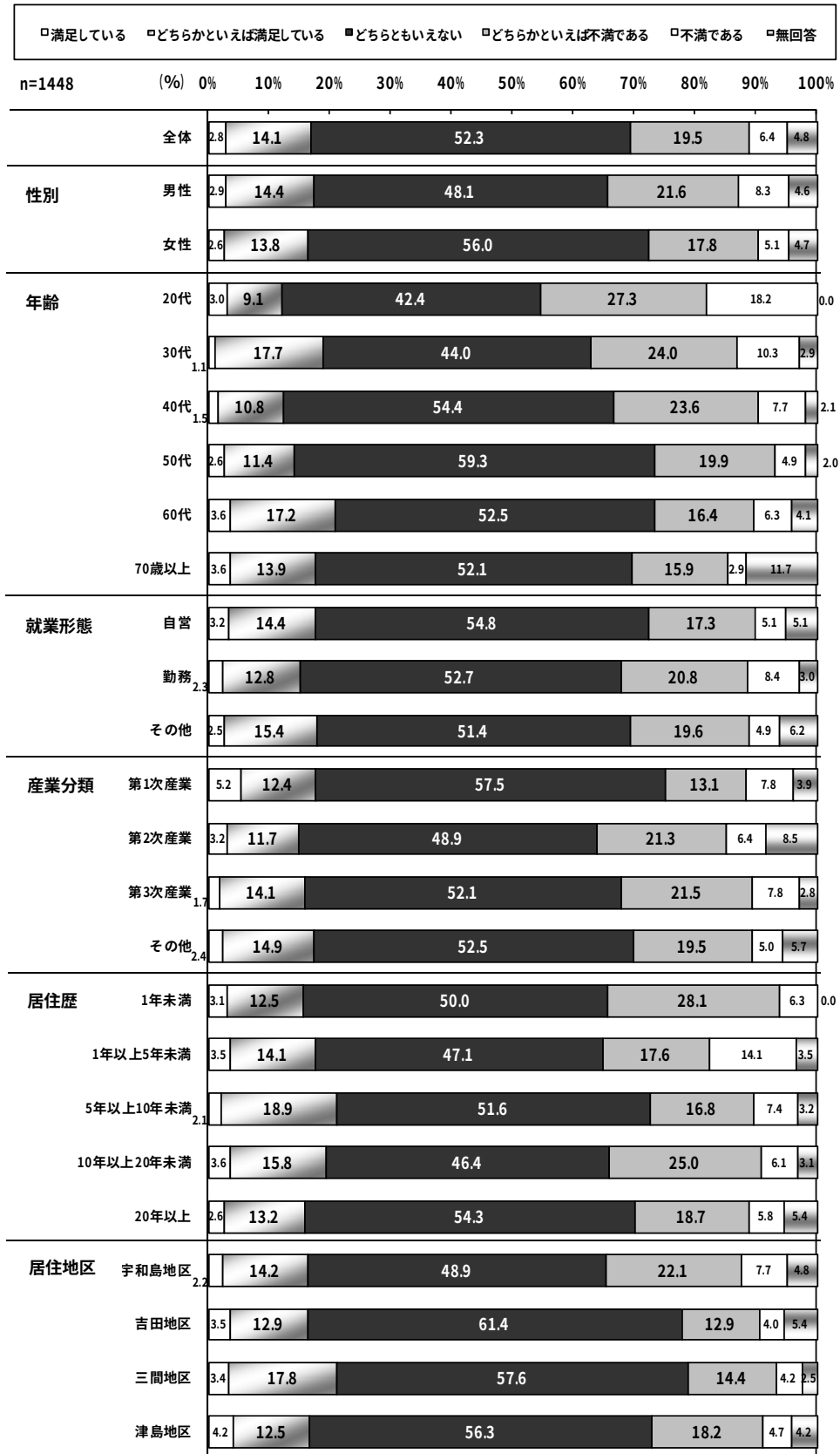
中心市街地の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(2.8%)と「どちらかといえば満足している」(14.1%)をあわせた“満足している”という人が16.9%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」19.5%及び「不満である」6.4%の合計)は25.9%となっている。これは前回調査時(“満足している”21.7%、“不満である”27.6%)から大きく変わっていない。[\[図表 80 参照\]](#)

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(45.5%)、30代(34.3%)、居住歴別の1年未満(34.4%)で高く、全体(25.9%)と10ポイント前後の差がみられる。一方、年齢別では70歳以上(18.8%)で低くなっている。また、居住地区別では、吉田地区(16.9%)、三間地区(18.6%)、津島地区(22.9%)では2割前後となっているのに対し、宇和島地区(29.8%)ではほぼ3割となっており、居住地区によって満足度に若干の差があることがうかがえる。[\[図表 81 参照\]](#)

図表 80 中心市街地の整備状況について(全体)



図表 81 中心市街地の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(22) 景観形成

① 街並み景観について

問 28 景観形成についておたずねします。
(1) あなたは、お住まいの周りの街並み景観について満足していますか。

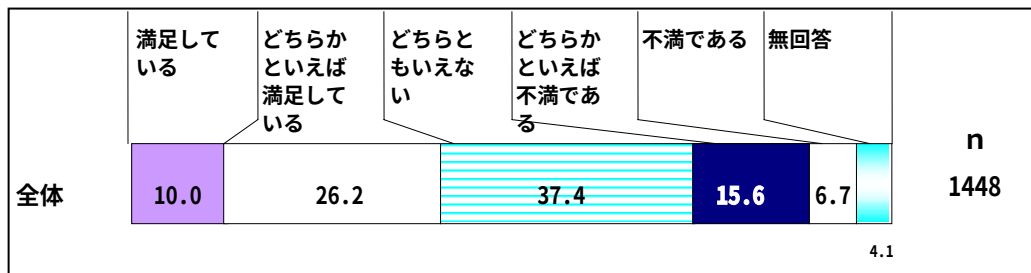


● “満足している” が 36.2%、“不満である” が 22.3%。

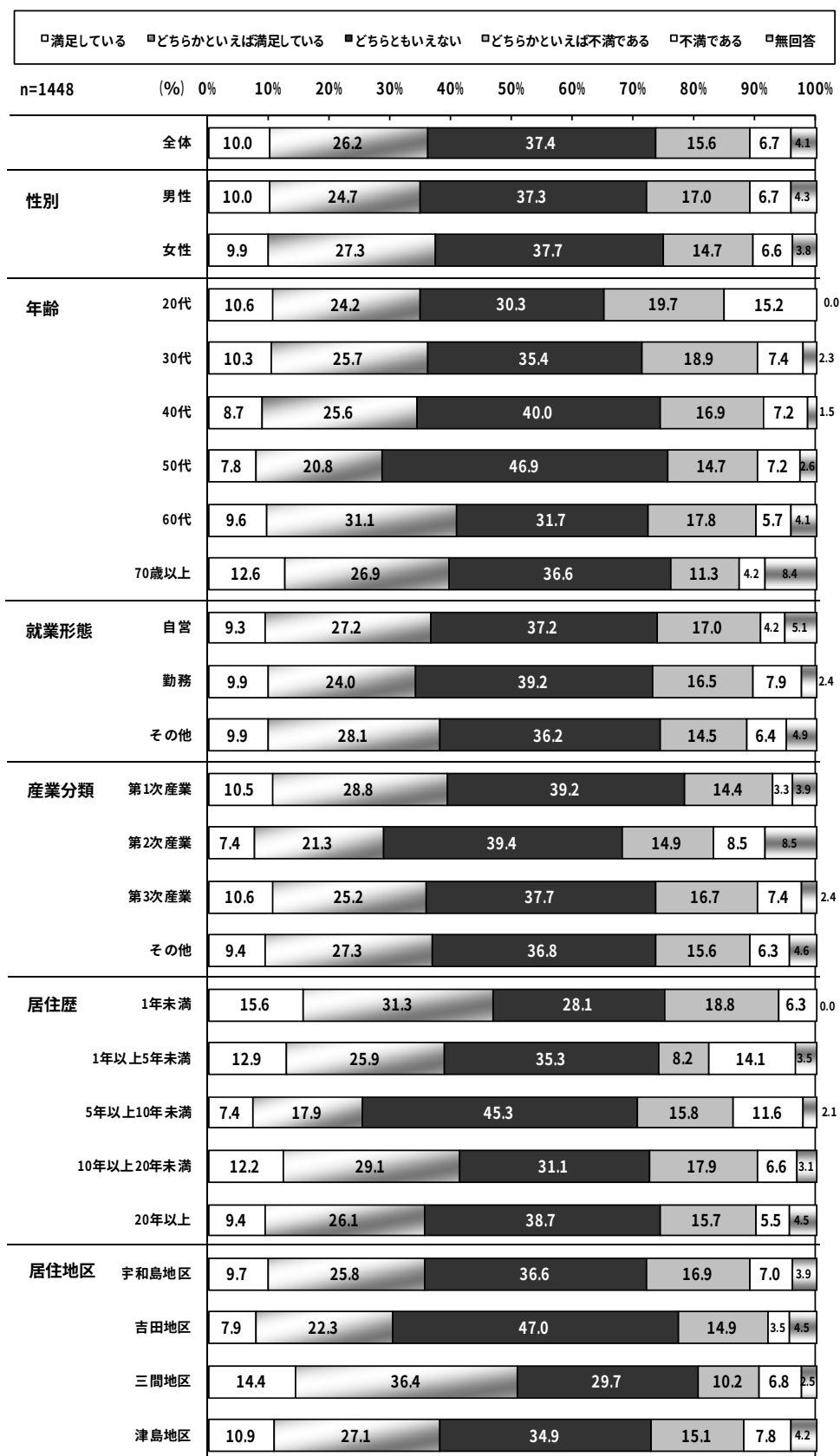
お住まいの周りの街並み景観について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(10.0%)と「どちらかといえば満足している」(26.2%)をあわせた“満足している”という人が 36.2%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」15.6%及び「不満である」6.7%の合計)は 22.3%となっている。[\[図表 82 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、居住歴別では1年未満(46.9%)が高く、5年以上10年未満(25.3%)が低いという特徴がみられる。また、年齢別では50代が一番低い(28.6%)。一方、居住地区別では三間地区(50.8%)が他のすべての地区に比べて10ポイント以上高くなっている。[\[図表 83 参照\]](#)

図表 82 街並み景観について(全体)



図表 83 街並み景観について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(23)住宅・宅地

① 公営住宅の整備状況について

問 29 住宅・宅地についておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市の公営住宅の整備状況について満足していますか。



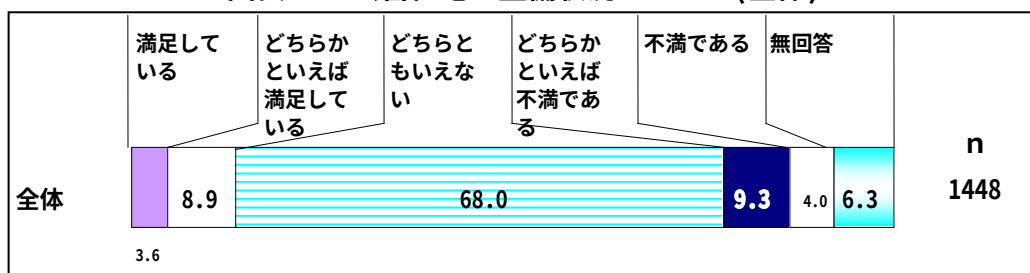
● “満足している”が12.5%、“不満である”が13.3%。

公営住宅の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(3.6%)と「どちらかといえば満足している」(8.9%)をあわせた“満足している”という人が12.5%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」9.3%及び「不満である」4.0%の合計)は13.3%となっている。これは前回調査時(“満足している”15.2%、“不満である”13.9%)とほぼ変わっていない。

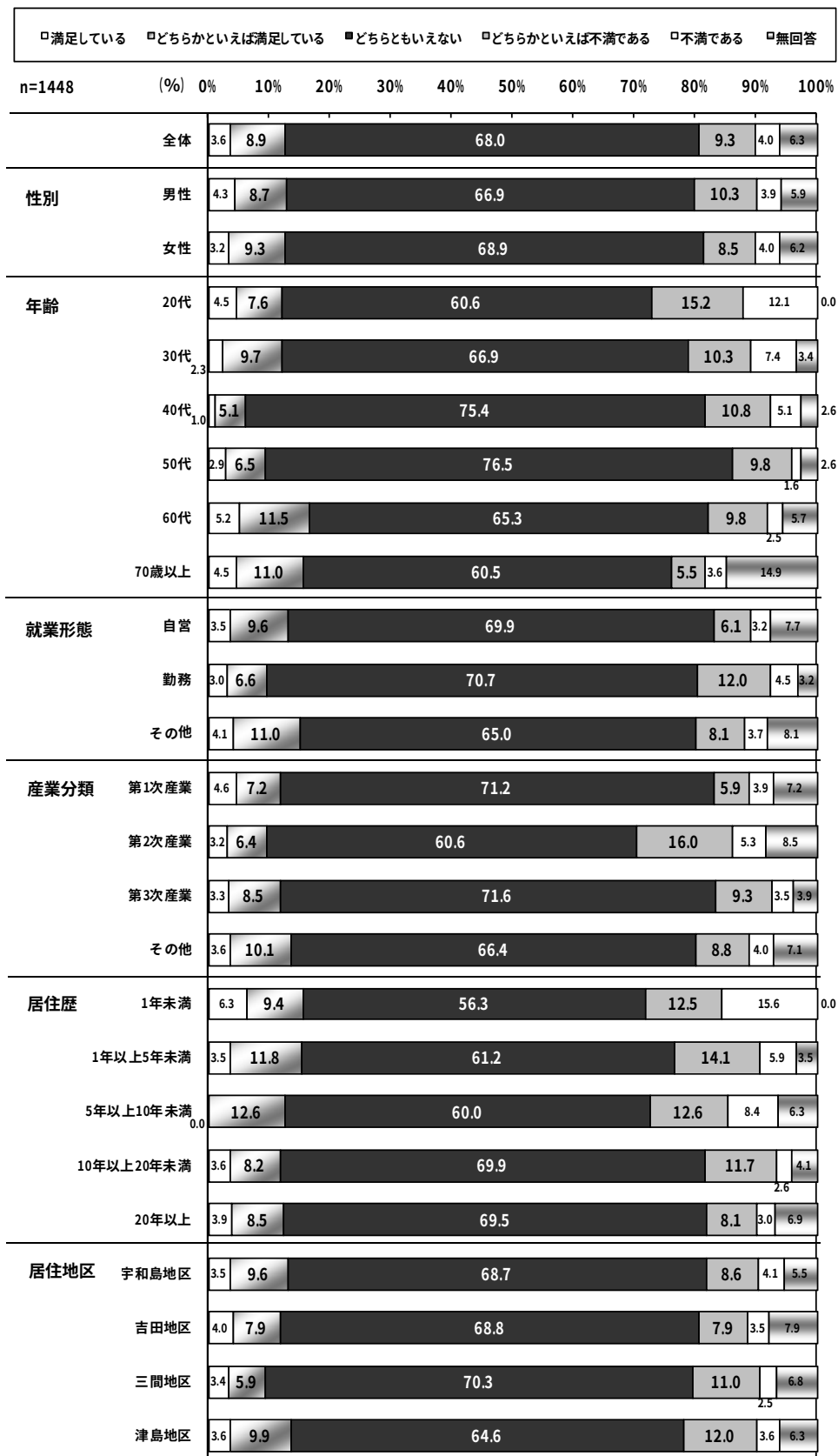
[【図表 84 参照】](#)

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(27.3%)と産業分類別の第2次産業(21.3%)が2割を超えて高くなっている。また、居住歴別では1年未満(28.1%)、1年以上5年未満(20.0%)、5年以上10年未満(21.0%)が20%を超えているのに対し、10年以上20年未満が14.3%、20年以上が11.1%と、比較的居住歴が短い人と居住歴が長い人の間で差がみられる。[【図表 85 参照】](#)

図表 84 公営住宅の整備状況について(全体)



図表 85 公営住宅の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(24)道路・交通網

① 道路の整備状況について

問 30 道路・交通網についておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市の道路の整備状況について満足していますか。

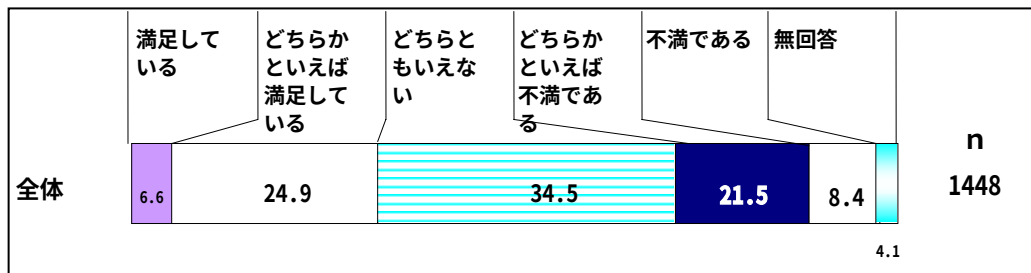


● “満足している”が31.5%、“不満である”が29.9%。

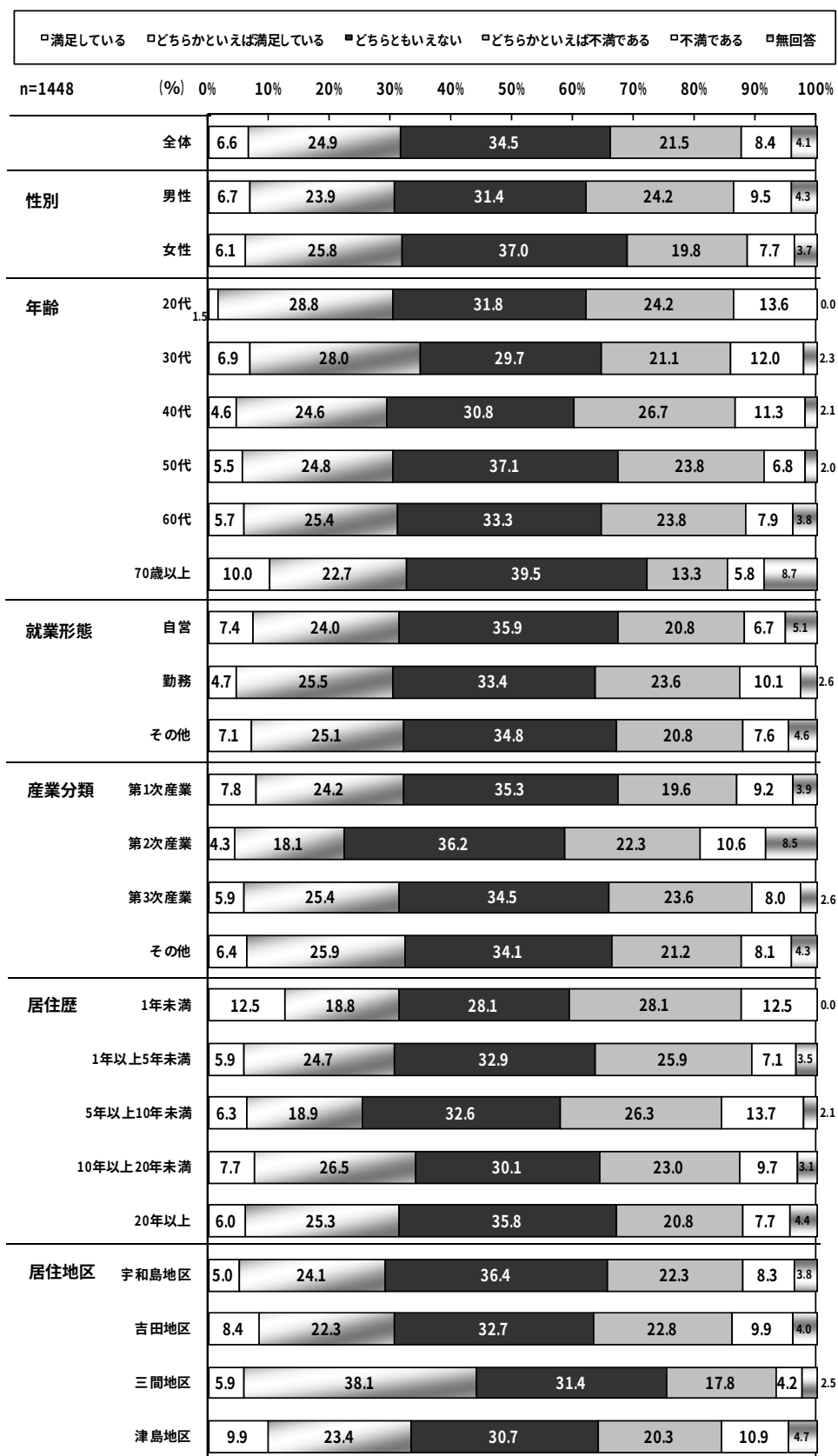
道路の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(6.6%)と「どちらかといえば満足している」(24.9%)をあわせた“満足している”という人が31.5%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」21.5%及び「不満である」8.4%の合計)は29.9%となり、前回調査時(40.8%)から10ポイント以上低くなった。[\[図表 86 参照\]](#)

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(37.8%)、40代(38.0%)、居住歴別の1年未満(40.6%)、5年以上10年未満(40.0%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(19.1%)、居住地区別の三間地区(22.0%)で低くなっている。[\[図表 87 参照\]](#)

図表 86 道路の整備状況について(全体)



図表 87 道路の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 公共交通機関について

問 30 道路・交通網についておたずねします。

(2)あなたは、宇和島市の公共交通機関(鉄道、バス、フェリー、高速艇等)の便利さについて満足していますか。



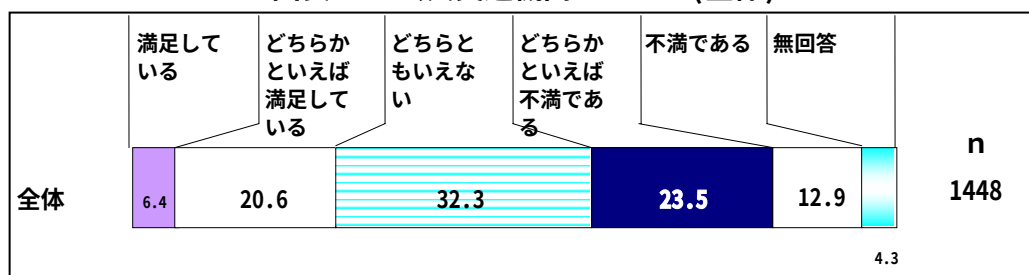
● “満足している”が27.0%、“不満である”が36.4%。

公共交通機関の便利さについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(6.4%)と「どちらかといえば満足している」(20.6%)をあわせた“満足している”という人が27.0%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」23.5%及び「不満である」12.9%の合計)は36.4%となり、前回調査時(43.8%)に比べて低下しているが、依然として3人に1人が不満を抱いている状況にある。特に下記に示すように年代によって2人に1人が不満を抱いている。

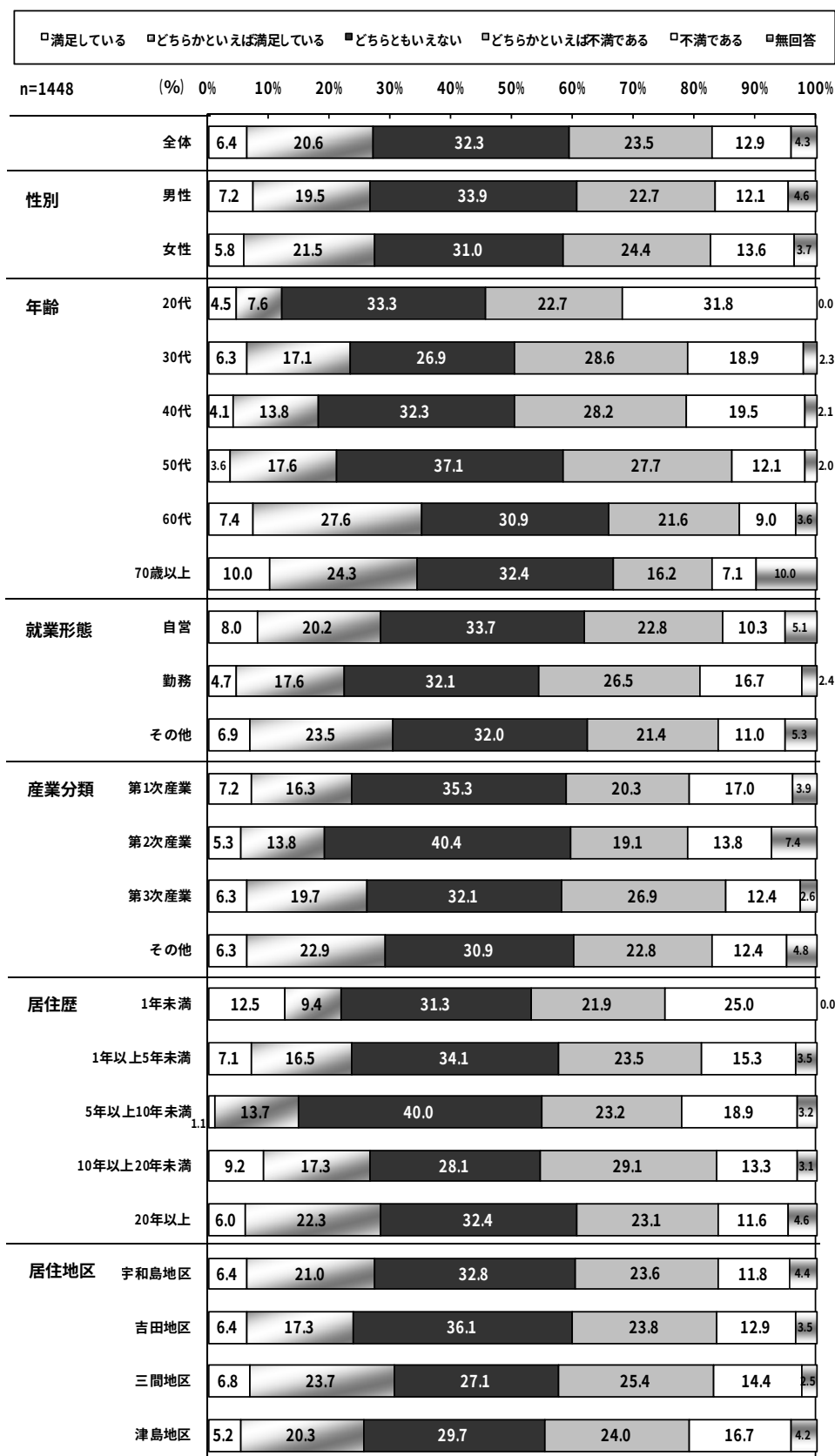
[\[図表 88 参照\]](#)

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(54.5%)、30代(47.5%)、40代(47.7%)、居住歴別の1年未満(46.9%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(23.3%)で低く、全体(36.4%)と10ポイント以上の差がみられる。[\[図表 89 参照\]](#)

図表 88 公共交通機関について(全体)



図表 89 公共交通機関について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(25) 情報通信網

① 情報通信網の整備状況について

問 31 情報通信網についておたずねします。
 (1) あなたは、宇和島市の情報通信網(インターネット、ケーブルテレビなど)の整備状況について満足していますか。

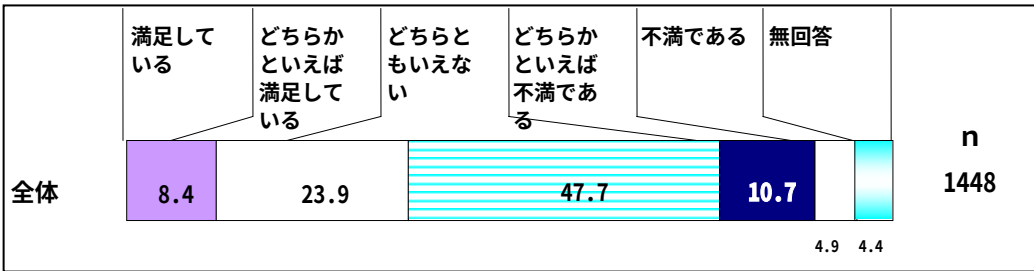


● “満足している”が 32.3%、“不満である”が 15.6%。

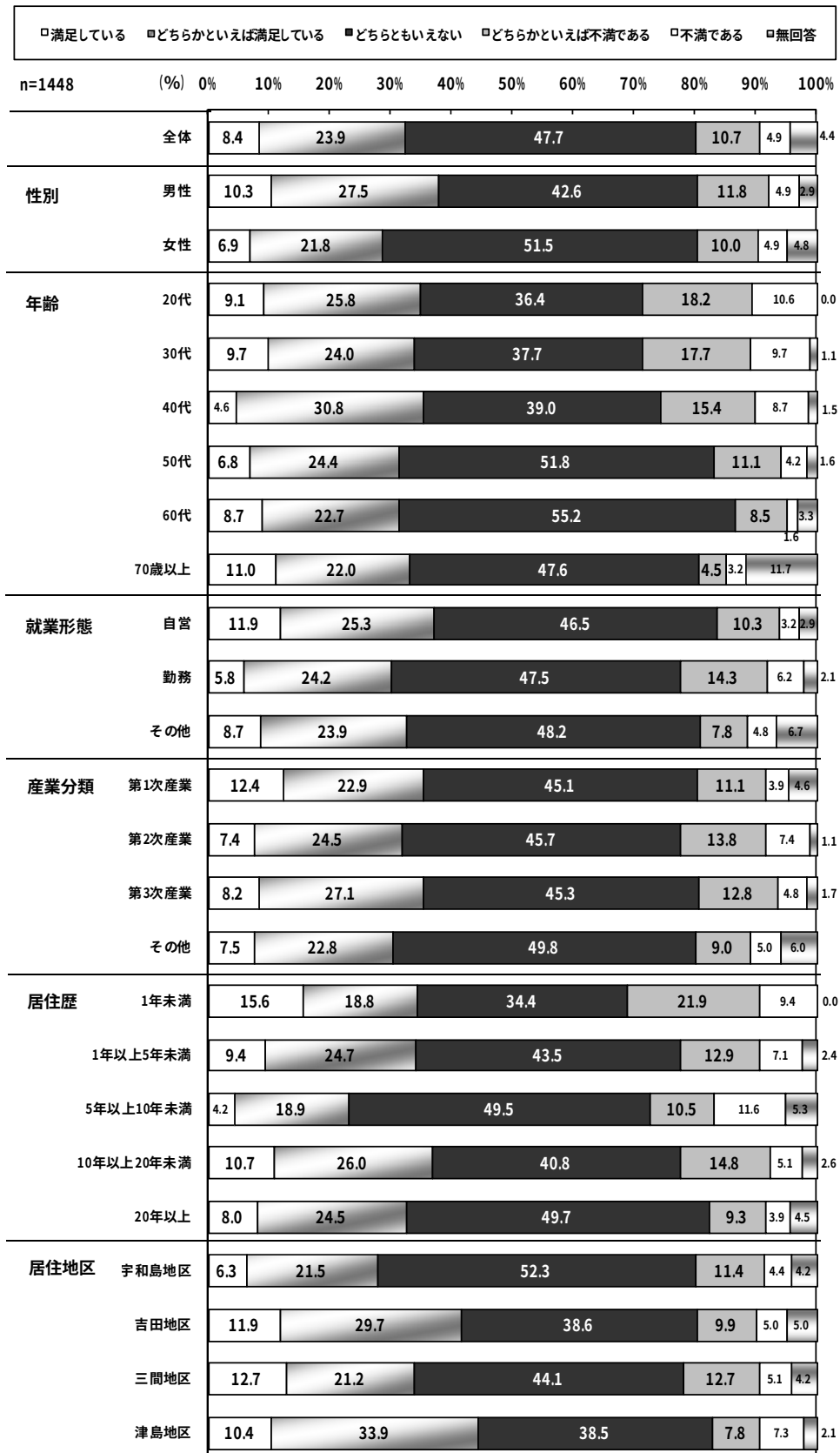
情報通信網の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(8.4%)と「どちらかといえば満足している」(23.9%)をあわせた“満足している”という人が 32.3%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」10.7%及び「不満である」4.9%の合計)は 15.6%となっている。前回調査時と比べ、“満足している”(21.4%)は 10 ポイント以上増えた。[\[図表 90 参照\]](#)

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の 20 代(28.8%)、30 代(27.4%)、居住歴別の 1 年未満(31.3%)で高く、全体(15.6%)と 10 ポイント以上の差がみられる。一方、年齢別の 70 歳以上(7.7%)が最も低く、年齢層が上がると低くなる傾向がみられる。[\[図表 91 参照\]](#)

図表 90 情報通信網の整備状況について(全体)



図表 91 情報通信網の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 市のホームページを利用した行政手続について

問 31 情報通信網についておたずねします。

(2)あなたは、市のホームページを利用して行政手続(住民票写し等の交付申請、印鑑登録証明書交付申請などの電子申請)をしていますか。



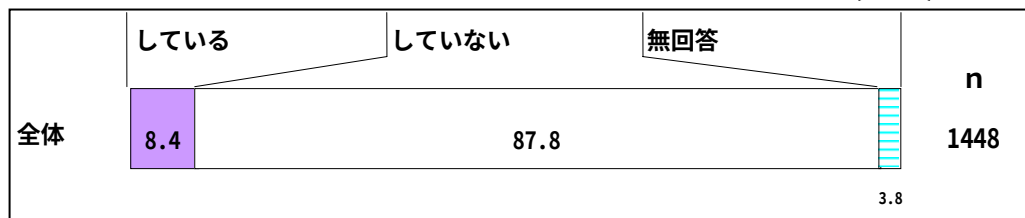
- 「している」が8.4%、「していない」が87.8%。

市のホームページを利用して行政手続をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が8.4%、一方、「していない」と回答した人は87.8%と、約9割の人がホームページを利用した行政手続をしていない結果となった。これは前回調査時（「している」8.7%、「していない」88.6%）とほとんど変わっていない。

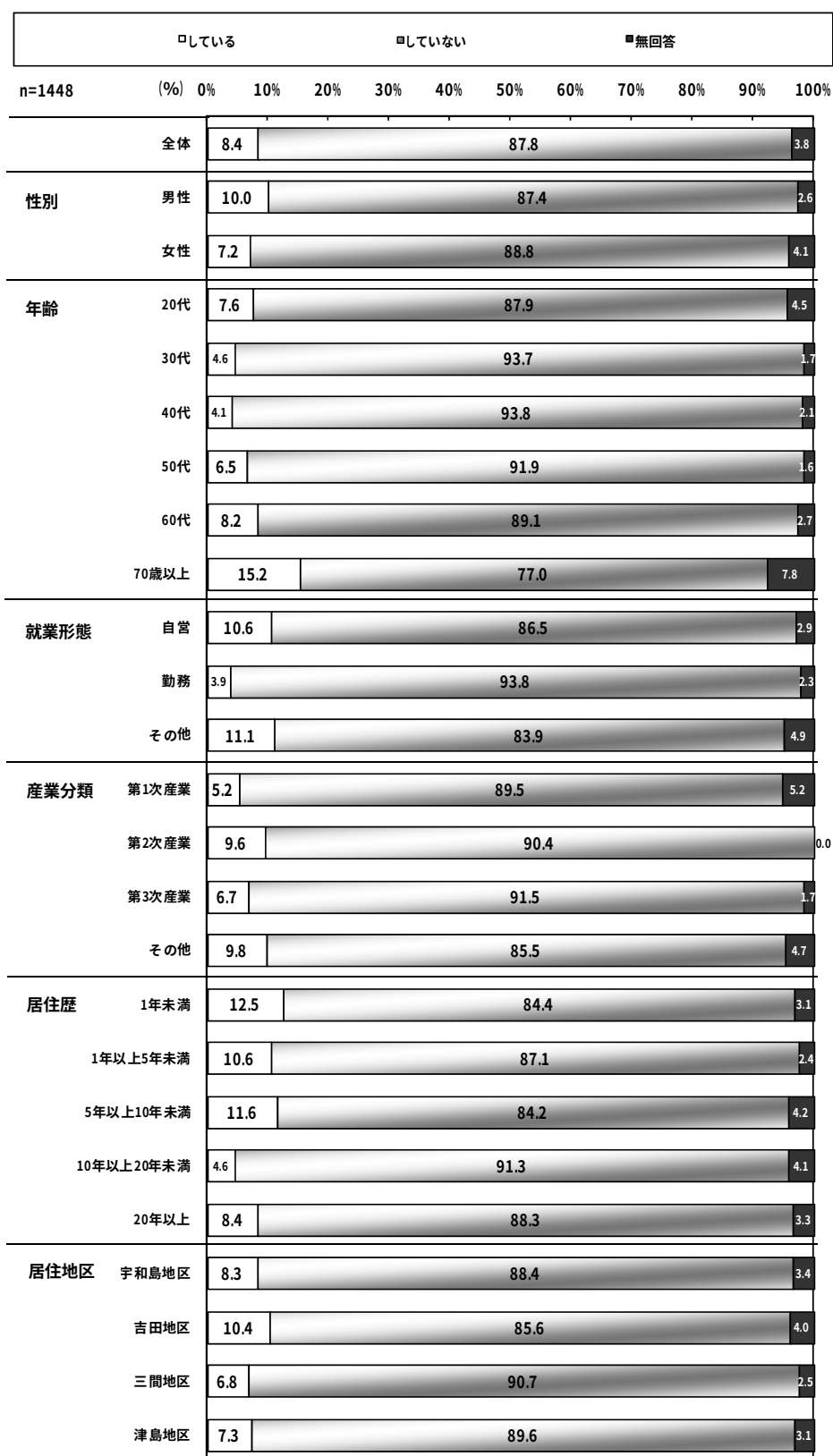
[\[図表 92 参照\]](#)

属性別でも、ほとんどの層で「していない」と回答した割合が8～9割を占めているが、前回調査時と同様に、年齢別では70歳以上が「している人」の割合が一番高い（15.2%。前回調査時は16.1%）という特徴がある。[\[図表 93 参照\]](#)

図表 92 市のホームページを利用した行政手続について(全体)



図表 93 市のホームページを利用した行政手続について
(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(26)就学前教育・学校教育

① 学校教育環境について

問 32 就学前教育・学校教育についておたずねします。
 (1)あなたは、宇和島市の幼稚園・小中学校などの学校教育環境(教育内容、学校施設など)について満足していますか。

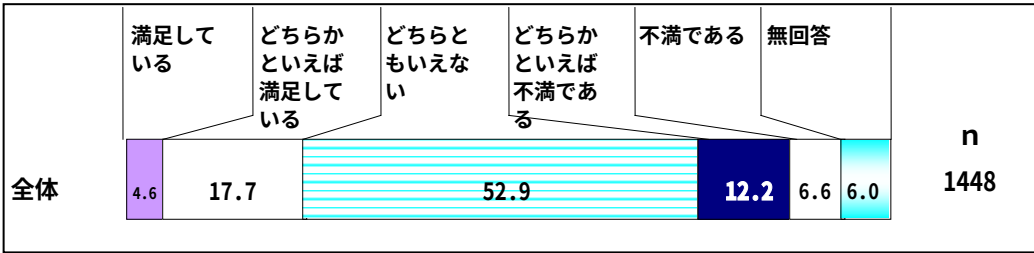


● “満足している”が22.3%、“不満である”が18.8%。

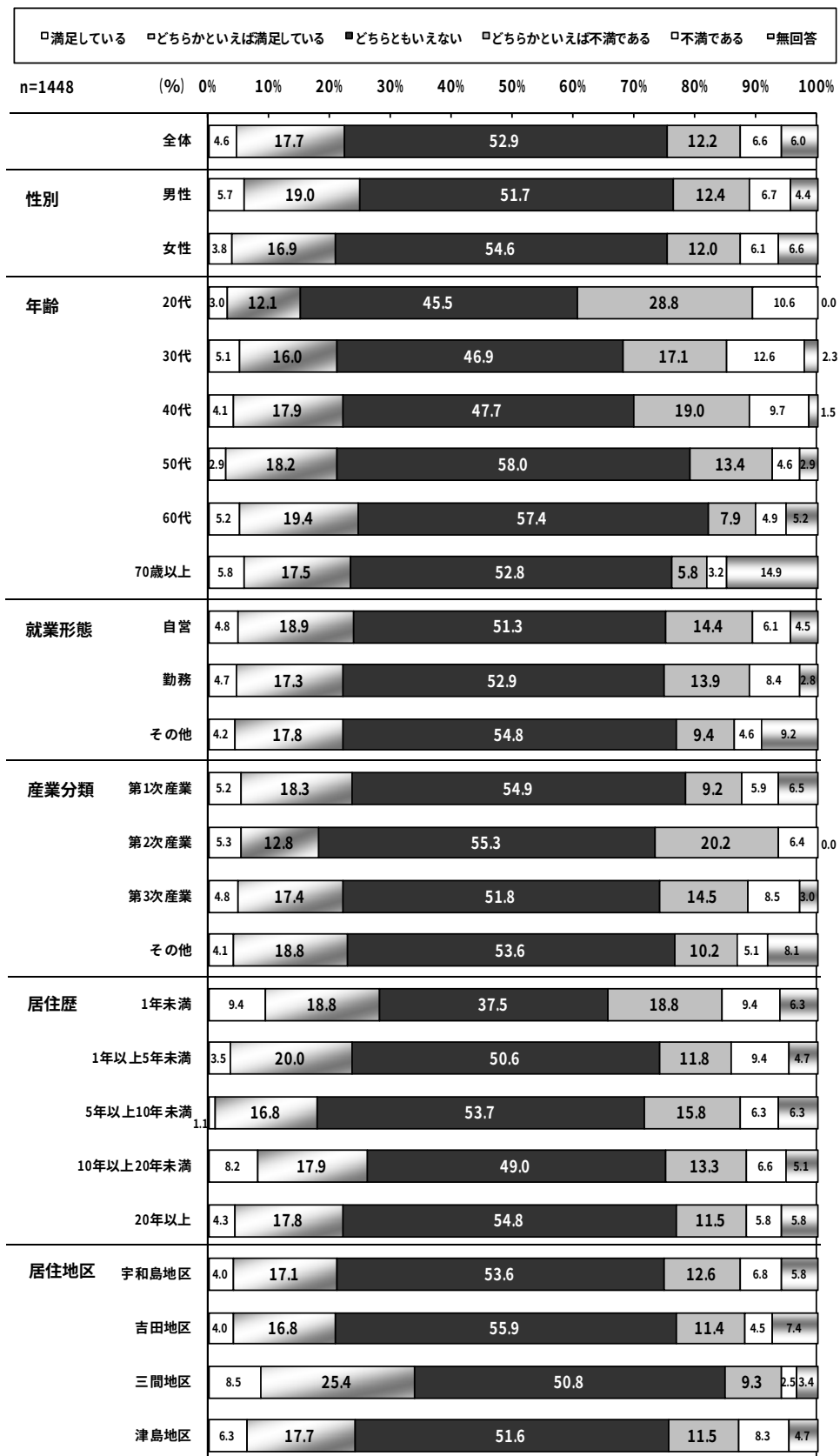
幼稚園・小中学校などの学校教育環境について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(4.6%)と「どちらかといえば満足している」(17.7%)をあわせた“満足している”という人が22.3%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」12.2%及び「不満である」6.6%の合計)は18.8%となっている。[\[図表 94 参照\]](#)

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(39.4%)、30代(29.7%)、40代(28.7%)で高く、特に20代では約4割が不満を抱えている状況にある。これは前回調査時(30.5%)と比べても高くなっている。一方、60代(12.8%)、70代(9.0%)では40代と比べても15ポイント以上低くなっており、世代間で大きな開きがある。そのほか、居住歴別では1年未満(28.2%)が高くなっている。[\[図表 95 参照\]](#)

図表 94 学校教育環境について(全体)



図表 95 学校教育環境について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(27)生涯学習

① 生涯学習活動への取り組みについて

問 33 生涯学習についておたずねします。
 (1)あなたは、宇和島市の生涯学習活動に関する取り組み(外国語講座、歴史講座などの各種講座・教室の実施、学習施設の整備・充実など)について満足していますか。

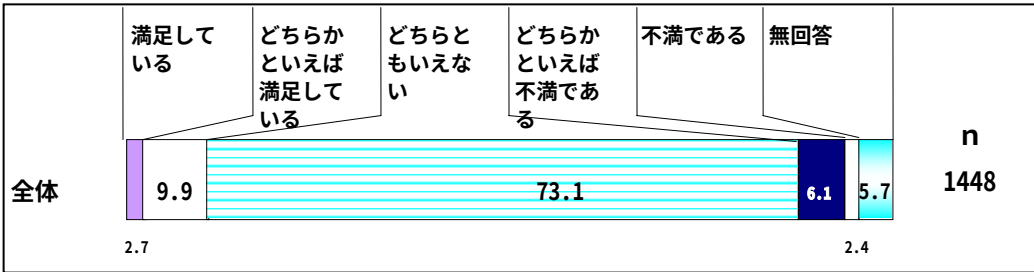


● “満足している”が12.6%、“不満である”が8.5%。

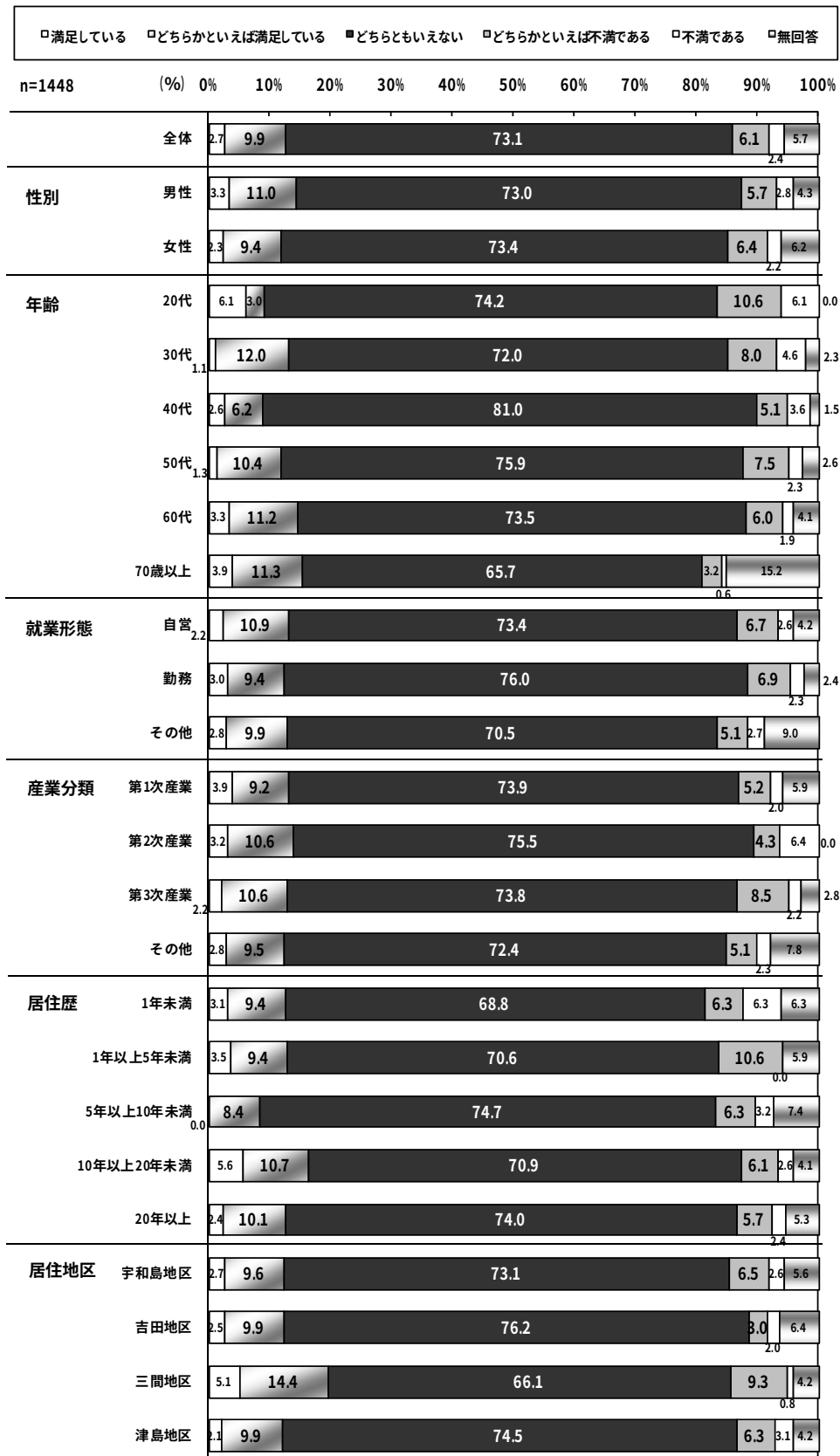
生涯学習活動に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(2.7%)と「どちらかといえば満足している」(9.9%)をあわせた“満足している”という人が12.6%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」6.1%及び「不満である」2.4%の合計)は8.5%となっている。これは前回調査時(“満足している”10.7%、“不満である”9.8%)とあまり変わっていない。[\[図表 96 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で1割前後であるが、居住地区別の三間地区が19.5%と全属性で一番高くなっている。[\[図表 97 参照\]](#)

図表 96 生涯学習活動への取り組みについて(全体)



図表 97 生涯学習活動への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 生涯学習活動について

問 33 生涯学習についておたずねします。
(2)あなたは、日頃、生涯学習活動をしていますか。

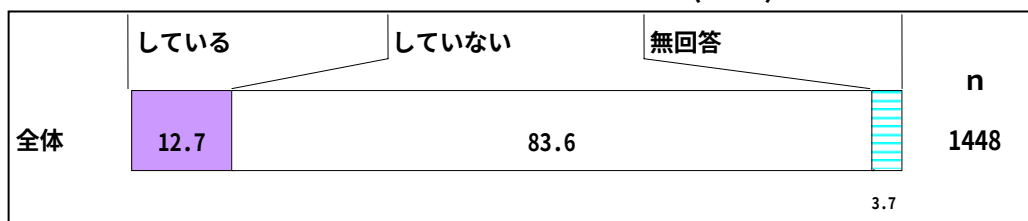


- 「している」が12.7%、「していない」が83.6%。

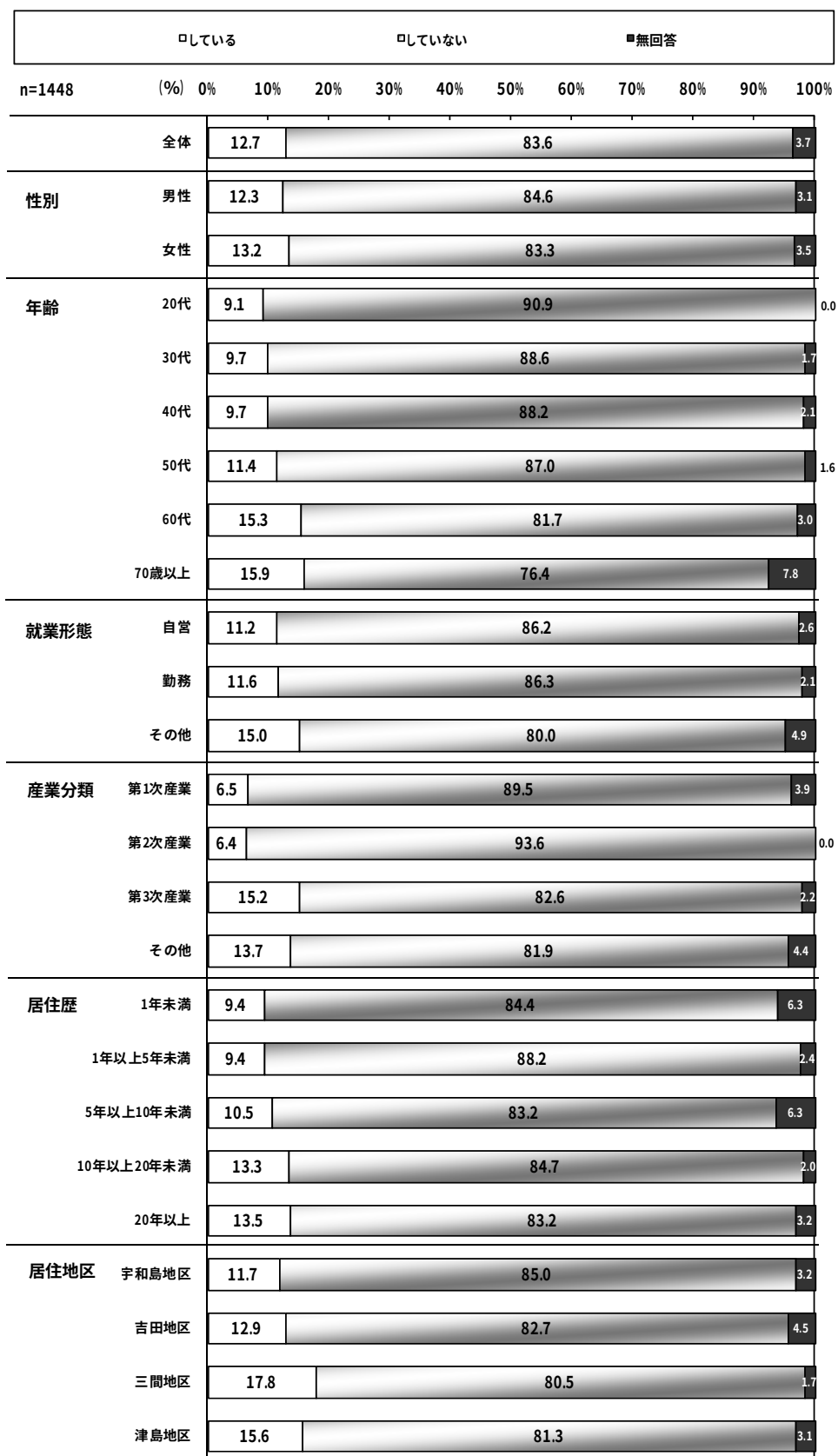
日頃、生涯学習活動をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が12.7%、一方、「していない」と回答した人は83.6%と、約1割が生涯学習活動をしている結果となった。これは前回調査時（「している」13.3%、「していない」83.0%）とほとんど変わっていない。[【図表 98 参照】](#)

属性別で「している」と回答した割合をみていくと、ほとんどの層で1割前後であるが、問 33（1）と同様に、居住地区別の三間地区（17.8%）が全属性で一番高くなっている。また、年齢別では、年齢属が上がるとともに割合が高まる傾向がある。[【図表 99 参照】](#)

図表 98 生涯学習活動について(全体)



図表 99 生涯学習活動について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(28) スポーツ

① スポーツ振興への取り組みについて

問 34 スポーツについておたずねします。

(1) あなたは、宇和島市のスポーツ振興に関する取り組み(スポーツの啓発普及、指導者や活動団体などの育成、施設の整備など)について満足していますか。

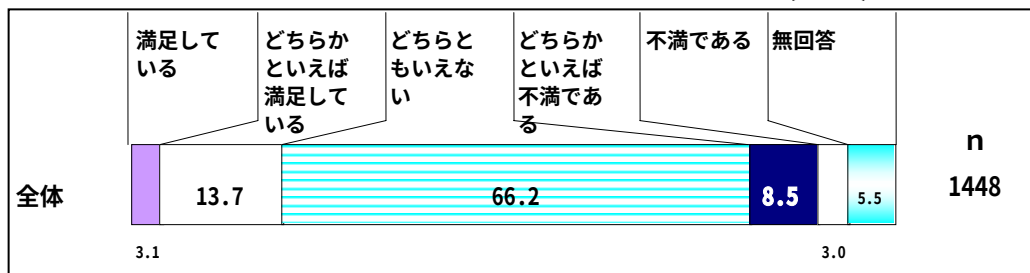


● “満足している”が16.8%、“不満である”が11.5%。

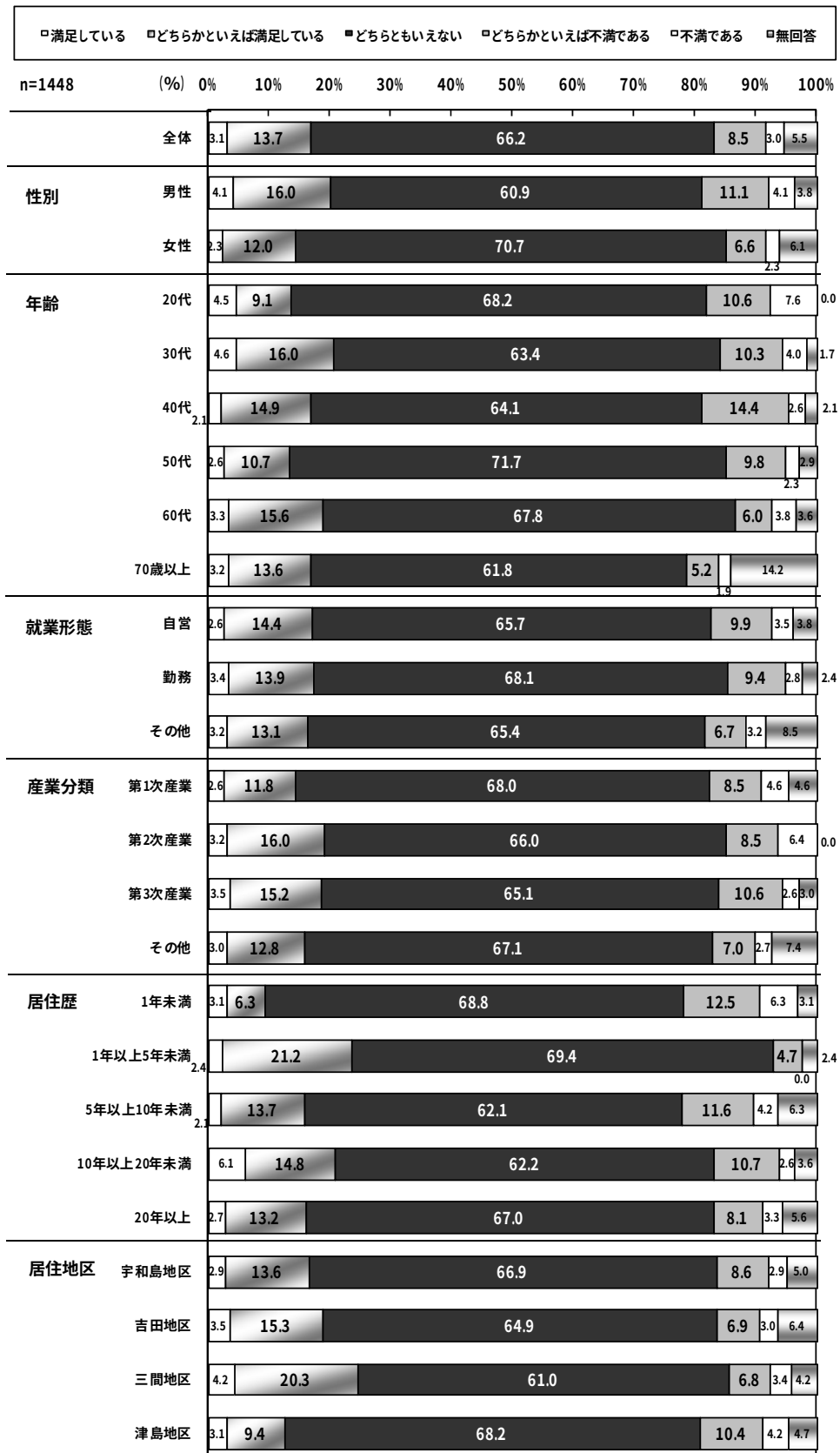
スポーツ振興への取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(3.1%)と「どちらかといえば満足している」(13.7%)をあわせた“満足している”という人が16.8%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」8.5%及び「不満である」3.0%の合計)は11.5%となっている。これは前回調査時(“満足している”20.1%、“不満である”13.1%)と大きく変わっていない。[\[図表 100 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で2割前後であるが、居住歴1年未満が9.4%と1割を切っている。また、居住地区別の三間地区(24.5%)が全属性で一番高い。[\[図表 101 参照\]](#)

図表 100 スポーツ振興への取り組みについて(全体)



図表 101 スポーツ振興への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 定期的なスポーツ活動について

問 34 スポーツについておたずねします。
(2)あなたは、定期的(週1回以上)にスポーツ活動をしていますか。

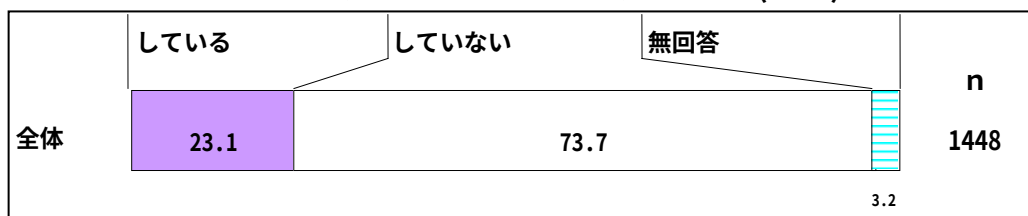


- 「している」が23.1%、「していない」が73.7%。

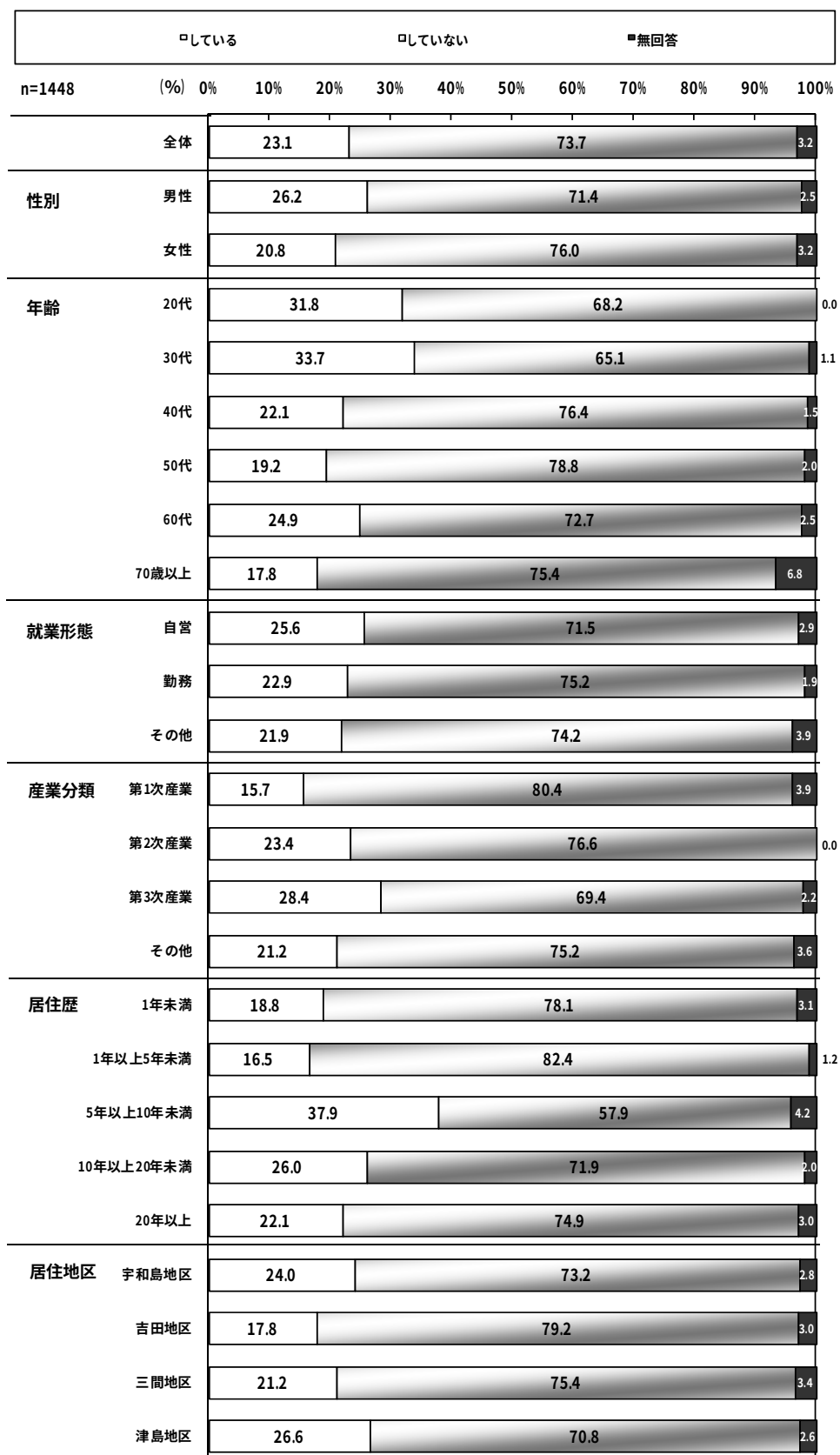
定期的にスポーツ活動をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が23.1%、一方、「していない」と回答した人は73.7%と、2割が定期的にスポーツ活動をしている結果となった。これは前回調査時(「している」21.3%、「していない」75.1%)から大きく変わっていない。[図表 102 参照]

属性別で「している」と回答した割合をみていくと、ほとんどの層で2割前後であるが、居住歴5年以上10年未満が37.9%と4割近くなっている。これは前回調査時(25.0%)から見ても10ポイント以上高い。また、年齢別では20代(31.8%)、30代(33.7%)と70歳以上(17.8%)の間では10ポイント以上の差がある。[図表 103 参照]

図表 102 定期的なスポーツ活動について(全体)



図表 103 定期的なスポーツ活動について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(29) 芸術・文化

① 芸術・文化振興への取り組みについて

問 35 芸術・文化についておたずねします。

(1) あなたは、宇和島市の芸術・文化振興に関する取り組み(歴史・文化財等の保存・活用、芸術活動の支援、新たな芸術・文化を創出できる環境や施設の整備など)について満足していますか。

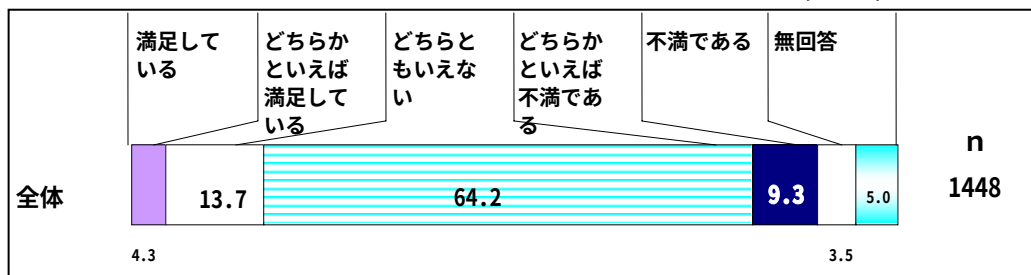


● “満足している”が18.0%、“不満である”が12.8%。

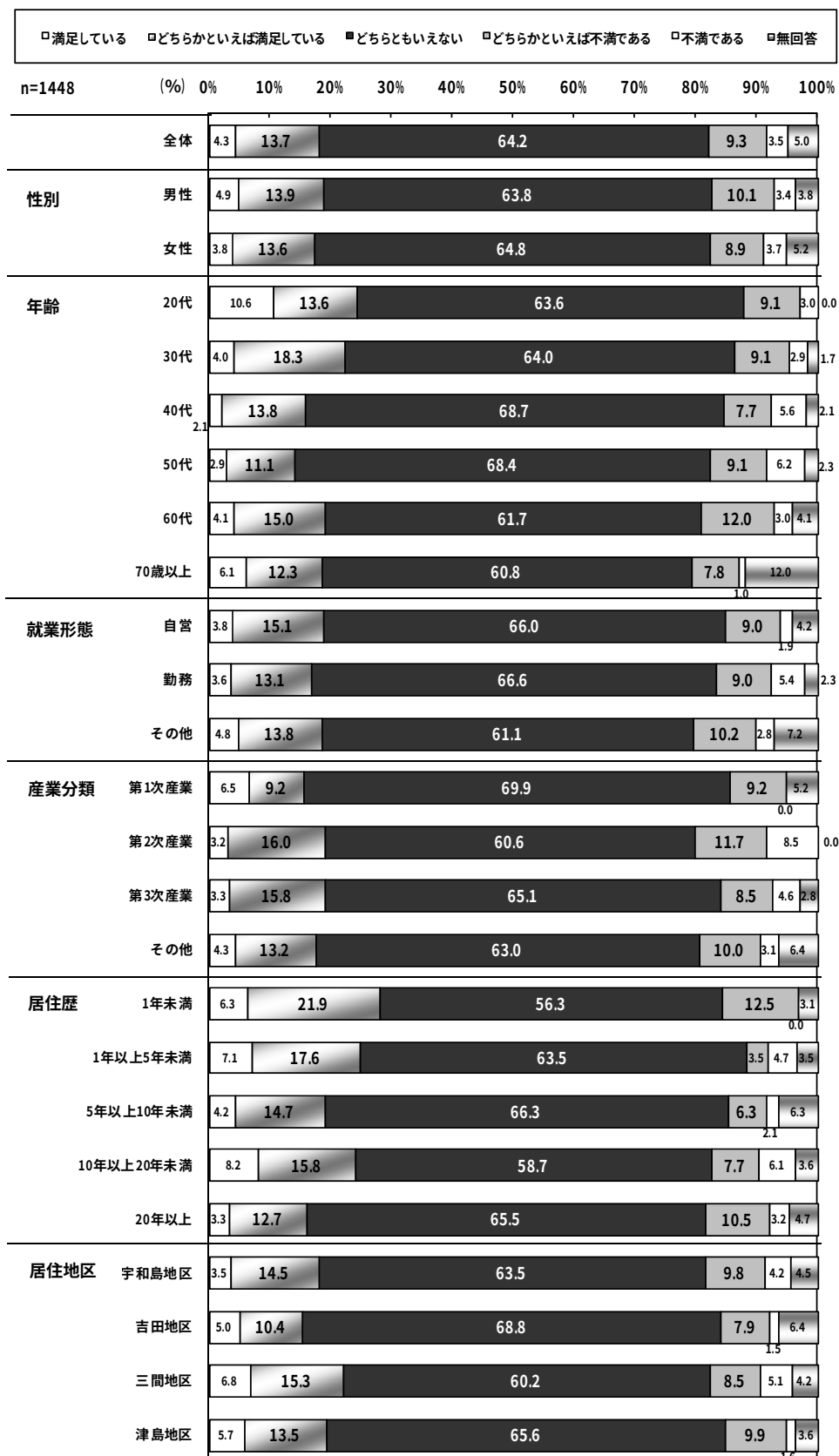
芸術・文化振興に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(4.3%)と「どちらかといえば満足している」(13.7%)をあわせた“満足している”という人が18.0%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」9.3%及び「不満である」3.5%の合計)は12.8%となっている。[\[図表 104 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で1～2割となっているが、居住歴1年未満が28.2%と全属性で一番高くなっている。また、年齢別でも20代(24.2%)が一番高い。[\[図表 105 参照\]](#)

図表 104 芸術・文化振興への取り組みについて(全体)



図表105 芸術・文化振興への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 芸術・文化活動への参加について

問 35 芸術・文化についておたずねします。
(2)あなたは、日頃、芸術・文化活動に参加していますか。

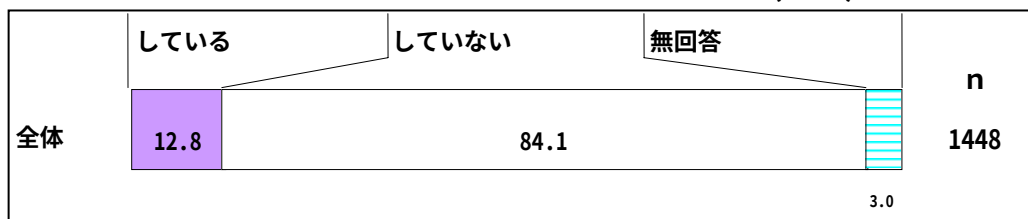


- 「している」が12.8%、「していない」が84.1%。

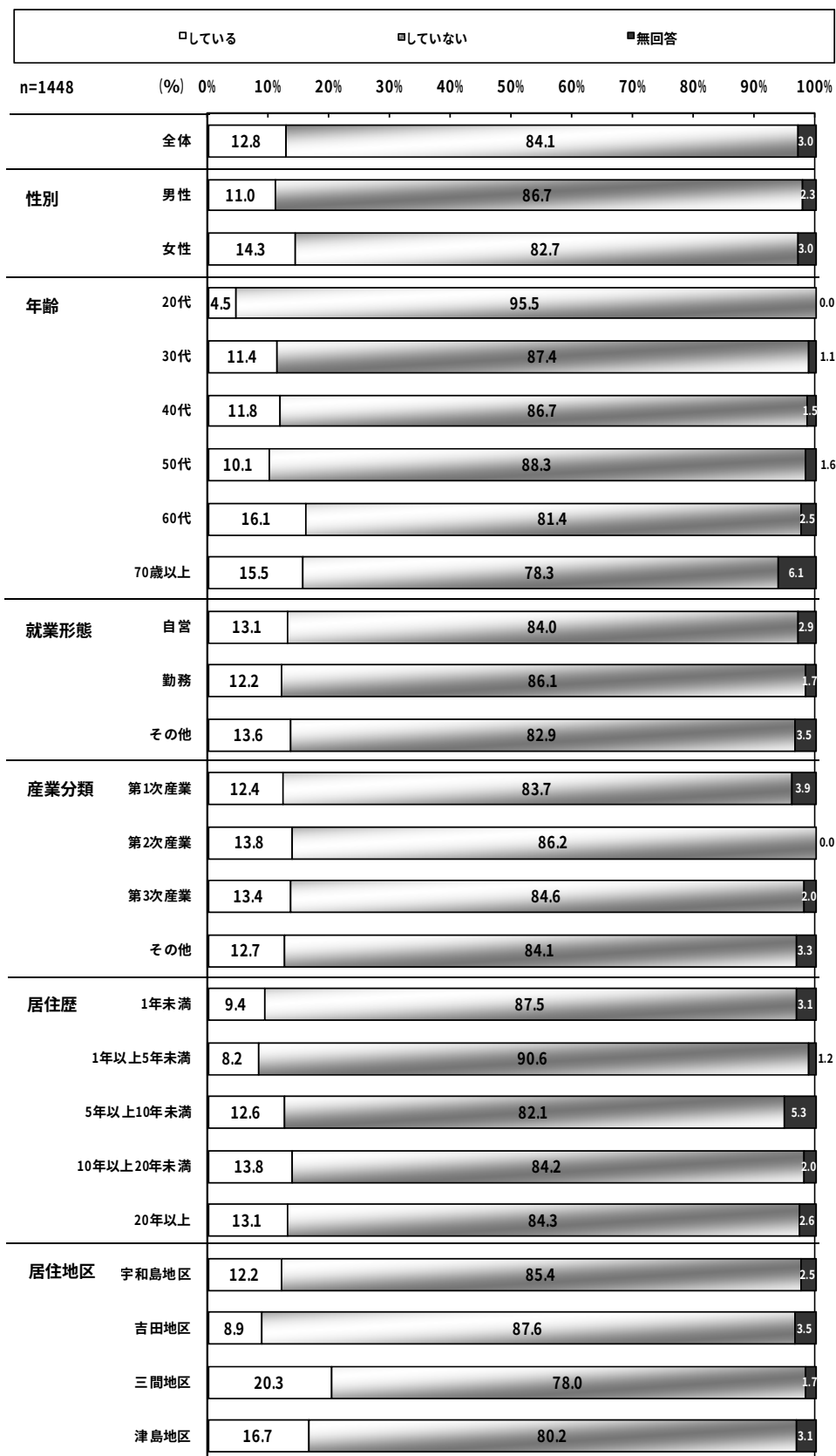
日頃、芸術・文化活動に参加しているかたずねたところ、「している」と回答した人が12.8%、一方、「していない」と回答した人は84.1%と、約1割が芸術・文化活動に参加している結果となった。これは前回調査時（「している」12.1%、「していない」83.5%）とほぼ変わっていない。[【図表 106 参照】](#)

属性別で「している」と回答した割合をみていくと、ほとんどの層で1割前後であるが、居住地区別の三間地区（20.3%）が唯一2割を超えている。[【図表 107 参照】](#)

図表 106 芸術・文化活動への参加について(全体)



図表 107 芸術・文化活動への参加について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(30) 青少年の健全育成

① 青少年の健全育成への取り組みについて

問 36 青少年の健全育成についておたずねします。
 (1) あなたは、宇和島市の青少年の健全育成に関する取り組み（非行防止活動・有害環境の浄化活動の推進、体験・交流活動等への参加促進など）について満足していますか。

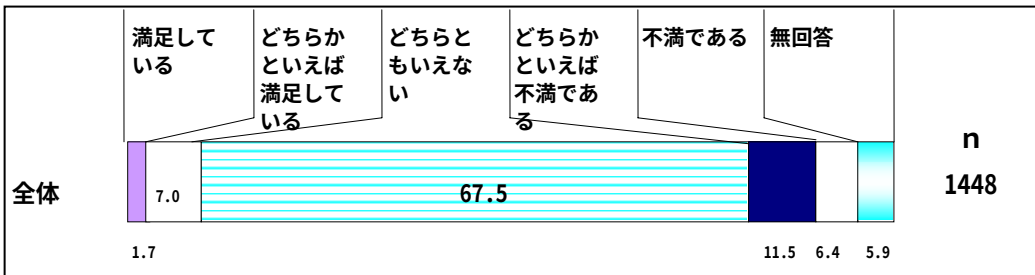


● “満足している”が8.7%、“不満である”が17.9%。

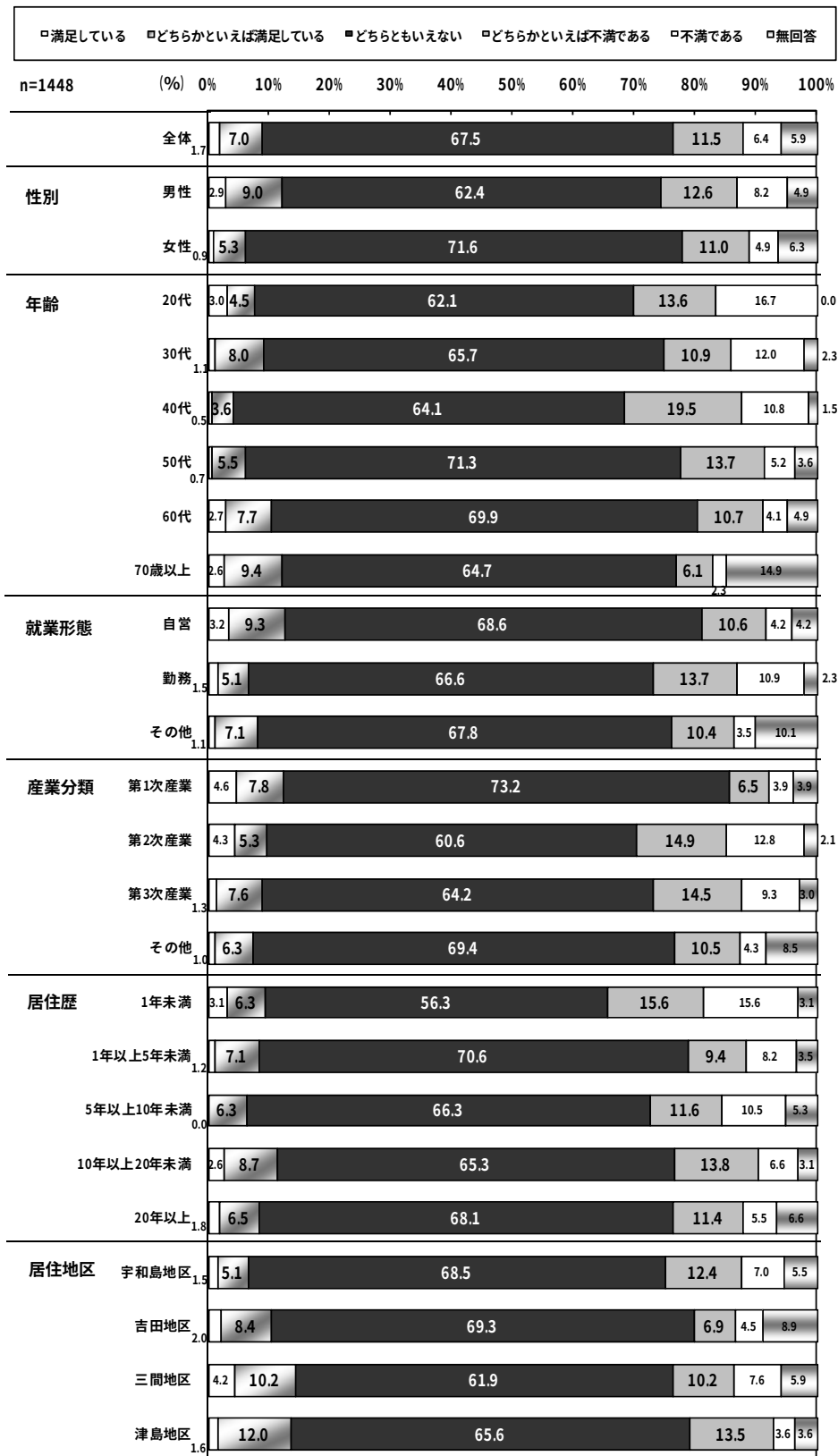
今回、新たに青少年の健全育成について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(1.7%)と「どちらかといえば満足している」(7.0%)をあわせた“満足している”という人が8.7%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」11.5%及び「不満である」6.4%の合計)は17.9%となっている。[\[図表 108 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で1割前後となっている。また“不満である”割合では、居住歴1年未満(31.2%)、年齢別の20代(30.3%)と40代(30.3%)が3割を超えて、全体(17.9%)を10ポイント以上上回っている。[\[図表 109 参照\]](#)

図表 108 青少年の健全育成への取り組みについて(全体)



図表 109 青少年の健全育成への取り組みについて
(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(31)国際交流・地域間交流

① 国内外との交流活動について

問 37 国際交流・地域間交流についておたずねします。
 (1)あなたは、宇和島市の国内外との交流活動(姉妹都市交流など)について満足していますか。

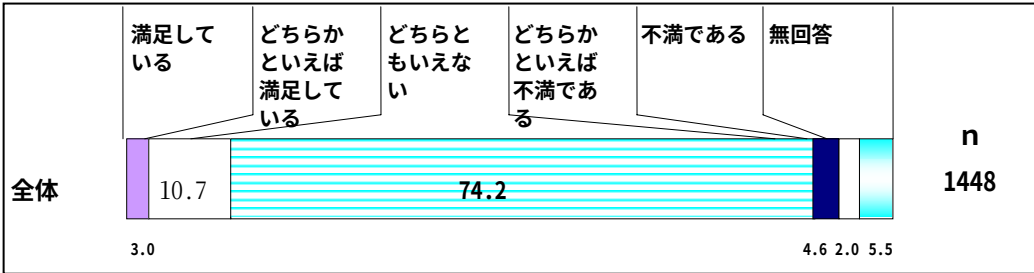


● “満足している”が13.7%、“不満である”が6.6%。

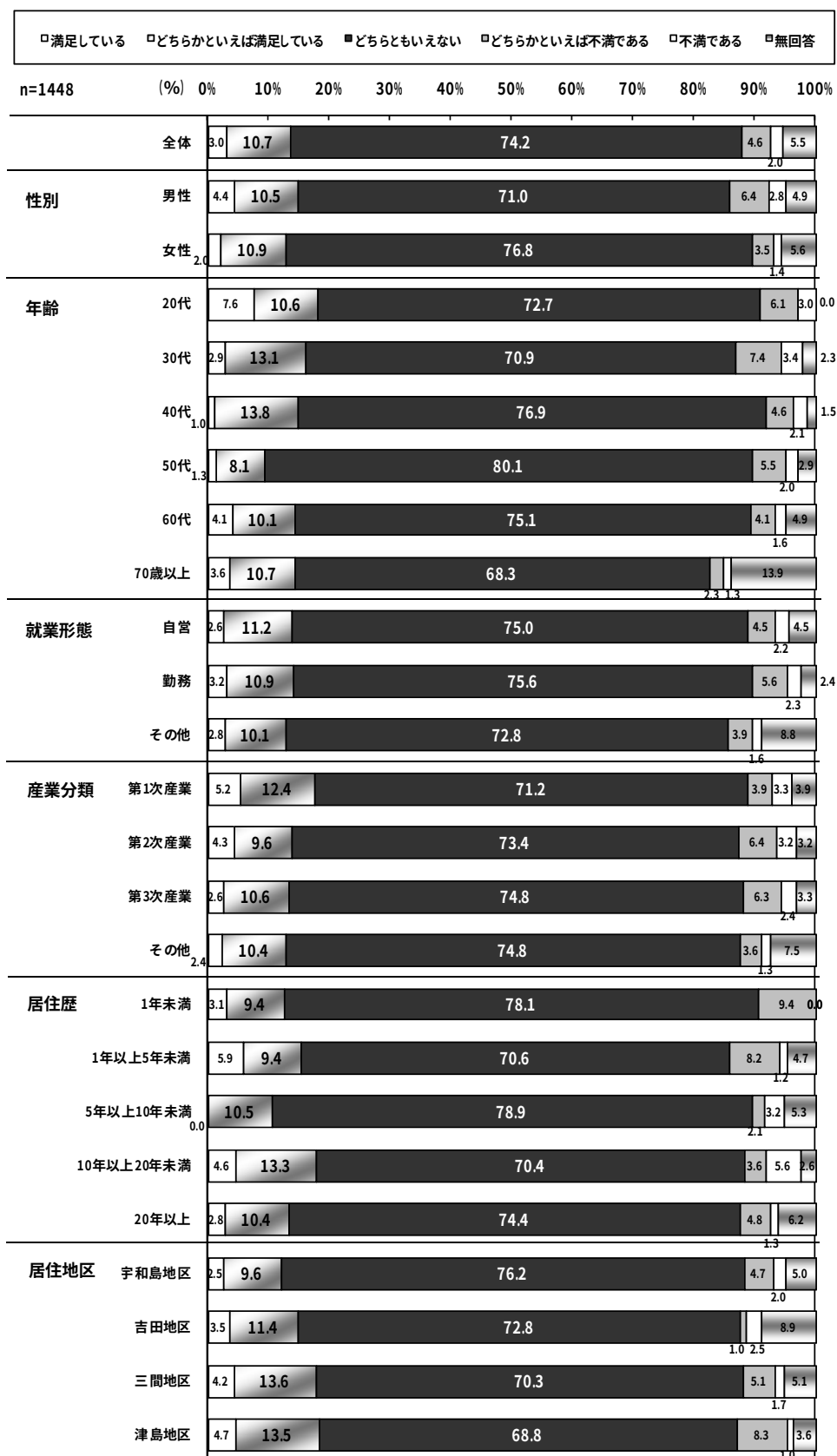
国内外との交流活動について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(3.0%)と「どちらかといえば満足している」(10.7%)をあわせた“満足している”という人が13.7%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」4.6%及び「不満である」2.0%の合計)は6.6%となっている。これは前回調査時(“満足している”9.0%、“不満である”7.0%)から大きく変わっていない。[\[図表 110 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で1割前後となっている。[\[図表 111 参照\]](#)

図表 110 国内外との交流活動について(全体)



図表 111 国内外との交流活動について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 国内外地域や居住外国人との交流活動について

問 37 国際交流・地域間交流についておたずねします。
(2)あなたは、国内外の地域や居住外国人との交流活動をしていますか。



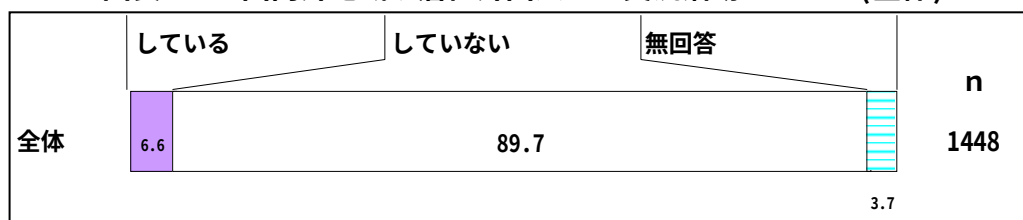
- 「している」が6.6%、「していない」が89.7%。

国内外の地域や居住外国人との交流活動をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が6.6%、一方「していない」と回答した人は89.7%と、交流活動をしている人は1割弱にとどまる結果となった。これは前回調査時（「している」5.9%、「していない」90.3%）とほとんど変わっていない。

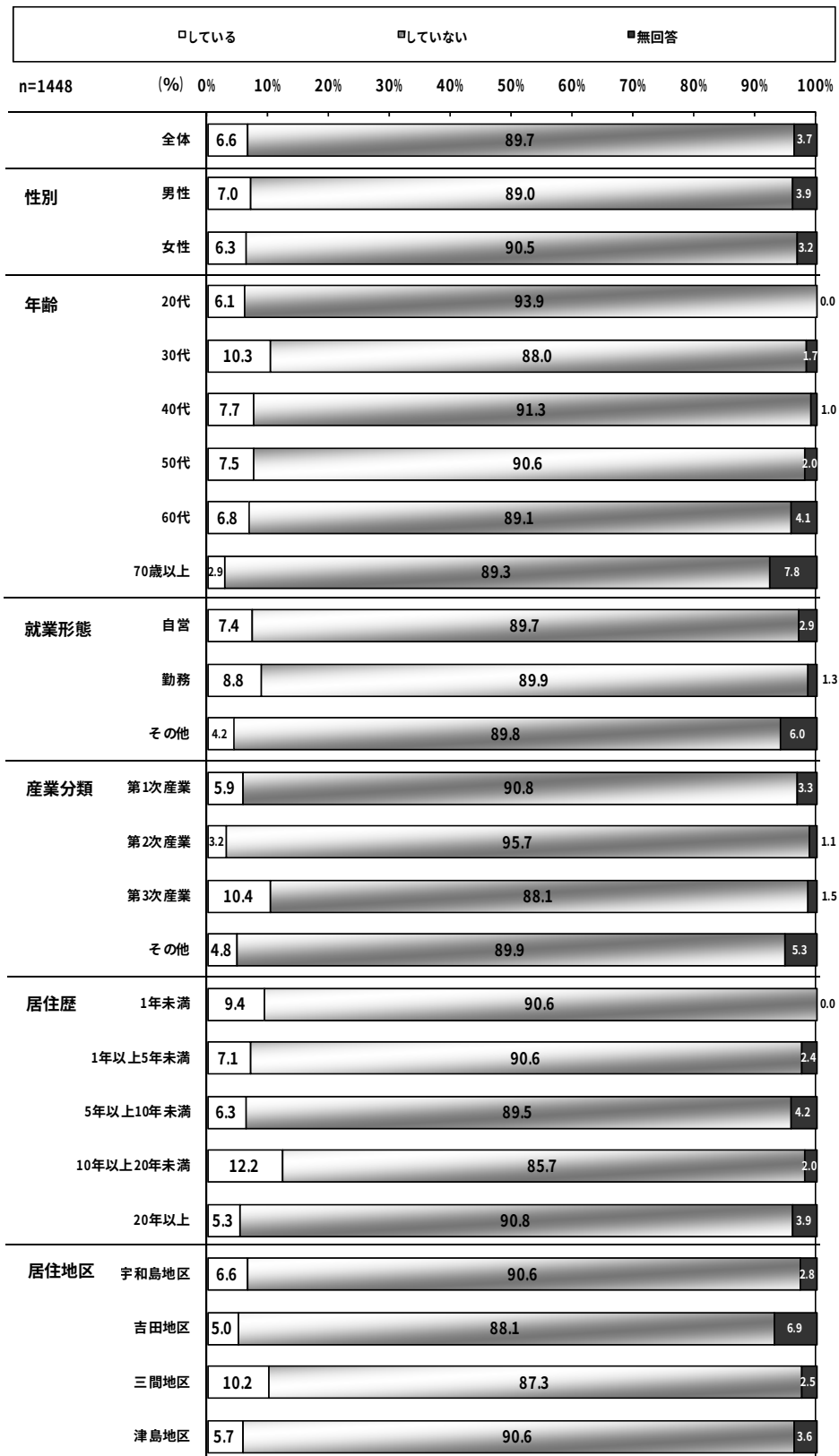
[\[図表 112 参照\]](#)

属性別で「している」と回答した割合をみていくと、年齢別の30代(10.3%)、産業分類別の第3次産業(10.4%)、居住歴別の10年以上20年未満(12.2%)、居住地別の三間地区(10.2%)で1割を超えているものの、その他の層ではすべて1割を下回っている。[\[図表 113 参照\]](#)

図表 112 国内外地域や居住外国人との交流活動について(全体)



図表 113 国内外地域や居住外国人との交流活動について
(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(32)人権教育・啓発

① 人権教育・啓発への取り組みについて

問 38 人権教育・啓発についておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市の人権教育・啓発に関する取り組みについて満足していますか。

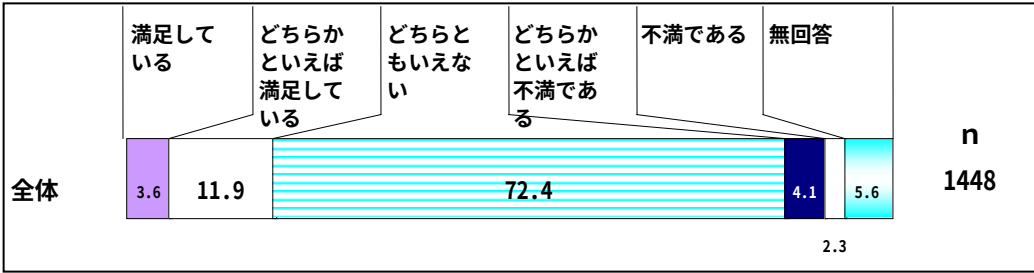


● “満足している”が15.5%、“不満である”が6.4%。

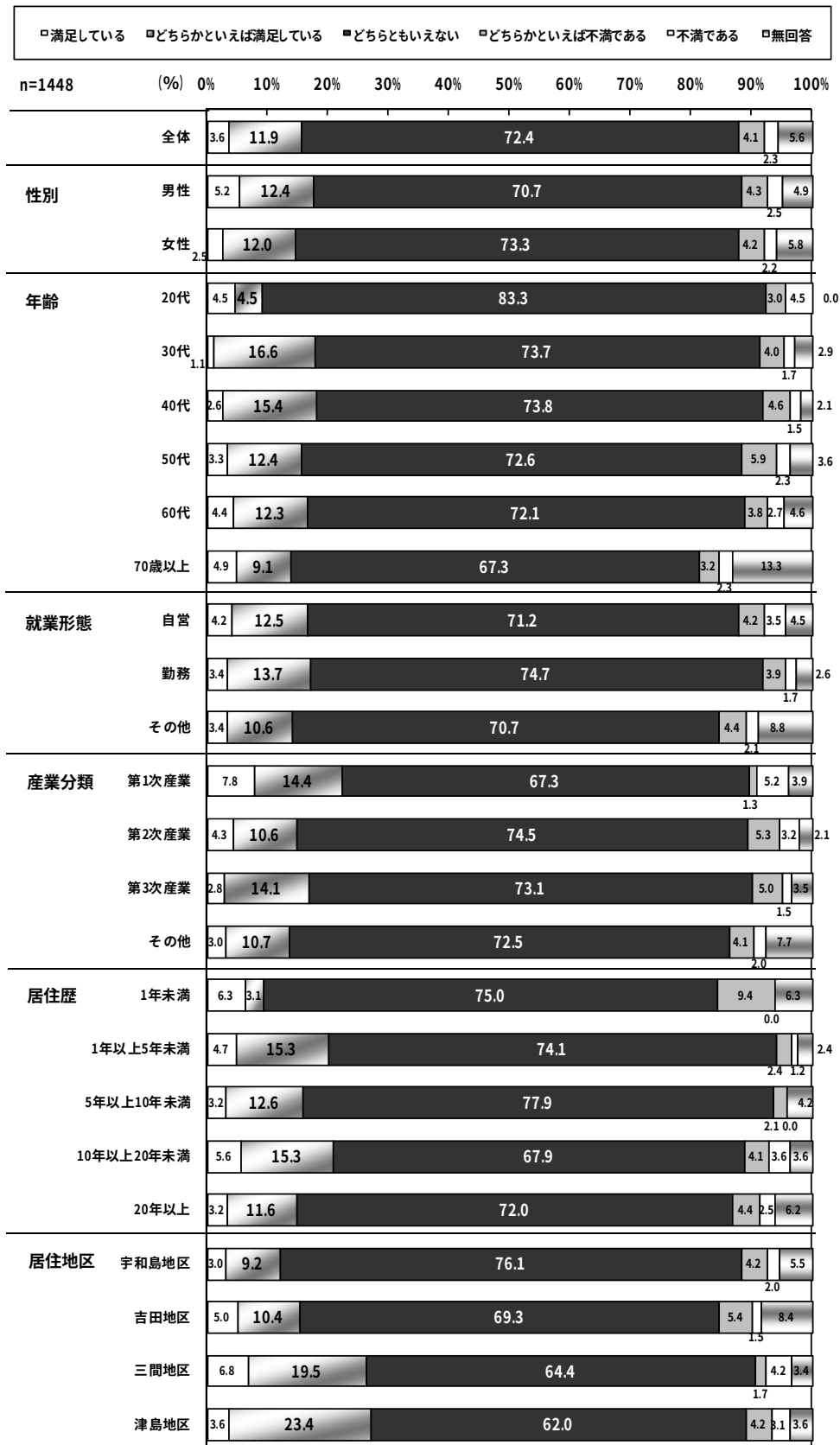
人権教育・啓発に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(3.6%)と「どちらかといえば満足している」(11.9%)をあわせた“満足している”という人が15.5%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」4.1%及び「不満である」2.3%の合計)は6.4%となっている。[\[図表 114 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(9.0%)と居住歴1年未満(9.4%)以外は1割を超えている。また、居住地区別の三間地区(26.3%)と津島地区(27.0%)では全体(15.5%)を10ポイント以上上回っている。[\[図表 115 参照\]](#)

図表 114 人権教育・啓発への取り組みについて(全体)



図表 115 人権教育・啓発への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 地域・職場での人権教育・啓発活動の参加について

問 38 人権教育・啓発についておたずねします。
(2) あなたは、地域・職場での人権教育・啓発活動などに参加していますか。

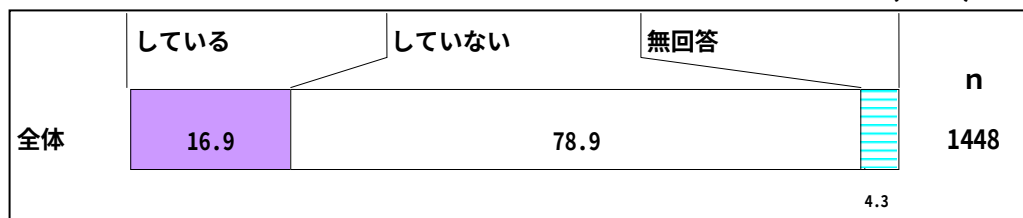


- 「している」が 16.9%、「していない」が 78.9%。

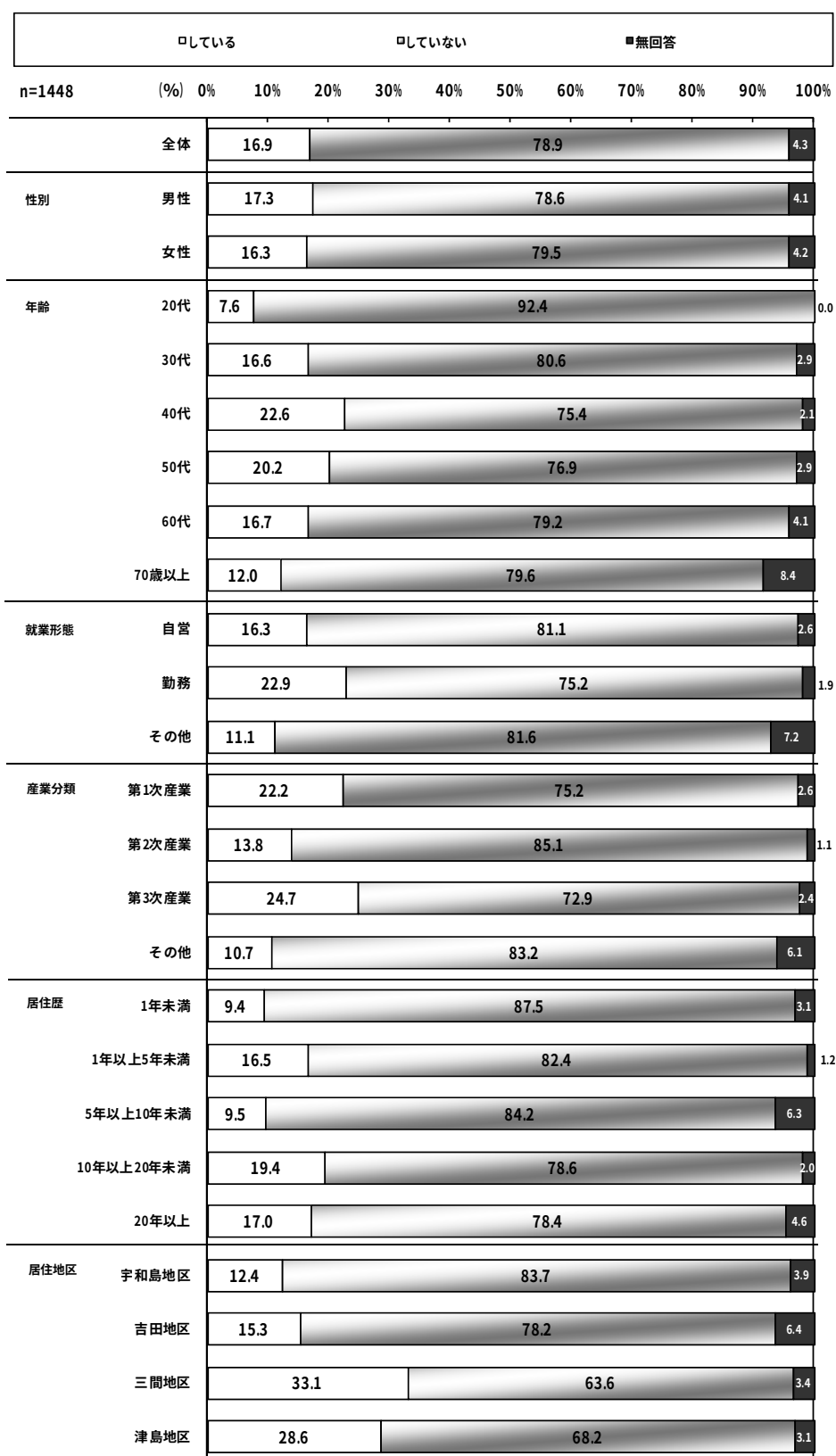
地域・職場での人権教育・啓発活動などに参加しているかをたずねたところ、「している」と回答した人が 16.9%、一方、「していない」と回答した人は 78.9%と、約 2 割が人権教育・啓発活動に参加している結果となった。これは前回調査時（「している」21.1%、「していない」74.2%）とほとんどかわっていない。[【図表 116 参照】](#)

属性別で「している」と回答した割合をみていくと、居住地区別の三間地区（33.1%）、津島地区（28.6%）で高く、全体（16.9%）と 10 ポイント以上の差がみられる。[【図表 117 参照】](#)

図表 116 地域・職場での人権教育・啓発活動の参加について(全体)



図表 117 地域・職場での人権教育・啓発活動の参加について
(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(33)男女共同参画

① 男女共同参画推進への取り組みについて

問 39 男女共同参画についておたずねします。
 (1)あなたは、宇和島市の男女共同参画の推進に関する取り組み(男女平等意識の啓発、委員会等への女性の登用など)について満足していますか。

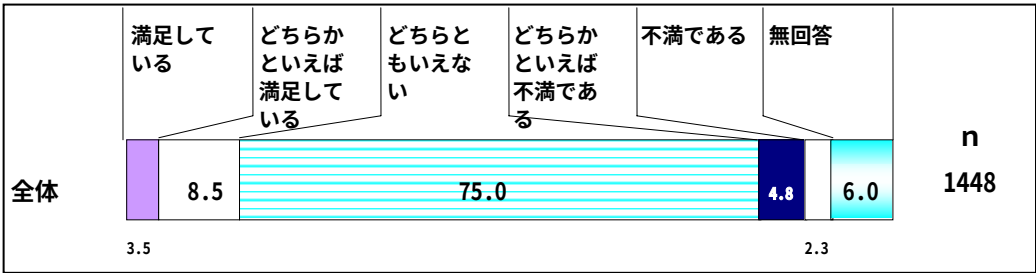


● “満足している”が12.0%、“不満である”が7.1%。

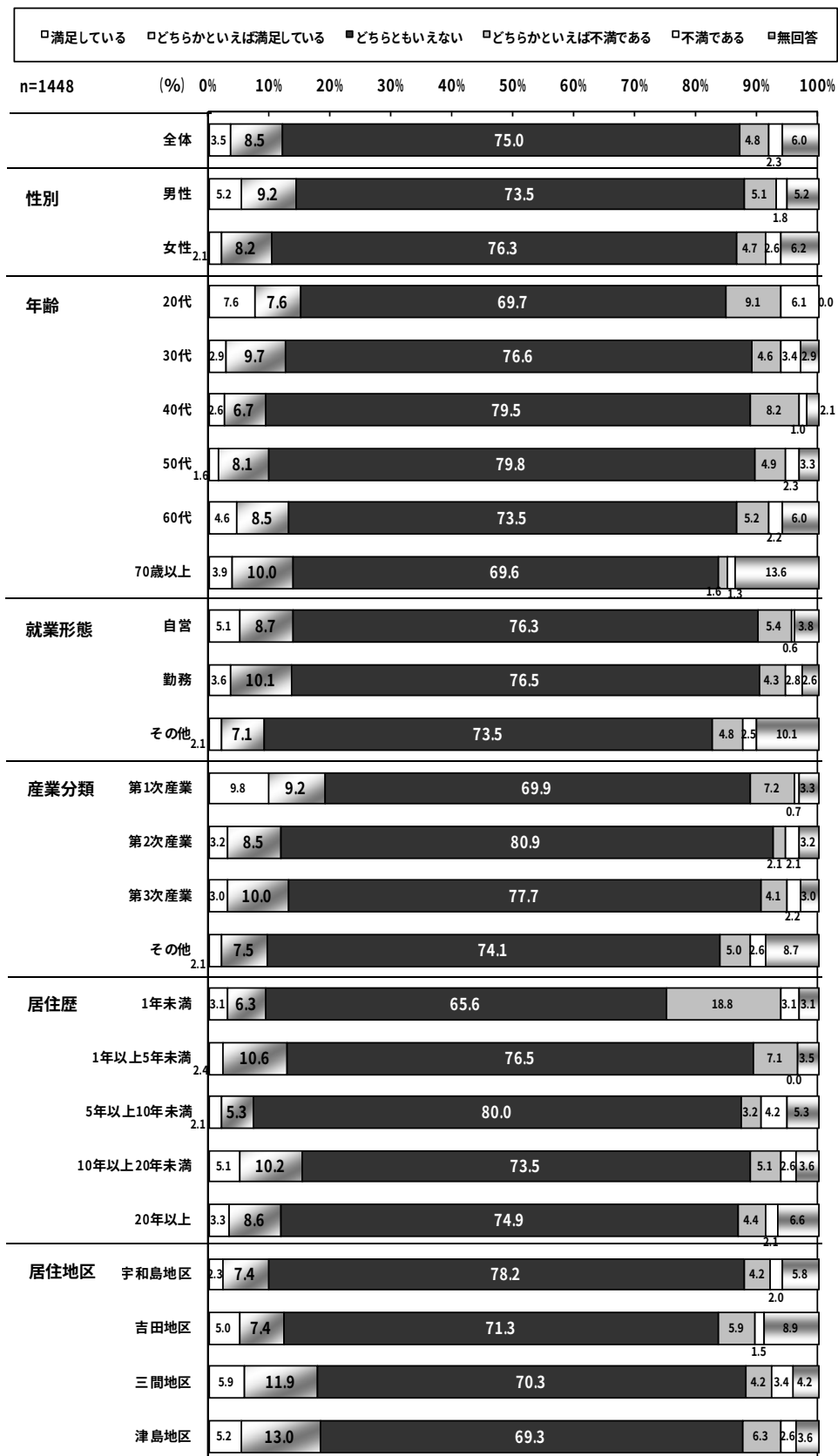
男女共同参画の推進に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(3.5%)と「どちらかといえば満足している」(8.5%)をあわせた“満足している”という人が12.0%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」4.8%及び「不満である」2.3%の合計)は7.1%となっている。これは前回調査時(“満足している”11.1%、“不満である”9.5%)とほとんど変わっていない。[\[図表 118 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で1割前後となっている。一方、“不満である”では、居住歴1年未満が21.9%と全体(7.1%)から10ポイント以上高くなっている。[\[図表 119 参照\]](#)

図表 118 男女共同参画推進への取り組みについて(全体)



図表 119 男女共同参画推進への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(34) コミュニティ

① 地域のコミュニティ活動について

問 40 コミュニティについておたずねします。
(1) あなたは、地域のコミュニティ活動(自治会の活動など)について満足していますか。

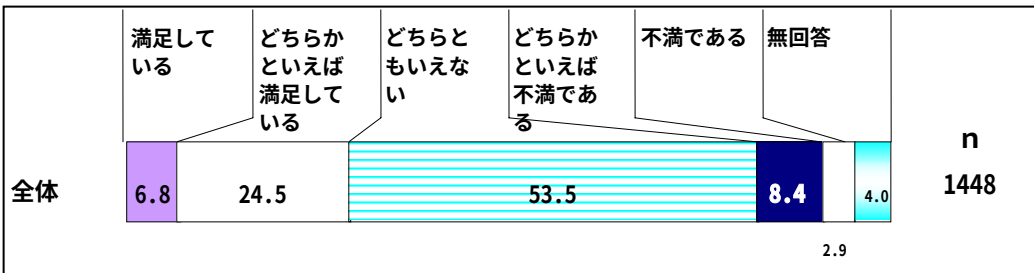


● “満足している”が 31.3%、“不満である”が 11.3%。

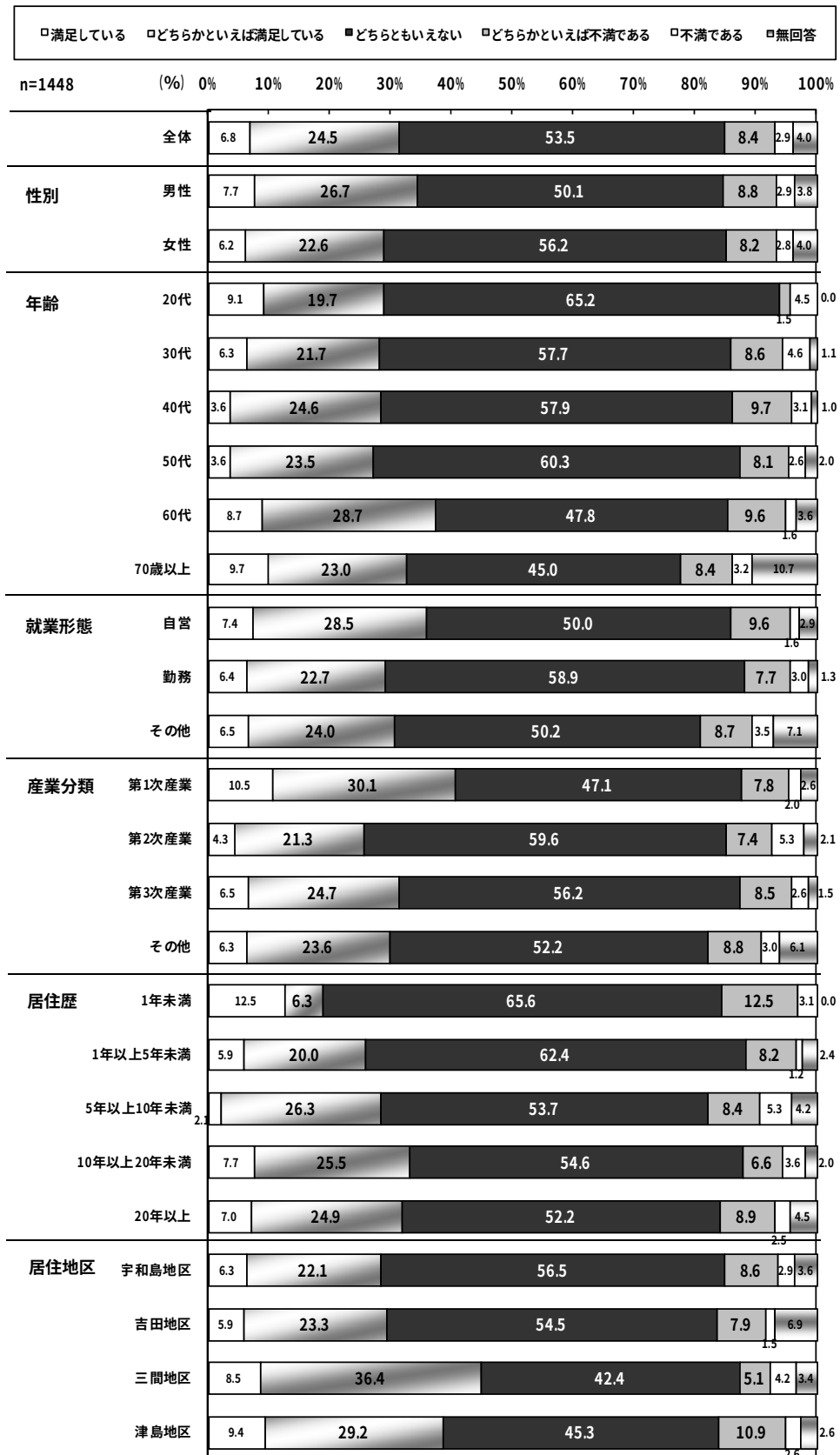
地域のコミュニティ活動について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(6.8%)と「どちらかといえば満足している」(24.5%)をあわせた“満足している”という人が 31.3%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」8.4%及び「不満である」2.9%の合計)は 11.3%となっている。これは前回調査時(“満足している”29.3%、“不満である”12.0%)とほとんど変わっていない。[\[図表 120 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、居住歴別の1年未満(18.8%)で低く、一方、産業分類別の第1次産業(40.6%)で高く、全体(31.3%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別の三間地区(44.9%)、津島地区(38.6%)では4割前後と高く、居住地区によって満足度に差があることがうかがえる。[\[図表 121 参照\]](#)

図表 120 地域のコミュニティ活動について(全体)



図表 121 地域のコミュニティ活動について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② コミュニティ活動への参加について

問 40 コミュニティについておたずねします。
(2)あなたは、日頃、コミュニティ活動(自治会の活動など)に参加していますか。

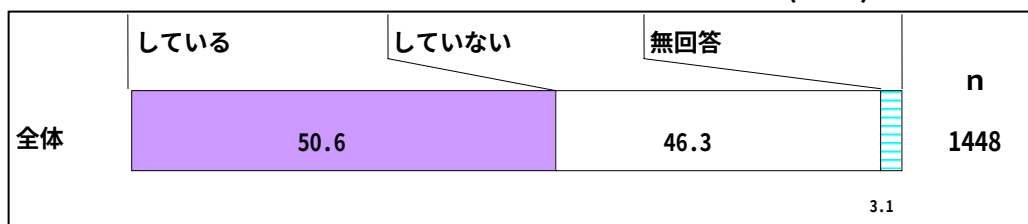


- 「している」が50.6%、「していない」が46.3%。

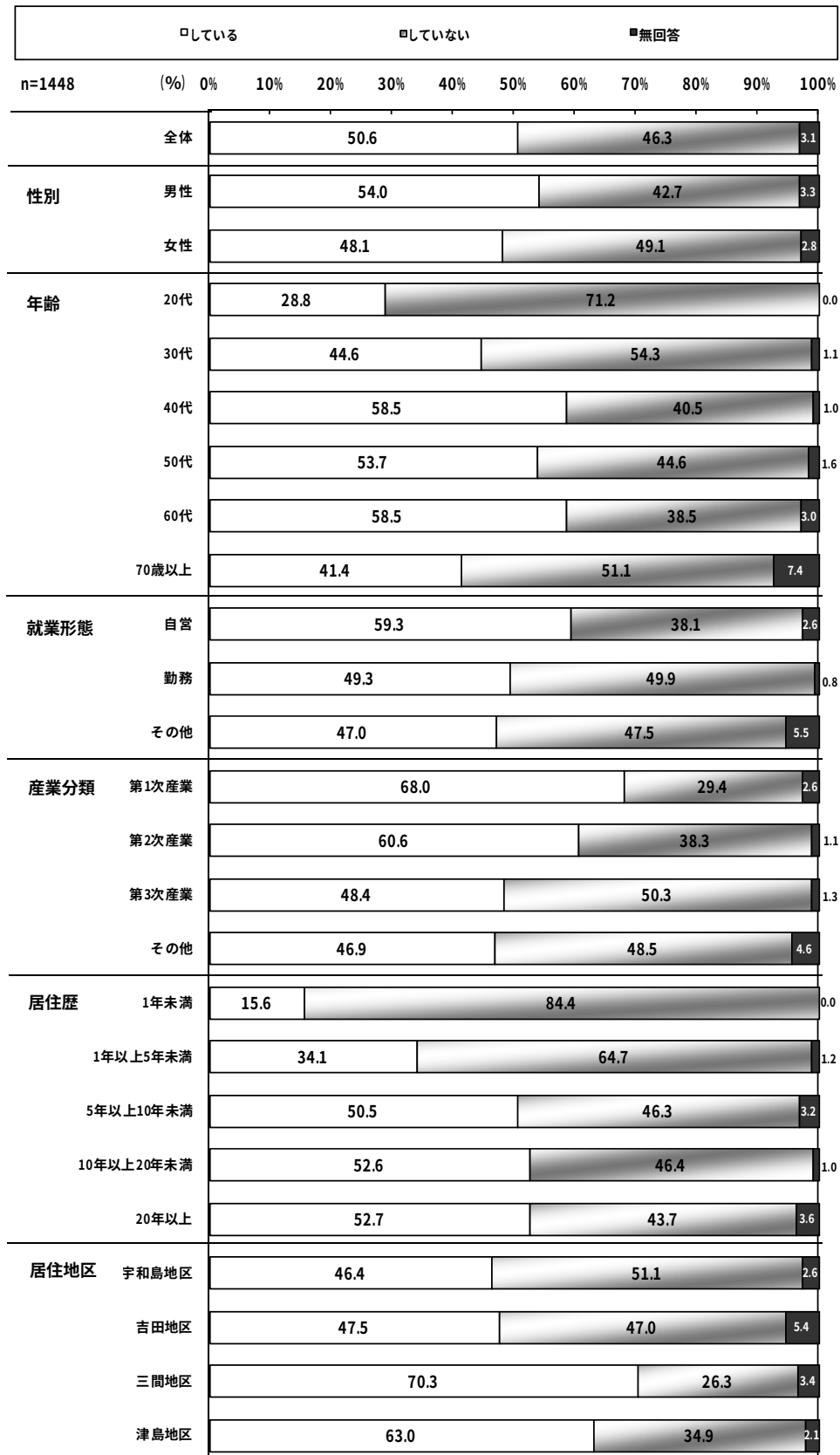
日頃、コミュニティ活動に参加しているかをたずねたところ、「している」と回答した人が50.6%、一方、「していない」と回答した人は46.3%と、前回(49.2%)に引き続き5割の人がコミュニティ活動に参加している結果となった。[\[図表 122 参照\]](#)

属性別で「している」と回答した割合をみていくと、性別では大きな差はみられないが、年齢別でみると、20代(28.8%)で約3割、70歳以上(41.4%)で約4割と低いものの、40代(58.5%)、60代(58.5%)では約6割と高くなっている。産業分類別では、第1次産業(68.0%)、第2次産業(60.6%)で6割を超えて高くなっている。一方、居住歴別の1年未満(15.6%)と1年以上5年未満(34.1%)では、全体(50.6%)に比べ15ポイント以上低い割合となっている。また、居住地区別でみると、三間地区(70.3%)、津島地区(63.0%)で6割を超え、他地区に比べて15ポイント以上の差がみられる。[\[図表 123 参照\]](#)

図表 122 コミュニティ活動への参加について(全体)



図表 123 コミュニティ活動への参加について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(35)住民参画

① 住民参画への取り組みについて

問 41 住民参画についておたずねします。
 (1)あなたは、宇和島市の住民参画に関する取り組み(各種委員の一般公募、市政情報の公開、ボランティア・NPO活動の活性化支援など)について満足していますか。

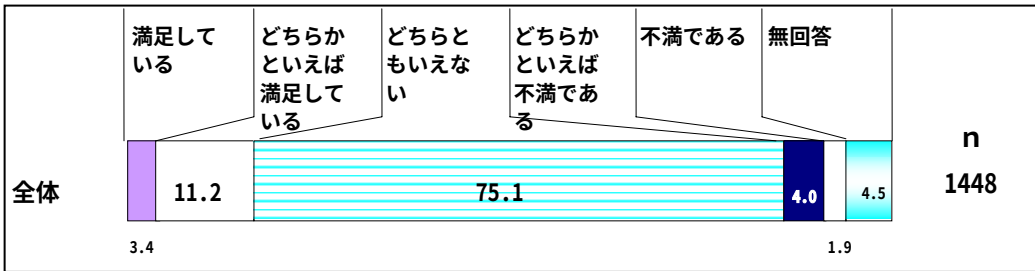


● “満足している”が14.6%、“不満である”が5.9%。

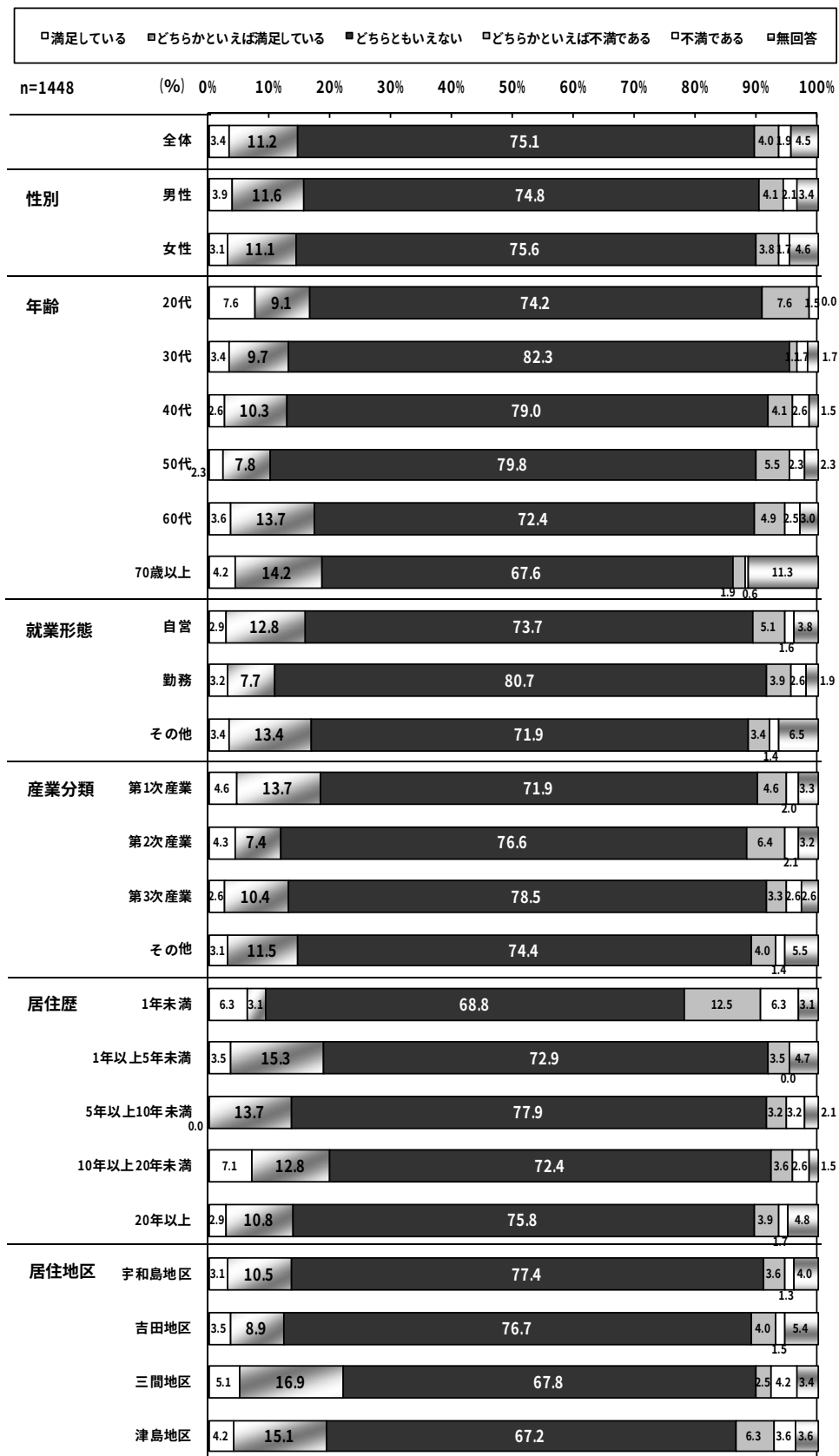
住民参画に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(3.4%)と「どちらかといえば満足している」(11.2%)をあわせた“満足している”という人が14.6%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」4.0%及び「不満である」1.9%の合計)は5.9%となっている。これは前回調査時(“満足している”13.5%、“不満である”9.1%)と大きく変わっていない。[\[図表 124 参照\]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で1割前後であるが、居住地区別の三間地区(22.0%)で2割を超えている。また、“不満である”割合では、居住歴1年未満が18.8%と全体(5.9%)を10ポイント以上上回っている。[\[図表 125 参照\]](#)

図表 124 住民参画への取り組みについて(全体)



図表 125 住民参画への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 広報・広聴活動への取り組みについて

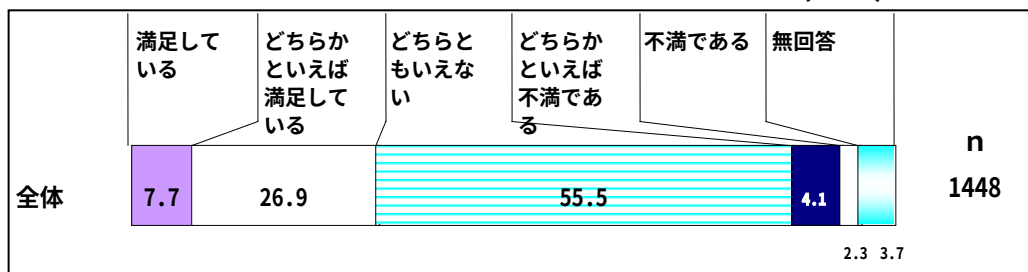
問 41 住民参画についておたずねします。
(2) あなたは、宇和島市の広報・広聴活動に関する取り組み(広報紙やホームページ、タウンミーティングなど)について満足していますか。

● “満足している”が34.6%、“不満である”が6.4%。

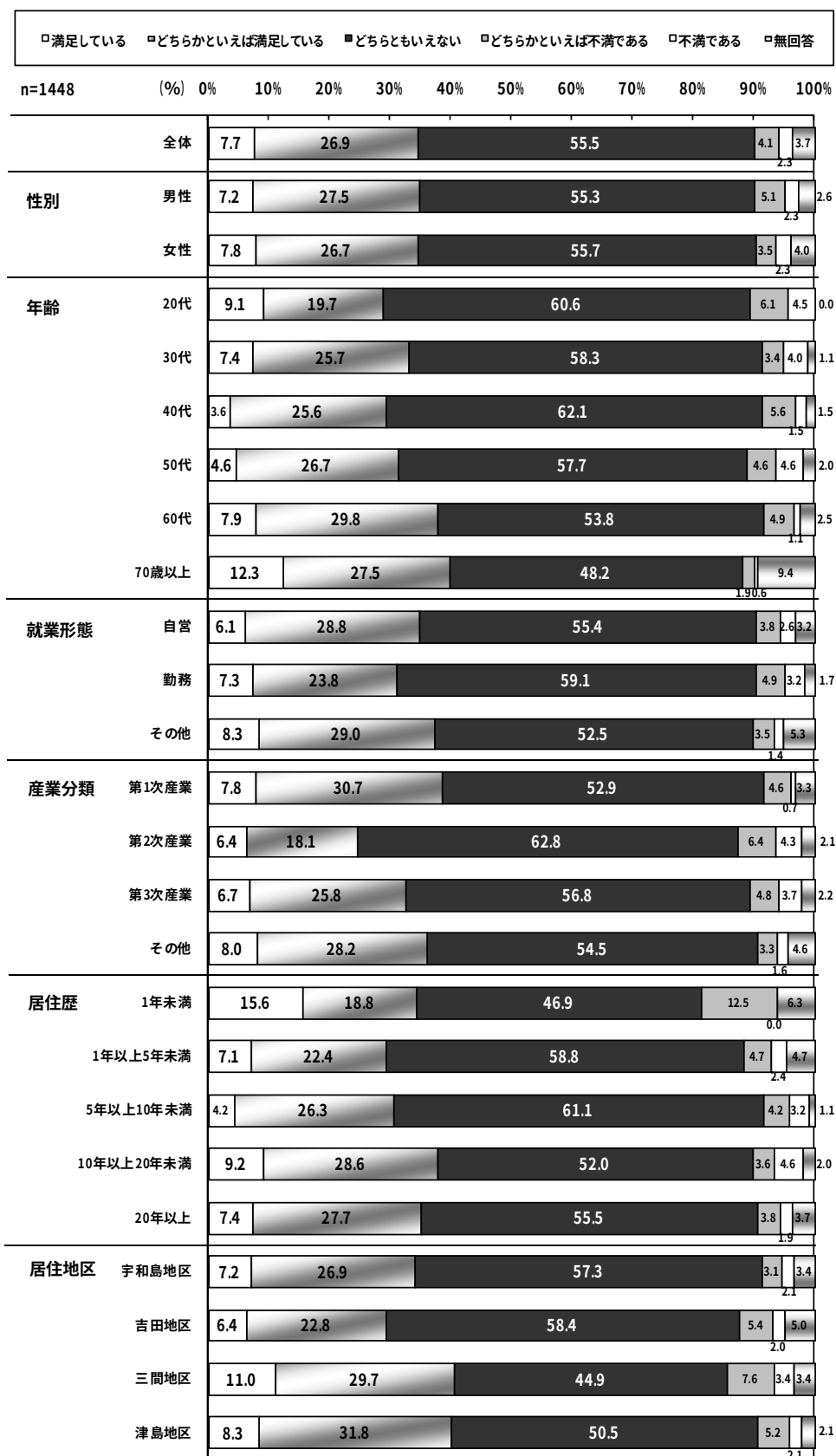
広報・広聴活動に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(7.7%)と「どちらかといえば満足している」(26.9%)をあわせた“満足している”という人が34.6%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」4.1%及び「不満である」2.3%の合計)は6.4%となっている。これは前回調査時(“満足している”32.2%、“不満である”9.2%)とほとんど変わっていない。[【図表 126 参照】](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、産業分類別の第2次産業(24.5%)で低く、全体(34.6%)と10ポイント以上の差がみられるほかは、ほとんどの層で3～4割となっている。[【図表 127 参照】](#)

図表 126 広報・広聴活動への取り組みについて(全体)



図表 127 広報・広聴活動への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(36)行財政

① 行政改革に関する進捗状況について

問 42 行財政の運営についておたずねします。
(1)あなたは、宇和島市の行政改革に関する進捗状況(組織機構の見直し、職員定数・給与の適正管理、行政サービスの向上など)について満足していますか。

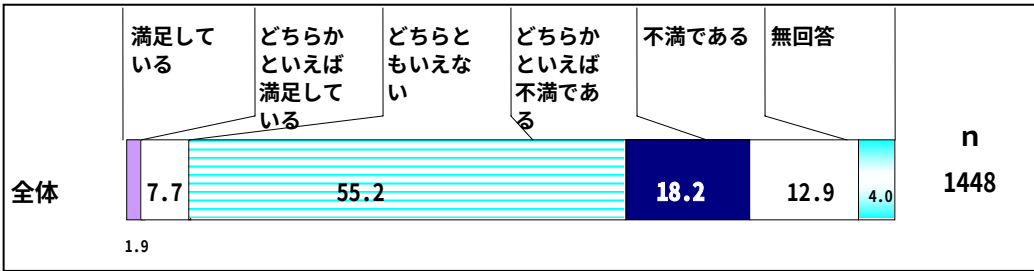


● “満足している”が9.6%、“不満である”が31.1%。

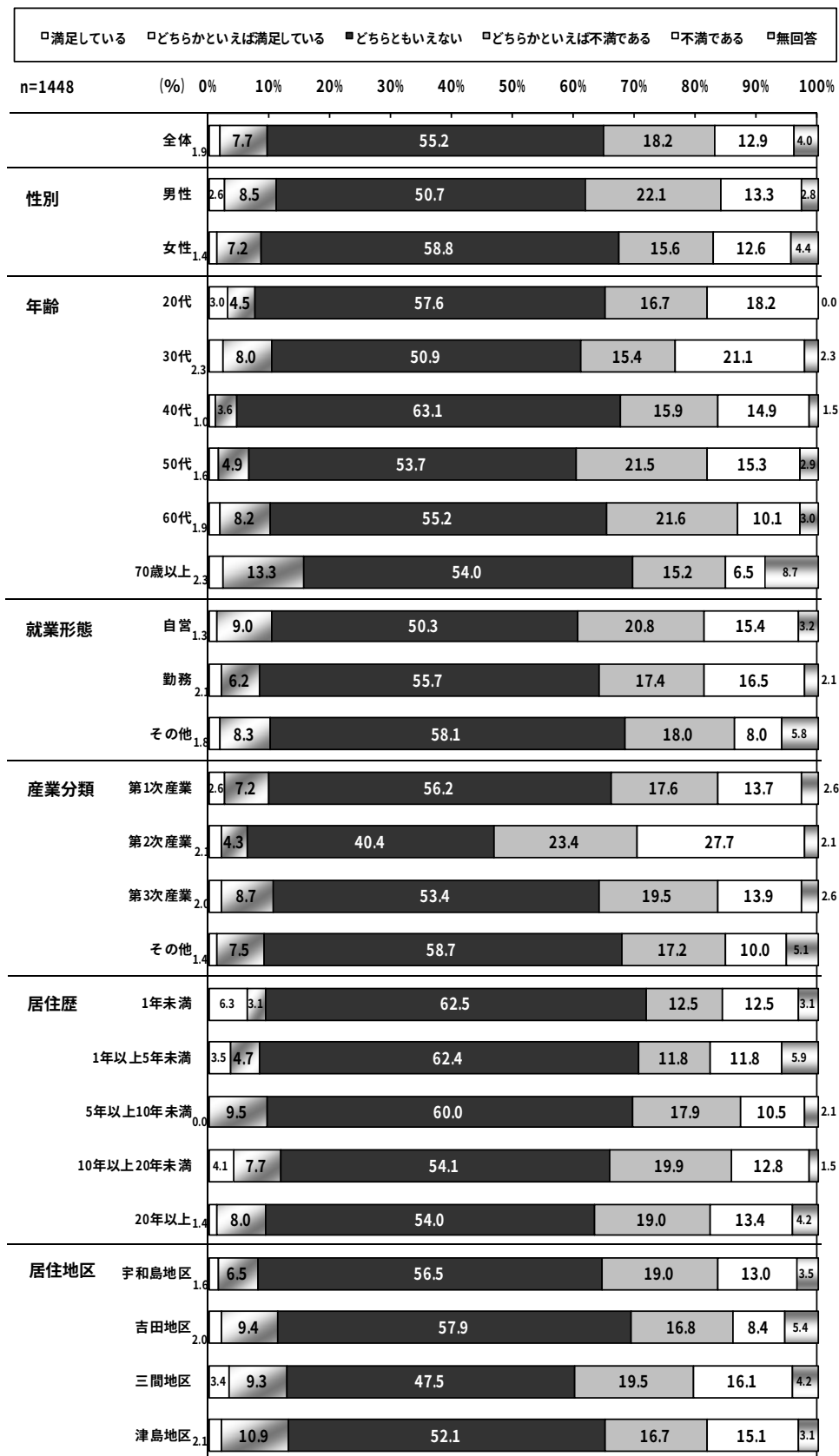
行政改革に関する進捗状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(1.9%)と「どちらかといえば満足している」(7.7%)をあわせた“満足している”という人が9.6%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」18.2%及び「不満である」12.9%の合計)は31.1%となり、前回調査時(40.7%)から10ポイント近く改善されたが、依然として“満足している”人の3倍以上が“不満である”状況にある。[\[図表 128 参照\]](#)

属性別に“不満である”割合をみていくと、産業分類別の第2次産業(51.1%)で高く、全体(31.1%)と20ポイントの差がみられる。また、その他の層では3割前後で大きな差はみられない。[\[図表 129 参照\]](#)

図表 128 行政改革に関する進捗状況について(全体)



図表 129 行政改革に関する進捗状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



② 市職員の対応について

問 42 行財政の運営についておたずねします。
(2)あなたは、市職員の対応(窓口サービス、電話対応など)について満足していますか。

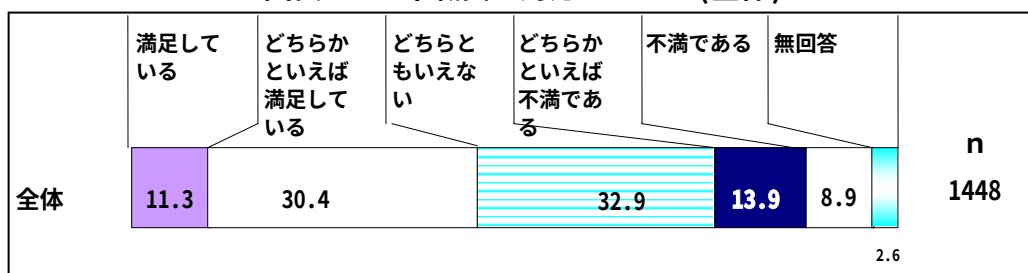


- “満足している”が41.7%、“不満である”が22.8%。

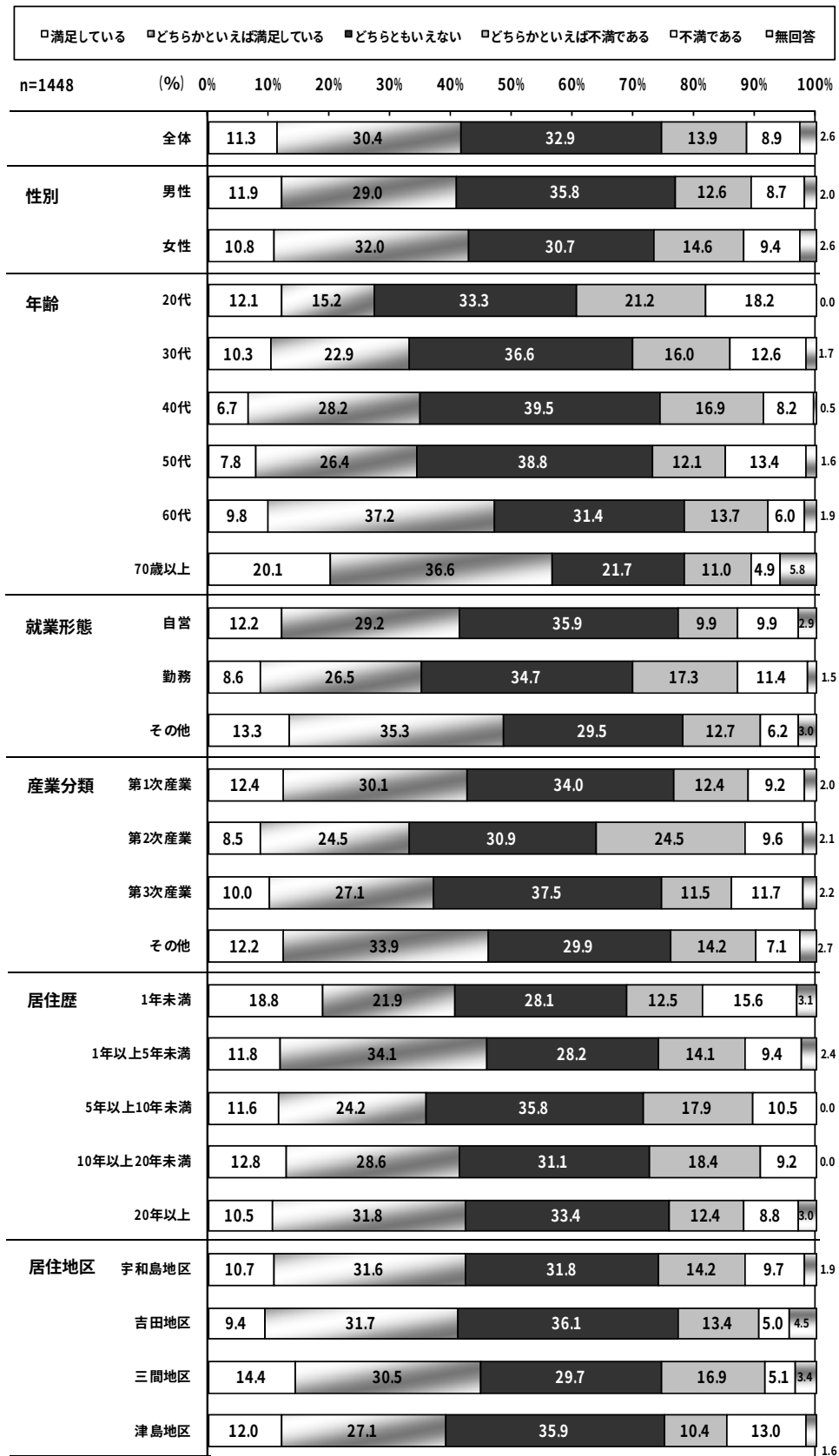
市職員の対応について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(11.3%)と「どちらかといえば満足している」(30.4%)をあわせた“満足している”という人が41.7%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」13.9%及び「不満である」8.9%の合計)は22.8%となり、前回調査時(“満足している”35.5%、“不満である”30.8%)に比べて、それぞれ改善された。[【図表 130 参照】](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(27.3%)で低く、一方、年齢別の70歳以上(56.7%)で高く、全体(41.7%)と10ポイント以上の差がみられる。年齢別では概ね年齢層が上がるとともに“満足している”割合が高まっている。また、居住歴別、居住地区別では、大きな差はみられない。[【図表 131 参照】](#)

図表 130 市職員の対応について(全体)



図表 131 市職員の対応について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



4 市の満足度評価

(1) 市の満足度評価について

- 満足度の最も高い項目は「水道の整備状況について」。次いで「自然環境の豊かさについて」、「ごみ処理・リサイクルの状況について」の順。
- 満足度の最も低い項目は「商業環境について」。次いで「雇用・就労対策への取り組みについて」、「地場産業の振興や企業誘致について」の順。

宇和島市の各環境に対する市民の満足度について、総合的に把握・整理し、比較検討等を行うため、問7から問42までの設問結果から、満足度をたずねた41の設問結果を抜粋し、加重平均値【後述参照】による数量化で評価点(満足度：最高点10点、最低点-10点)を算出した。

これによる全体での満足度評価は、「水道の整備状況について」(3.61点)が最も高く、次いで第2位が「自然環境の豊かさについて」(2.53点)、第3位が「ごみ処理・リサイクルの状況について」(2.07点)と続き、以下、「保健サービスについて」(2.01点)、「墓地・斎場の整備状況について」(1.75点)などの順となっている。第1位と第2位は前回調査時と同様で、第3位の「ごみ処理・リサイクル状況」は前回4位だった。

また、満足度評価の低い方からみると、「商業環境について」(-4.33点)が最も低く、次いで「雇用・就労対策への取り組みについて」(-3.40点)、「地場産業の振興や企業誘致について」(-2.84点)、「観光基盤の整備状況について」(-1.73点)、「行政改革に関する進捗状況について」(-1.70点)と続いている。この4項目は前回調査時と同様で第1位と第2位が入れ替った形である。総合すると、41項目のうち、満足度がプラス評価の項目が27項目、マイナス評価の項目が14項目となっている。

居住地区別に満足度の上位項目と下位項目をみていくと、以下のとおりにまとめられる。【図表132～134参照】

宇和島地区

満足度の上位3項目は全体と同様に、第1位が「水道の整備状況について」(3.55点)、第2位が「自然環境の豊かさについて」(2.35点)、第3位が「ごみ処理・リサイクルの状況について」(2.12点)の順。一方、下位3項目は第1位が「商業環境について」(-4.56点)、第2位が「雇用・就労対策への取り組みについて」(-3.37

点)、第3位が「地場産業の振興や企業誘致について」(-2.76点)の順で、これも全体と同じである。

41項目のうち、プラス評価の項目は23項目、マイナス評価の項目は18項目となっている。全体がプラスでマイナスに変わっているのは「バリアフリー化への取り組み」「保育・子育てサービス」「高齢者福祉・介護サービス」「学校教育環境」の4項目である。

吉田地区

満足度の上位3項目は第1位が「水道の整備状況について」(3.35点)、第2位が「自然環境の豊かさについて」(2.29点)、第3位が「保健サービスについて」(2.14点)の順。一方、下位3項目は全体と同じく第1位が「商業環境について」(-3.46点)、第2位が「雇用・就労対策への取り組みについて」(-3.10点)、第3位が「地場産業の振興や企業誘致について」(-2.43点)の順。

41項目のうち、プラス評価の項目は25項目、マイナス評価の項目は15項目、プラスマイナス0の項目が1項目となっている。全体と比較してマイナスに変わったのは「医療体制」「下水道の整備状況」「交通安全・防犯体制」の3項目。逆に「公園・緑地の整備状況」はプラスに変わっている。

三間地区

満足度の上位3項目は第1位が「水道の整備状況について」(3.97点)、第2位が「自然環境の豊かさについて」(2.82点)、第3位が「保健サービスについて」(2.72点)の順。一方、下位3項目は第1位が「商業環境について」(-4.37点)、第2位が「雇用・就労対策への取り組みについて」(-3.14点)、第3位が「地場産業の振興や企業誘致について」(-2.96点)の順。

41項目のうち、プラス評価の項目は31項目、マイナス評価の項目は10項目となっている。全体と比較すると「水産業基盤の整備状況」「公園・緑地の整備状況」「中心市街地の整備状況」がプラス評価となっている。

津島地区

満足度の上位3項目は全体と同じく第1位が「水道の整備状況について」(3.95点)、第2位が「自然環境の豊かさについて」(3.43点)、第3位が「ごみ処理・リサイクルの状況について」(2.51点)の順。一方、下位3項目は全体と同じく第1位が「雇用・就労対策への取り組みについて」(-4.07点)、第2位が「商業環境について」(-4.04点)、第3位が「地場産業の振興や企業誘致について」(-3.47点)の順。

41項目のうち、プラス評価の項目は27項目、マイナス評価の項目は14項目となっている。プラス・マイナスの項目数は全体と同じだが、「障害者福祉サービス」と「スポーツ振興への取り組み」がプラスからマイナスに、「水産業基盤の整備状況

況」と「下水道の整備状況」がマイナスからプラスに変わっている。

※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満である」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」、「どちらか} \\ \text{といえば満足している」、「どちらともいえない」、} \\ \text{「どちらかといえば不満である」、「不満である」} \\ \text{の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～－10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高くなり、逆に－10点に近くなるほど評価が低くなる。

図表 132 市の満足度評価について(全体、居住地区別／満足度)

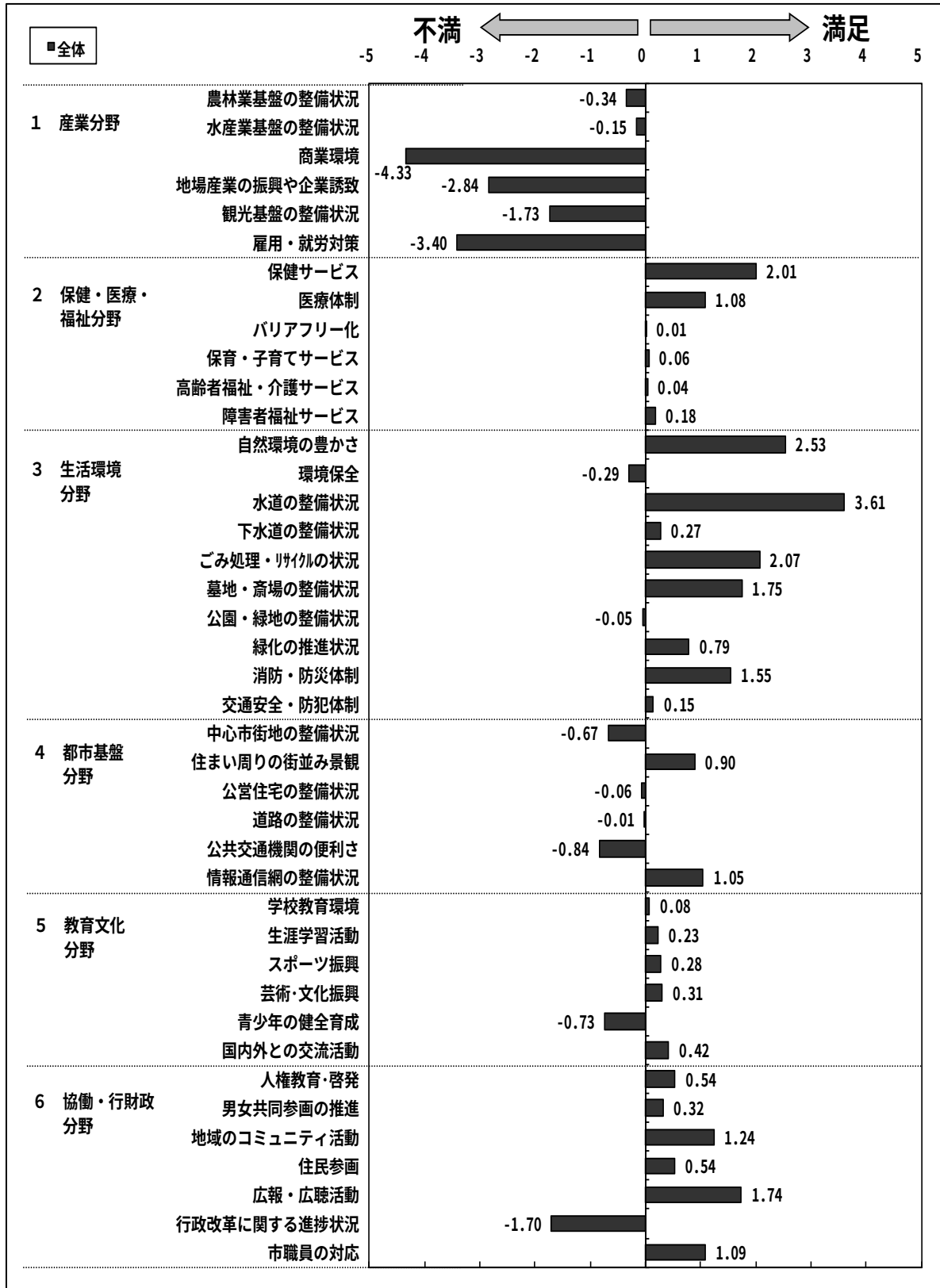
(単位：評価点)

	全体	居住地区別			
		宇和島地区	吉田地区	三間地区	津島地区
農林業基盤の整備状況	-0.34	-0.26	-0.41	-0.57	-0.45
水産業基盤の整備状況	-0.15	-0.25	-0.22	0.14	0.19
商業環境	-4.33	-4.56	-3.46	-4.37	-4.04
地場産業の振興や企業誘致	-2.84	-2.76	-2.43	-2.96	-3.47
観光基盤の整備状況	-1.73	-1.95	-1.63	-1.15	-1.20
雇用・就労対策	-3.40	-3.37	-3.10	-3.14	-4.07
保健サービス	2.01	1.73	2.14	2.72	2.43
医療体制	1.08	1.18	-0.05	1.44	1.27
バリアフリー化	0.01	-0.15	0.31	0.09	0.24
保育・子育てサービス	0.06	-0.01	0.00	0.63	0.22
高齢者福祉・介護サービス	0.04	-0.16	0.55	0.43	0.16
障害者福祉サービス	0.18	0.13	0.62	0.43	-0.36
自然環境の豊かさ	2.53	2.35	2.29	2.82	3.43
環境保全	-0.29	-0.32	-0.18	-0.47	-0.16
水道の整備状況	3.61	3.55	3.35	3.97	3.95
下水道の整備状況	0.27	0.42	-0.34	1.11	-0.30
ごみ処理・リサイクルの状況	2.07	2.12	1.74	1.79	2.51
墓地・斎場の整備状況	1.75	1.90	1.56	2.24	1.18
公園・緑地の整備状況	-0.05	-0.38	0.54	1.03	0.42
緑化の推進状況	0.79	0.69	1.20	1.28	0.56
消防・防災体制	1.55	1.56	1.73	1.67	1.23
交通安全・防犯体制	0.15	0.08	-0.18	0.22	0.71
中心市街地の整備状況	-0.67	-0.99	-0.05	0.09	-0.35
住まい周りの街並み景観	0.90	0.74	0.85	2.13	0.95
公営住宅の整備状況	-0.06	-0.02	0.05	-0.18	-0.11
道路の整備状況	-0.01	-0.24	-0.18	1.22	0.05
公共交通機関の便利さ	-0.84	-0.71	-1.00	-0.87	-1.39
情報通信網の整備状況	1.05	0.72	1.77	1.24	1.65
学校教育環境	0.08	-0.06	0.24	1.45	0.11
生涯学習活動	0.23	0.18	0.42	0.71	0.08
スポーツ振興	0.28	0.26	0.50	0.80	-0.16

芸術・文化振興	0.31	0.16	0.50	0.53	0.62
青少年の健全育成	-0.73	-0.98	-0.19	-0.36	-0.30
国内外との交流活動	0.42	0.31	0.68	0.71	0.65
人権教育・啓発	0.54	0.37	0.65	1.18	1.05
男女共同参画の推進	0.32	0.20	0.46	0.66	0.62
地域のコミュニティ活動	1.24	1.05	1.30	2.06	1.63
住民参画	0.54	0.55	0.47	0.83	0.51
広報・広聴活動	1.74	1.75	1.38	1.93	1.99
行政改革に関する進捗状況	-1.70	-1.83	-1.07	-1.86	-1.64
市職員の対応	1.09	0.99	1.42	1.67	0.74

図表 133 市の満足度評価について(全体／満足度)

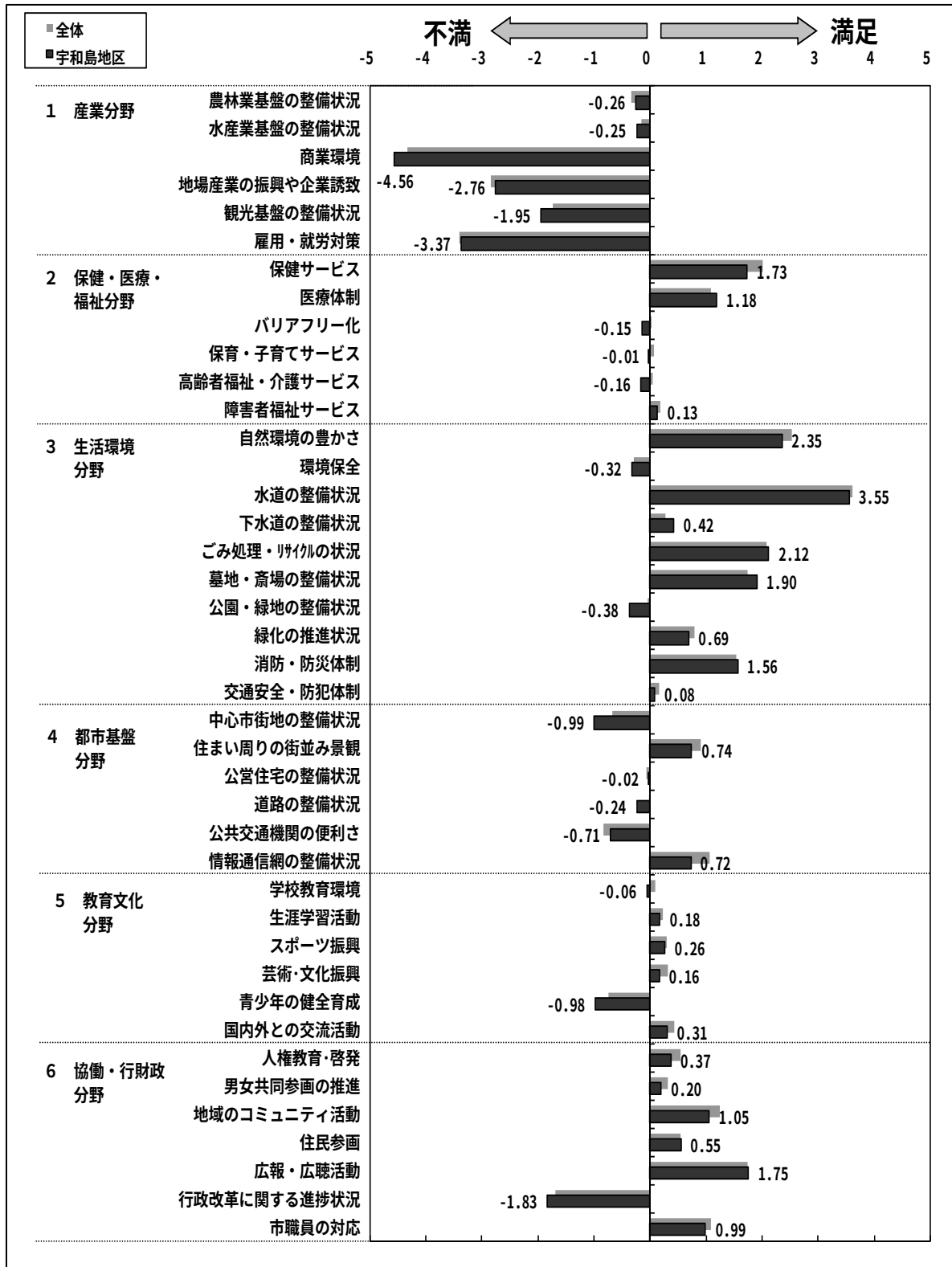
(単位：評価点)



図表 134 市の満足度評価について(居住地区別／満足度)

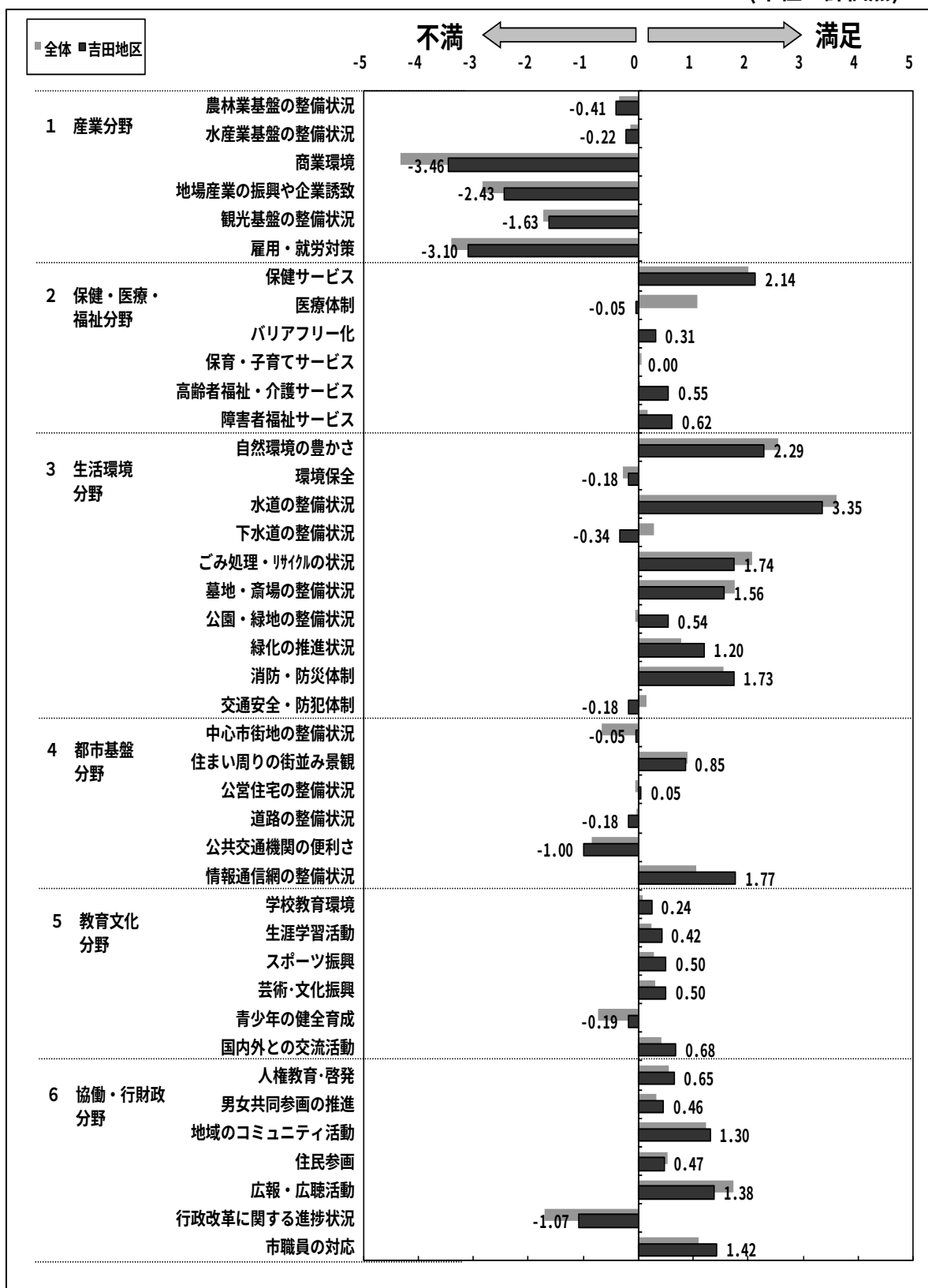
宇和島地区

(単位：評価点)



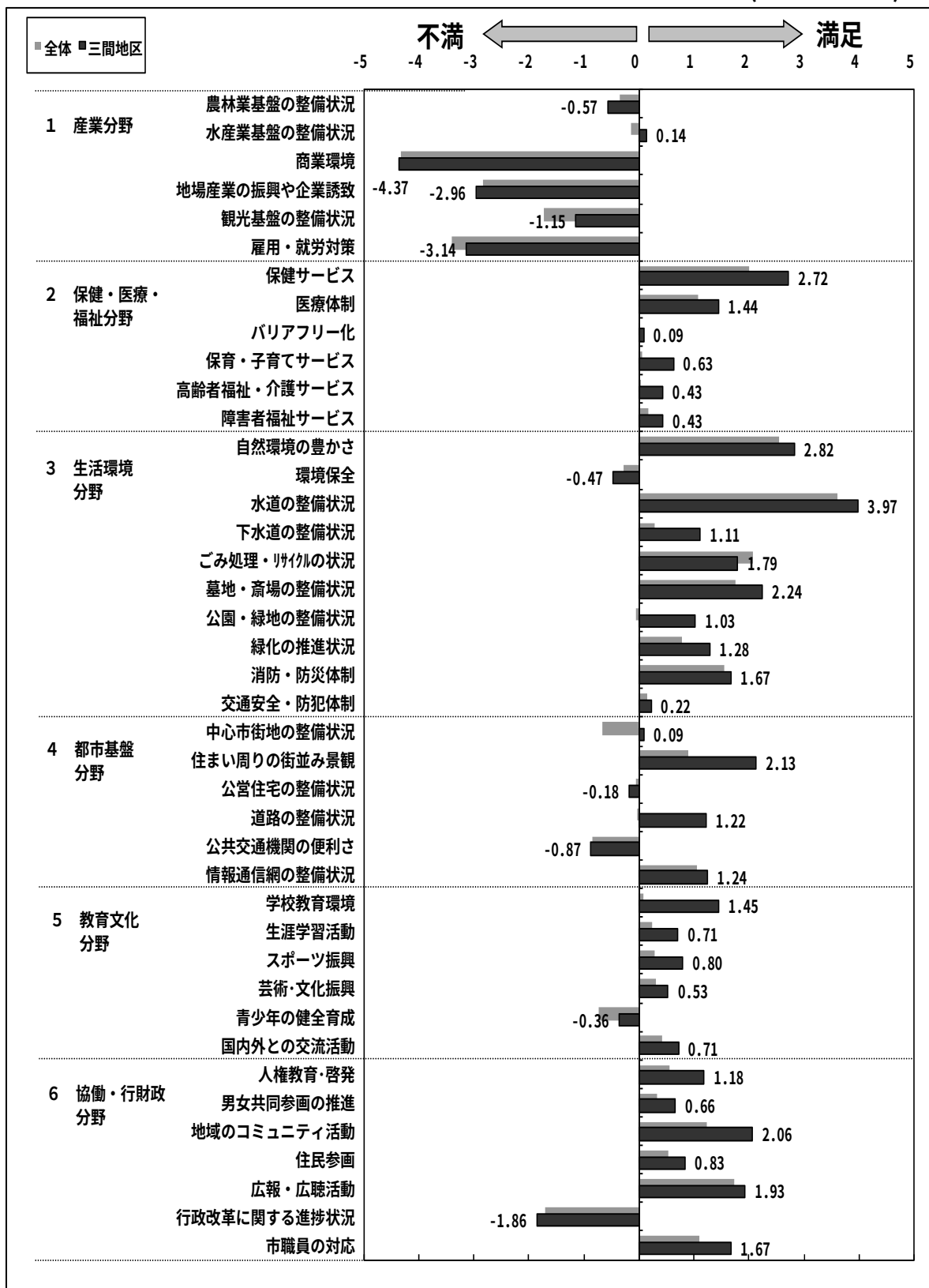
吉田地区

(単位：評価点)



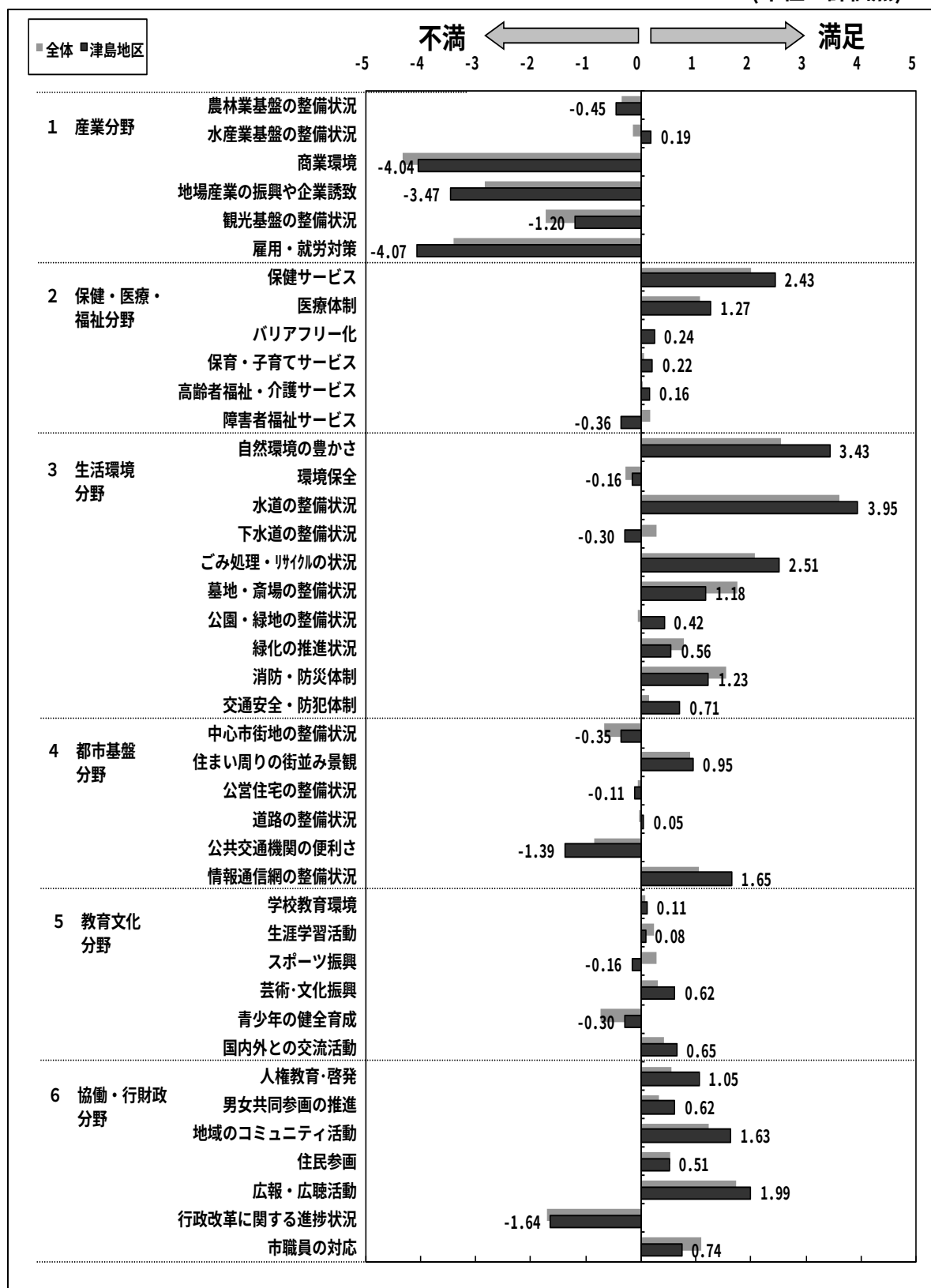
三間地区

(単位：評価点)



津島地区

(単位：評価点)



資 料 ： 調 査 票